


ビクターハードディスク内蔵テレビ

型名 **AV-32DD2**

型名 **AV-28DD2**

 **ご使用前に安全上のご注意**
(2~7ページ)を必ずお読みください。

目次は 8 ページです

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能
で楽しむ

本機を使い
こなす

アンテナの
接続と設定

AV機器を
つなぐ

こまったときは

DVD Player
Digital BS-Tuner
S-VHS

Game



CS-Tuner

NETWORK
HDD

このたびはビクター製品をお買い上げ
いただき、ありがとうございます

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵(マーク)が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。

絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。



警告

この絵表示(文字を含む)は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。



注意

この絵表示(文字を含む)は、そこに書かれていることを無視すると、障害を負ったり、物理的損害が想定される内容です。十分注意してください。

注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



一般的注意



指をはさまれないように注意



感電注意

してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

必ずしてほしい行為(強制・指示行為)を示す記号



プラグをコンセントから抜く



警告

万一、次のような異常が発生したときは

煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

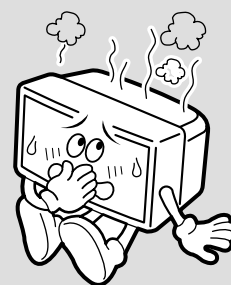
画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。

テレビの内部に水や物が入ってしまったとき。

テレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、(煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから)販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

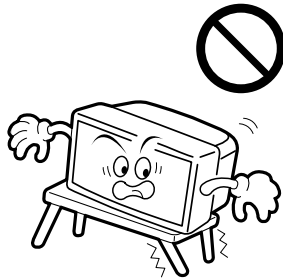
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



⚠ 警告 設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



指定の電源電圧(交流100V)以外で使用しない

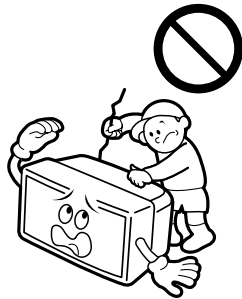
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告 使用するときの警告

テレビ内部に物を入れない

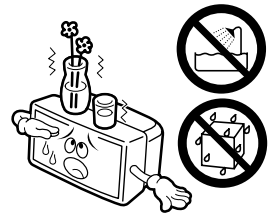
金属や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様がいるご家庭では注意してください。



テレビに水をかけない

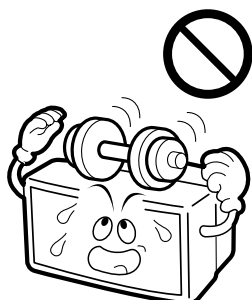
風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)は、こぼれたりしますので、テレビの上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。



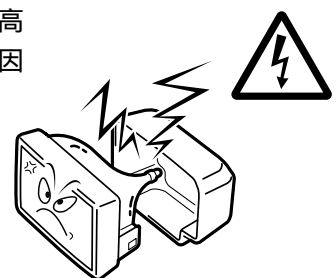
テレビの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



テレビの裏ぶたは外さない

テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



安全上のご注意(つづき)

⚠ 警告 使用するときの警告

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



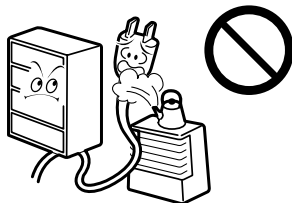
テレビを改造しない

火災・感電の原因となります。

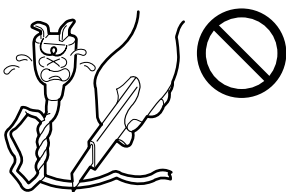


電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

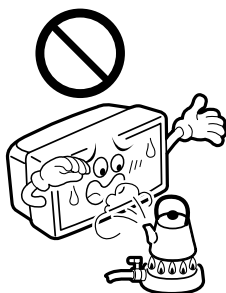


⚠️ 注意 設置するときの注意

次のような場所に置かない

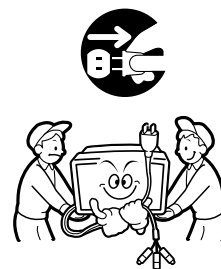
火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- ・ 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。



移動するときは 接続コード類をはずす

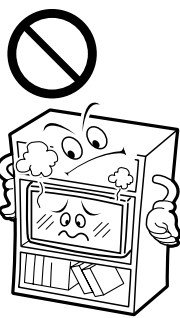
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。また、テレビは重いので必ず2人以上で持ってください。



テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・ 壁や家具などから10cm以上離す
- ・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- ・ じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・ テーブルクロスなどを掛けない
- ・ あお向け、横倒し、逆さまにしない



キャスター付きテレビ台に 乗せるときは、キャスターを固定する

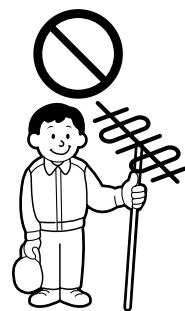
キャスター止め(受け皿など)で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。



アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ・ 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- ・ BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けよう依頼してください。

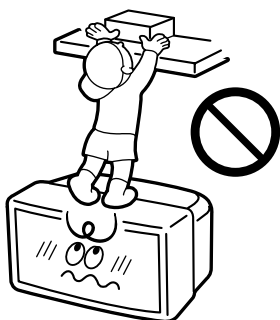


安全上のご注意(つづき)

⚠️ 注意 使用するときの注意

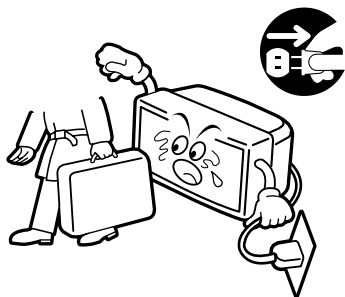
テレビに乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



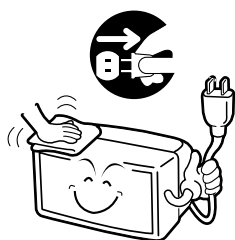
長期間テレビを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



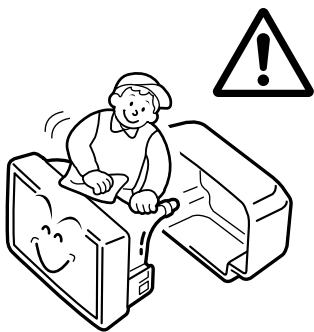
電源プラグのほこりに注意する

電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。



5年に一度はテレビ内部の掃除を販売店に依頼する

テレビの内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



乾電池の使い方に注意する

電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない
- ・電池ケースのプラス(+)とマイナス(-)の表示どおりに入れる
- ・指定された電池以外は使わない



お手入れのしかた

キャビネットやブラウン管面の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- ・シンナーやベンジンでふかない
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

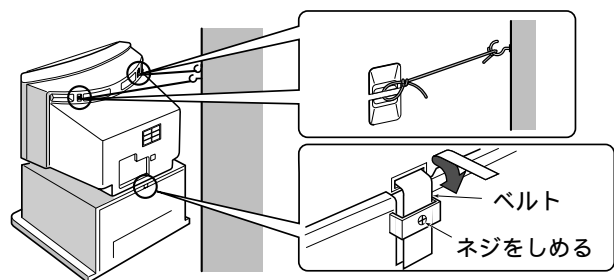


転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のテレビ台を使用するとき転倒防止用部品を使って固定してください。

壁や柱などに固定するときテレビ後面左右の穴を利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。



説明図は実際の外観と異なることがあります。

目次

安全上のご注意

安全上のご注意	2
目次	8

テレビを見る前に

知っておいていただきたいこと	10
テレビを見る前の準備	13
各部のなまえ	14

ふだんの使いかた

テレビを見る	18
テレビを録画する	20
再生する	22
録画予約する	24
予約を確認・変更する	26

便利な機能で楽しむ

メニューボタンの使いかた	28
画面サイズの種類	30
画面サイズを変えるには	31
画面の位置を調節する	32
オートパノラマの画面サイズを設定する	32
2画面で見る	33
番組一覧を表示する	34
メモ機能を使う(静止画)	35
見たいところを拡大する	36
BS放送を録画しながらテレビを見る	37
フィルム撮影された映画などをキレイに見る	37
お好みの映像に調節する	38
お好みの画質を選ぶ	38
映像を調節する	39
音声を調節する	40
音声を切り換える	41

本機を使いこなす

時間差再生について	42
時間差再生機能を使う	44
おはようタイマーを設定する	46
おトク設定	47
3つの節電機能をすべて使うには	47
3つの節電機能から選んで使うには	48
テレビの消し忘れを防止する	49
デジタルE.E.の効果表示をするには	49
シアタープロの設定	50
本来の解像度で表示する	52
画面の傾きを調節	52
地磁気補正	53
自己紹介機能を使うには	53
HDDナビ機能を使う	54
外部機器へ番組をダビングする	64
番組を編集する	66
外部機器から本機にダビングする	69

アンテナの接続と設定

VHF/UHFアンテナをつなぐ	70
コネクターのつなぎかた	71
チャンネルを合わせる	72
チャンネル設定の手順	72
地域の放送局を一括して設定する	72
放送局を個別に設定する	74
CATVチャンネルを直接選ぶ	76
CATVチャンネルを設定する	77
BSアンテナをつなぐ	79
BSアンテナを接続するとき	79
BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき	79
BS内蔵のビデオデッキ(BSアンテナ出力端子なし) も一緒に接続するとき	80
BSの設定をする	81
BSアンテナに電源を供給する	81
BSアンテナの向きを調節する	82
BSチャンネルの設定を変更する	83
時計を設定する	85

AV機器をつなぐ

AV機器を接続する	86
ビデオムービー/テレビゲームを接続する	86
接続できる機器	86
ビデオデッキを接続する	87
BSデコーダーを接続する	88
BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する	89
BSデジタルチューナーを接続する	90
DVDプレーヤーを接続する	91
D-VHSを接続する	92
アンプ(オーディオシステム)を接続する	93
AVコンピュリンクⅢを接続する	94

こまったときは

故障かな?と思う前に(症状とその原因と対処方法)	95
こんなメッセージが表示されたら	99
保証書とアフターサービス	102
索引	104
用語解説	105
主な仕様	106
補足情報	107

放送の種類

地上波放送
従来よりのVHF/UHFの放送です。

BSアナログ放送
従来よりのBS放送です。NHK第一/第二、NHKハイビジョン、WOWOWと独立音声ラジオ放送(St. GIGA)です。
この取扱説明書では、BSアナログ放送またはBS放送と言っています。

BSデジタル放送

2000年12月に本放送が開始されたデジタル方式のBS放送です。BSデジタル放送をご覧になるには、BSデジタルチューナーを接続する必要があります。

テレビを
見る前に

ふだんの
使いかた

便利な機能
で楽しむ

本機を使い
こなす

アンテナの
接続と設定

AV機器を
つなぐ

こまったときは

テレビを見る前に 知っておいていただきたいこと

テレビの絵が明るすぎたり、ざらついたりしていませんか？

このテレビのお買い上げ時の設定は、メリハリのきいた絵になっております。ご家庭の環境に適した映像や効果的な省エネ(節電)をするために以下の3つの設定、調節をされることをおすすめします。

1.映像選択を選びましょう(☞設定の方法は38ページ)

ふだんは「スタンダード」でご覧になることをおすすめします。

2.節電機能を設定しましょう(☞設定の方法は47ページから49ページ)

ふだんはおトク設定を「すべて設定する」にしてご使用になることをおすすめします。

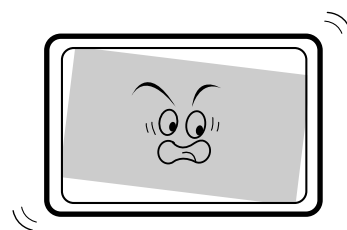
3.画面がざらついて見えるときは映像調節をしましょう(☞設定の方法は39ページ)

映像調節の「ノイズクリア」を調節してみてください。

映像の傾きが気になるときは、画面の傾き調節をおためしてください。

テレビは地磁気の影響を受けています

テレビの設置方向によっては、画面の映像が右上がりになったり、左上がりになることがあります。これは地磁気の影響によるものです。特に画面の大きなテレビでは地磁気の影響を受けやすくなっています。故障ではありません。52ページの手順にしたがって調節してみてください。



録画・再生用のハードディスク(内蔵)を使っていたときのご注意

このテレビには、ビデオデッキのように録画や再生ができるハードディスクが搭載されています。

ハードディスクは微細な磁気変化を読み取る装置で、内部は精密な構造になっていますので次の点に注意してください。

- ・ テレビの移動などで強い衝撃をあたえない。
- ・ 振動や衝撃をあたえない。
無理な衝撃を与えると記録されているデータが損なわれるだけでなく、ハードディスクそのものを破損する恐れがあります。
- ・ 強い磁気をもっているもの、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近づけない。
ハードディスクに記録されているデータが損なわれることがあります。
- ・ 本機の電源が入っているときに電源プラグを電源コンセントから抜かない。
ハードディスクの動作中に電源が切れると、ディスクを傷めることがあります。また、保存されたデータを損なう原因となる場合があります。必ず電源ボタンを押して電源ランプが消えたことを確認してから電源プラグを抜いてください。
- ・ 温度差の激しいところ、(結露することがあります)湿度の高いところに置かない。
結露(つゆつき)について
よく冷えたビールをコップにつくと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき(または結露)」といいます。
つゆつきが発生すると
ハードディスクや内部に水滴が付き、ハードディスクを傷めてしまいます。

録画時のご注意・著作権および著作権保護技術について

テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。

ハードディスク側を選んで番組を視聴するときは、実際の放送と時間的なズレがあります。

これは、受信した映像を1度ハードディスクに録画してから再生するため、時間の遅れはおよそ3秒間になります。また、ハードディスク側を選んでいる状態で電源を入れると、受信した映像が画面に出るまでおよそ30秒ほど必要になります。それまでは操作ができません。

著作権保護技術について

この製品には、マクロビジョン・コーポレーションやその他権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有するコピープロテクション技術が採用されています。

このコピープロテクション技術の使用にあたっては、マクロビジョン・コーポレーションのライセンスが必要となります。また、マクロビジョン・コーポレーションが認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。

なお、リバースエンジニアリングや逆アセンブリは禁止されています。

著作権について

- ・ 著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送を録画・ダビングできません。
- ・ 本機で録画・編集したものや縮小画面等を、営利目的、または公衆に視聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

録画・録音内容の補償について

万一、本機の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

本機の使用中に停電などが起こったときは、記録されているデータなどが損なわれることがあります。ハードディスクに録画した番組は、早めにビデオカセットにダビングするなど、ハードディスクの破損に備えることをおすすめします。

ハードディスクが破損したとき、録画されていた番組やデータの修復はできません。

ハードディスク専用S映像端子について

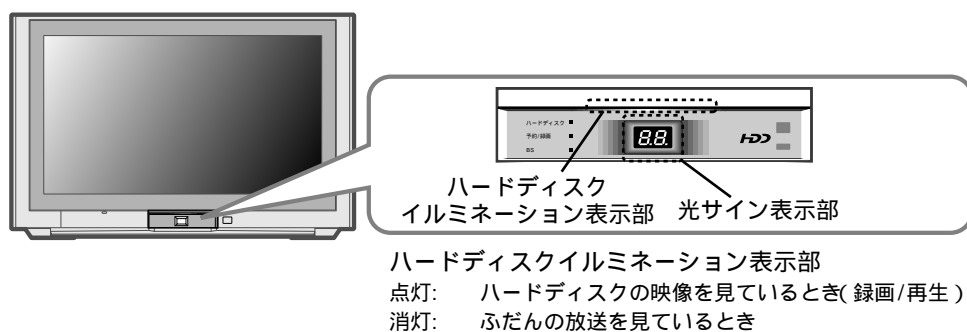
本機背面には、ハードディスク専用S映像端子が装備されています。

この端子は、ビデオデッキなどへのダビング用の端子でハードディスクからの映像を直接出力するようになっています。このためこの端子を使ってダビングなどをするときには次の点にご注意ください。

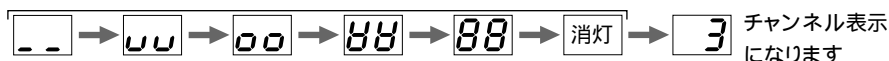
- ・ ハードディスクから再生しているとき以外は、モニター出力の映像端子より数秒間遅れた映像になります。この遅れは、ハードディスクへ一度書き込んだものを再生するために生じます。
- ・ ダビングを行うときはテレビ画面に映っている内容が出力されます。一時停止などの操作をすると画面表示がそのままビデオデッキに録画されますのでご注意ください。また、この画面表示は消すことはできません。
- ・ ハードディスクの準備中には、この端子からマークなどの起動画面が出力がされます。

「光サインディスプレイ」をご紹介します

このテレビには、チャンネル番号やビデオ入力の表示以外に、いくつかの設定を光の動きでお知らせする機能を持っています。その表示内容をご紹介します。



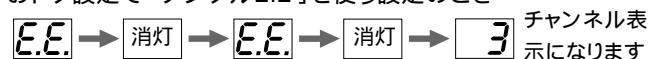
本機の電源を入れたとき



ナチュラルシネマを使ったとき(3回表示がくり返されます)



おトク設定で「デジタルE.E」を使う設定のとき



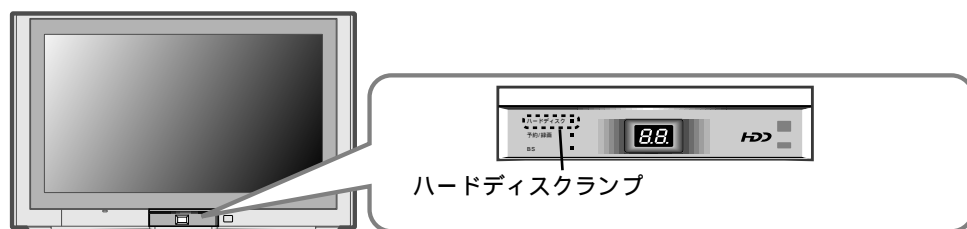
この機能を使うには、画面表示の設定を「光サイン」にします。(☞19ページ)

ハードディスクランプの表示について

このテレビはハードディスクボタンを押すと、ハードディスクランプがゆっくり点滅します。これはハードディスクを使えるよう準備している状態を示しています。このとき電源ボタンを押すとテレビの電源は切れますが、ハードディスクの処理が終わるまでハードディスクランプは消えません。

ハードディスクの準備と終了の処理が終われば、自動的にランプが消えますので、そのままお待ちください。

また、ハードディスクの準備中に電源プラグを抜くと、ハードディスクの損傷の原因となることがあります。

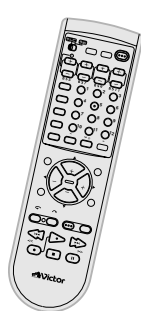


テレビを見る前に テレビを見る前の準備

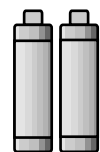
次の準備はお済みですか？ まだでしたら、参照ページをご覧ください。

1 付属品を確認する

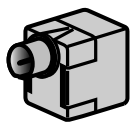
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



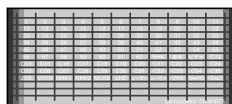
リモコン
(RM-C315DD2)



単3電池2本
(動作確認用)



アンテナコネクター



局名シール

2 アンテナをつなぐ

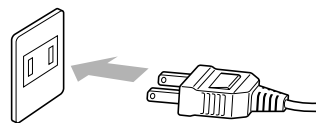
VHF、UHFアンテナをつなぐには(☞P.70)
BSアンテナをつなぐには(☞P.79)
CATVケーブルをつなぐには(☞CATV各社に
お問い合わせください。)

3 AV 機器などをつなぐ

ビデオデッキ、BSデジタルチューナーなどの
ビデオ機器をつなぐには(☞P.86~P.92)
テレビゲーム機をつなぐには(☞P.86)
アンプ(オーディオシステム)をつなぐには
(☞P.93)

4 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。



5 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、
必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。
(詳しくは17ページをご覧ください。)

6 受信チャンネルを合わせる

チャンネルを一括して設定するには
(☞P.72)
放送局をひとつずつ設定するには(☞P.74)
CATVを見るには(☞P.76)
BSチャンネルの設定を変更するには(☞P.83)

7 地磁気による影響を減らす

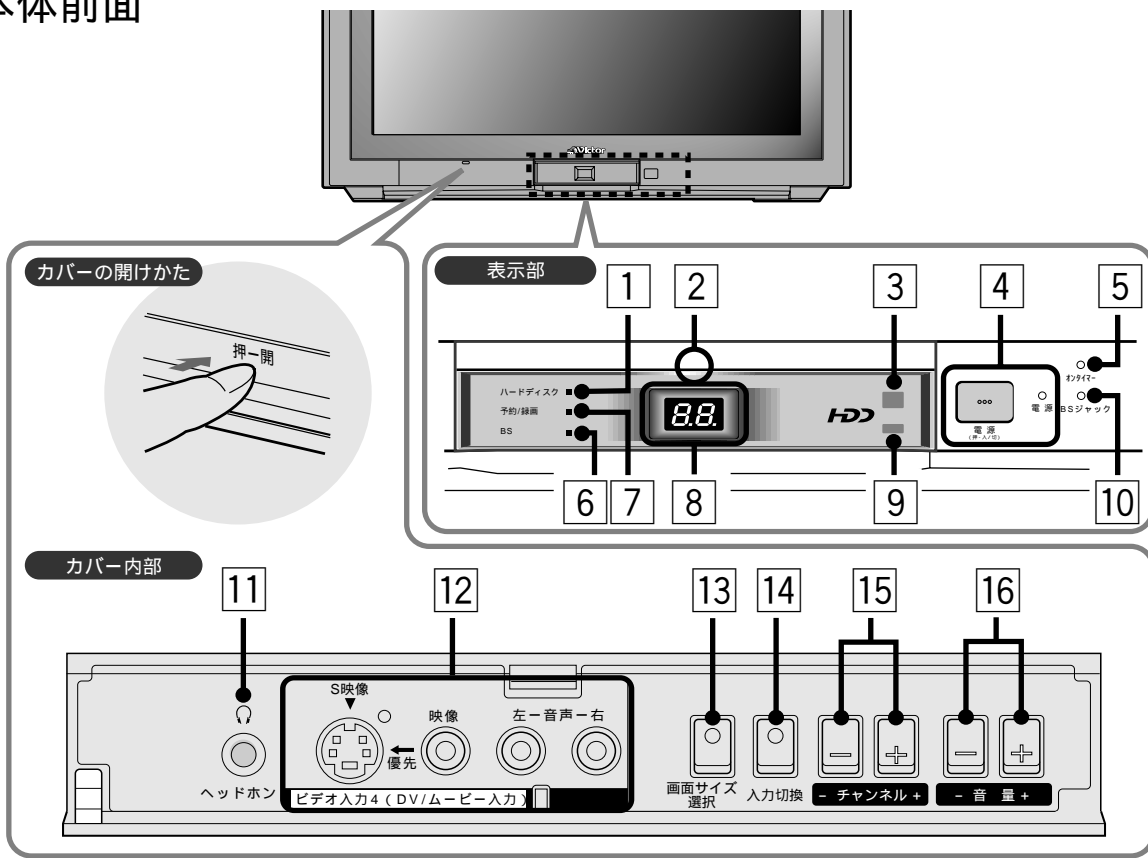
大型テレビは地球の磁気(地磁気)の影響を受け
やすくなっています。初めて本機を設置したとき
や、引っ越しなどで本機を移動したときは、地磁
気による影響をなるべく少なくしてからお使い
ください。

地磁気による影響を少なくする(AV-32DD2
のみ☞P.53)

地磁気による画面の傾きを補正する(☞P.52)

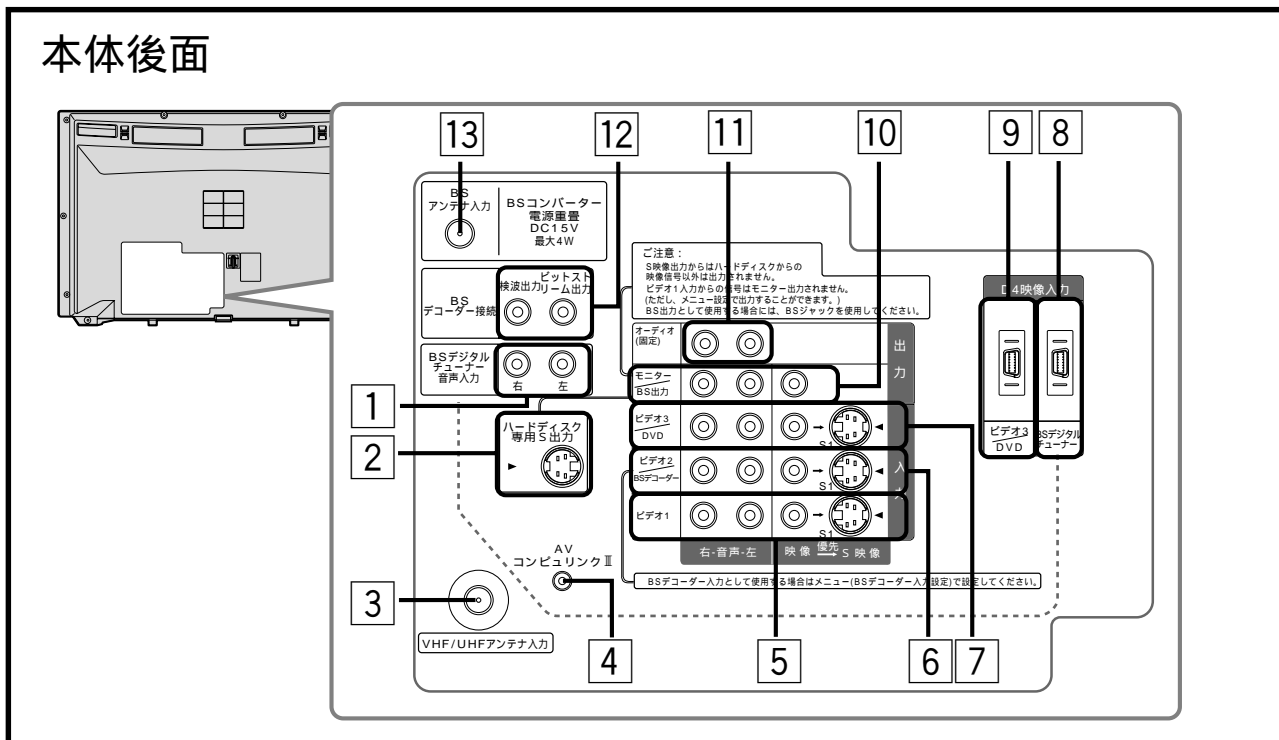
テレビを見る前に 各部のなまえ

本体前面



- 1 **ハードディスクランプ**
ハードディスクの電源が「入」のとき点灯します。
- 2 **ハードディスクイルミネーション**
ハードディスクを見ているとき(録画、再生)に青く点灯します。
- 3 **リモコン受光部**
リモコンを操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。
- 4 **電源ボタンと電源ランプ** ≒ 18ページ
本体の電源を入/切します。
電源ランプは、本体の電源が「入」のとき点灯します。
- 5 **オンタイマーランプ** ≒ 46ページ
「おはようタイマー」を設定しているとき点灯します。
- 6 **BSランプ**
BS放送を選んでいるときに点灯します。
- 7 **予約/録画ランプ**
ハードディスクで録画や録画予約すると点灯します。
録画や録画予約が終了するとランプは消灯します。
録画 : 赤色に点灯
録画予約 : 緑色に点灯
- 8 **光サイン表示部** ≒ 19ページ
ふだんは受信しているチャンネル番号やビデオ入力が表示されます。テレビの電源を入れたりすると、チャンネル表示をする前に、表示が変わります。(画面表示の設定が「光サイン」のとき≒ 19ページ)
- 9 **デジタルE.E センサー** ≒ 47、49ページ
省電力機能の「おトク設定」を利用したとき、周囲の明るさを感知する部分です
- 10 **BSジャックランプ**
(≒ 37、87ページ)
BSジャック中に点灯します。
- 11 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。
- 12 **ビデオ入力4(DV/ムービー入力)端子**
≒ 86ページ
ビデオムービーやテレビゲーム機の映像・音声出力端子とつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子の入力信号が優先されます)
- 13 **画面サイズ選択ボタン** ≒ 31ページ
画面サイズを変更するときに使います。
- 14 **入力切替ボタン** ≒ 19ページ
ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選びます。
- 15 **チャンネル+/- ボタン** ≒ 18ページ
チャンネルを変えるときに使います。
- 16 **音量+/- ボタン** ≒ 18ページ
音量を変えるときに使います。

本体後面



1 BSデジタルチューナー音声入力端子

BSデジタルチューナーなどの音声出力端子をつなぎます。

2 ハードディスク専用S出力映像端子

ハードディスクに録画した番組をビデオデッキなどにダビングするときに使用します。

3 VHF/UHFアンテナ入力端子 ⇒ 70ページ

VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

4 AVコンピュリンクⅢ端子 ⇒ P.94

AVコンピュリンクⅢ対応の機器をつなぎます。

5 ビデオ1入力端子 ⇒ 87、89ページ

ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
(S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

6 ビデオ2/BSデコーダー入力端子

⇒ 88ページ

ビデオデッキまたはBSデコーダーの映像・音声出力端子をつなぎます。

メニューの設定により、ビデオ2入力端子か、BSデコーダー入力端子かを選ぶことができます。
(S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

7 ビデオ3/DVD入力端子 ⇒ 91ページ

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。

(S1映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S1映像端子からの入力信号が優先されます)

8 BSデジタルチューナー:D4映像入力端子

⇒ 90ページ

BSデジタルチューナーのD映像出力端子をつなぎます。

9 ビデオ3/DVD:D4映像入力端子

DVDプレーヤーやD-VHSビデオデッキなどのD端子をもった機器をつなぎます。

D4映像入力に映像信号が入力されているときは、ビデオ3/DVD入力に入力されたS1映像信号や映像信号より優先されます。

10 モニター/BS出力端子

⇒ 87ページ

テレビに映っている映像・音声を出力したり(モニター)、BSだけの映像・音声を出力します。

BSジャック機能によりモニター出力端子か、BS出力端子かを選ぶことができます。このとき、BSの映像信号はハードディスク専用S映像端子からは出力されません。

D4入力(ビデオ3/DVD、BSデジタルチューナー)端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
番組一覧中は、モニター出力端子からは出力されません。

11 オーディオ出力(固定)端子 ⇒ 93ページ

AVアンプなどの音声入力端子をつなぎます。

12 BSデコーダー接続端子 ⇒ 88ページ

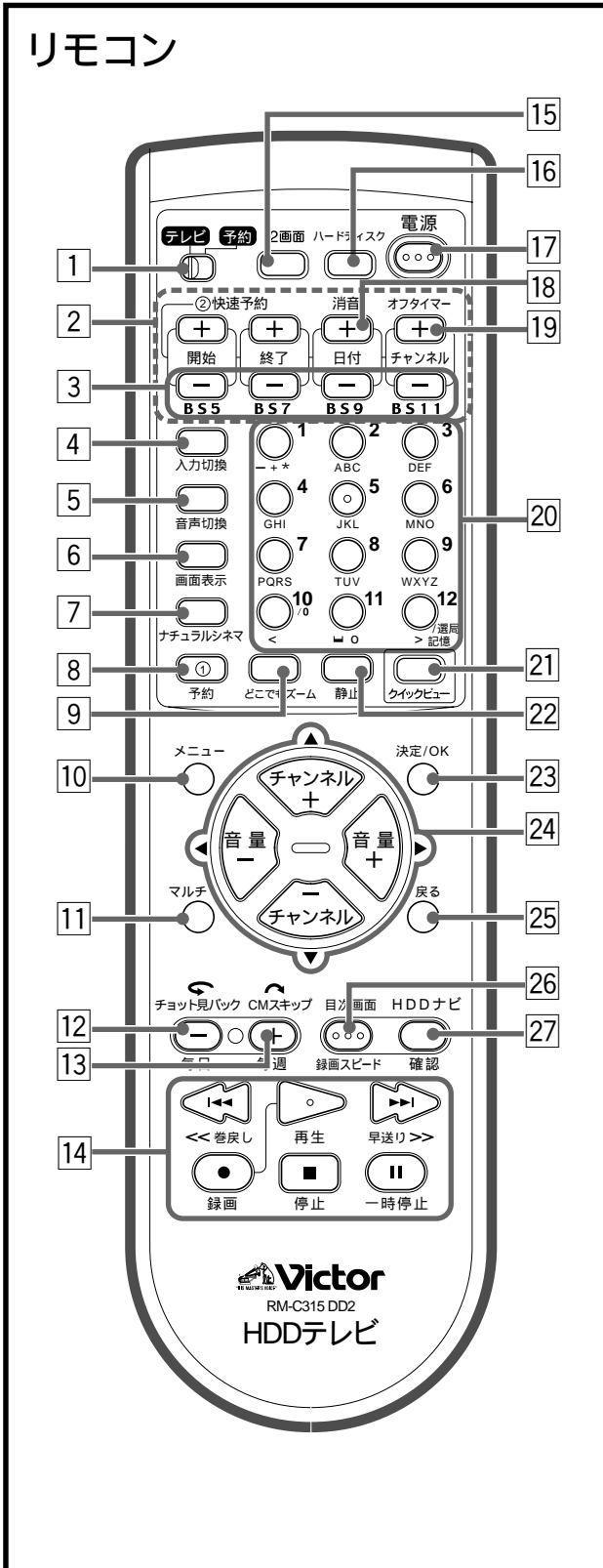
BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子へつなぎます。

13 BSアンテナ入力端子 ⇒ 79ページ

BSアンテナをつなぎます。

テレビを見る前に 各部のなまえ(つづき)

予約 マークのついているボタンはテレビ/予約切換スイッチが予約のとき働きが切換わります。

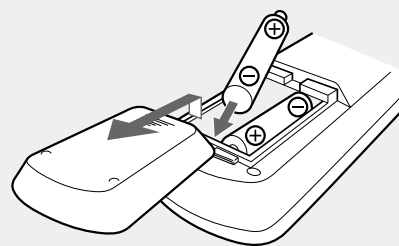


- 1 **テレビ/予約切換スイッチ** ⇨ 24、26ページ
録画予約をするとき切換えて使います。ふだんはテレビ側で操作します。
- 2 **録画予約ボタン** ⇨ 24ページ
ハードディスクに番組予約するとき使います。
予約 開始 +/-: 録画開始時刻を設定するとき使います。
予約 終了 +/-: 録画終了時刻を設定するとき使います。
予約 日付 +/-: 録画日を設定するとき使います。
予約 チャンネル +/-: 録画チャンネルを設定するとき使います。
- 3 **BSチャンネルボタン** ⇨ 18ページ
BS放送のチャンネルを選ぶときに使います。
- 4 **入力切換ボタン** ⇨ 19ページ
本機に接続したビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になりたい映像機器を接続しているビデオ入力端子の番号を選んでください。
- 5 **音声切換ボタン** ⇨ 21、41ページ
二重音声やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。
- 6 **画面表示ボタン** ⇨ 19ページ
チャンネル番号や時間差再生中などに残量時間などの表示をさせたいときに使います。
- 7 **ナチュラルシネマボタン** ⇨ 37ページ
映画番組や映画ソフト、アニメーションなどを見るときに使います。
- 8 **予約ボタン** **予約** ⇨ 24ページ
録画予約するときに使います。
テレビ/予約切換スイッチを予約側に切換えてから押すと画面に録画予約画面が表示されます。
- 9 **どこでもズームボタン** ⇨ 36ページ
画面の好きな部分を拡大することができます。
- 10 **メニューボタン** ⇨ 28ページ
メニュー画面を表示させたいときに使います。
- 11 **マルチボタン** ⇨ 33、34ページ
2画面や番組一覧を表示させたいときに使います。
- 12 **チョット見バック(◀)/毎日ボタン** ⇨ 23、25、44ページ
ハードディスクの録画中などに押すと約7秒前に戻ります。
予約 毎日ボタン: 録画予約時に毎日録画するよう設定したいときに使います。
- 13 **CMスキップ(↶)/毎週ボタン** ⇨ 23、25ページ
ハードディスクからの画面を見ているとき押すとCMひとつ分(約30秒)瞬時に早送りします。
予約 毎週ボタン: 録画予約時に毎週録画するよう設定したいときに使います。
- 14 **ハードディスク操作ボタン** ⇨ 20、22、23ページ
ハードディスク再生中や時間差再生中、録画するときに使います。
巻戻し/可変速再生(◀◀/◀◀), 早送り/可変速再生(▶▶/▶▶), 再生(▶), 録画(●), 停止(■), 一時停止(⏸)

- 15 2画面ボタン ⇨ 33ページ
2画面にするときに使います。
- 16 ハードディスクボタン ⇨ 20、24ページ
ハードディスクを入にします。
テレビの電源が「切」のときに押すと、テレビの電源も「入」になります。
録画中にこのボタンを押すと、録画しているチャンネルに切り換わります。
- 17 電源ボタン ⇨ 18ページ
本機の電源を入/切します。
ハードディスクの電源が「入」のときに押すと、ハードディスクの電源も「切」になります。ただし、ハードディスクで録画予約中はハードディスクの電源は切れません。
- 18 消音ボタン ⇨ 19ページ
一時的に音声を消したいときに使います。もう1度押すと元の音量に戻ります。
- 19 オフタイマーボタン ⇨ 19ページ
設定した時間がたったら自動的に電源を切りたいときに使います。ハードディスクもテレビ電源と同時に切れます。ただし、録画予約中はハードディスクの電源は切れません。
- 20 チャンネル(数字)/文字ボタン ⇨ 18、20ページ
ふだんはVHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。文字ボタンはハードディスクで録画した番組の編集機能(HDDナビ)でタイトル入力ボタンとして使います。
- 21 クイックビューボタン ⇨ 22ページ
ハードディスクに最も新しく録画したものを再生します。
テレビの電源が「切」のときに押すと、テレビの電源とハードディスクの電源が「入」になります。
- 22 静止ボタン ⇨ 35ページ
押すと2画面に切り換わり、右側の画面は静止画になります。
- 23 決定/OKボタン ⇨ 28ページ
選んだ項目や設定を決定するときに使います。
- 24 チャンネル+/-、音量+/-、カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン ⇨ 18、28ページ
チャンネル+/-: チャンネルを変えるときに使います。
音量+/-: 音量を調節するときに使います。
カーソル(▲/▼/◀/▶): メニュー画面や録画予約画面で項目を移動するときに使います。
- 25 戻るボタン
前のメニュー画面に戻りたいときに押します。
- 26 目次画面/録画スピードボタン ⇨ 25ページ
ハードディスクで録画中の番組を見ているときに押すと、その画面がHDDナビの目次画面になります。
[予約]録画スピード: 録画予約するときに録画スピードを設定します。
- 27 HDDナビ/確認ボタン ⇨ 22、26ページ
HDDナビ画面を呼び出すときに押します。
[予約]確認: 予約一覧が表示されます。

電池の入れかた

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖(マイナス)側を先に入れてください。



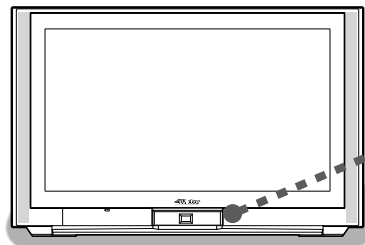
電池に表示されている注意事項をお読みください。長期間使用しないときは取り出しておいてください。

電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。

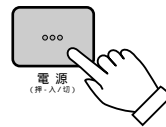
ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

ふだんの使いかた テレビを見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。



1 電源を入れる



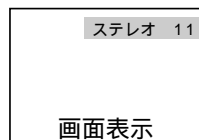
電源ランプが消えているとき



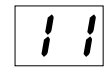
電源ランプが点灯しているとき

2 チャンネルを選ぶ

チャンネル数字ボタンやBSチャンネルボタンまたはチャンネル+/- ボタンを使ってチャンネルを選びます。選んだチャンネルが本体光サイン表示部または画面に表示されます。



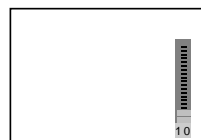
画面表示



本体光サイン表示部

3 音量を調節する

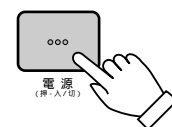
音量ボタンを押すと、画面に音量が表示されます。



電源を切るには

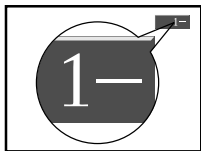


・リモコンで操作したいとき



・節電したいとき

チャンネルボタンを押すと画面に「-」が表示される時は・・・



押したチャンネルボタンと同じ数字の横に「-」が表示される時は、数字入力方式になっています。(2桁の数字で入力して選びます。)

チャンネルボタンを1つ押してチャンネルを選びたいときは、「CATV選局方式の選択」メニューで「12ボタン方式」を選んでください。(76ページをお読みください。)

数字入力方式のチャンネルの選びかた

見たいチャンネルを2桁の数字で入力し、選びます。

- ・ 0は10ボタンを使います。
 - ・ 1桁のチャンネルは3つの方法があります。
 - ① 1桁のチャンネルボタンを押したあとに、12ボタン(選局)を押す。
 - ② 最初に0(10)ボタンを押して1桁目の数字を押す。
 - ③ 1桁目のチャンネルボタンを押してから約3秒待つ。
- 1～12はチャンネル合わせで設定したチャンネル、13～38はCATVのチャンネルを選ぶことができます。

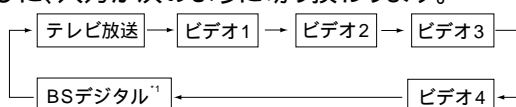
ビデオなどの映像を見るには



入力切換
5
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
BSデジタル

選択中の設定が矢印で示されます。

押すたびに、入力が次のように切り換わります。



次の設定をしているときは「ビデオ2」を選ばません。

メニューで「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「自動切換えする」または「常に使用する」に設定しているとき。

*1 BSデジタルチューナー用のD端子に何も接続されていないときは「BSデジタル」を選ばません。入力切換表示には表示されていますが、選ぶとスキップされてチャンネルが映ります。

いろいろな表示を出すには



画面表示
光サイン
入力表示
時計表示
表示なし

選択中の設定が矢印で示されます。

押すと画面表示メニューが表示されます。

選んだ設定により画面や本体表示窓の表示が変わります。

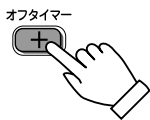
光サイン 本体表示窓にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。

入力表示 画面右上にチャンネル番号やビデオ入力名が表示されるようになります。

時計表示 画面右下に時計が表示されるようになります。

表示なし チャンネルを変えたときや外部入力に切り換えたとき、一定時間チャンネル番号や外部入力が表示されたあと消えます。

おやすみタイマーを使う(オフタイマー機能)



オフタイマー
切り(解除)
30分
1時間
1時間30分
2時間

選択中の設定が矢印で示されます。

テレビを見ながら寝てしまいそうなとき使います。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

残り時間表示

残り時間はテレビの操作をすると消えます。

ただし、動作3分前になると、残り時間が強制的に表示されます。

再設定あるいは解除するには

オフタイマーボタンを押し、設定時間を表示してから、時間を選び直してください。

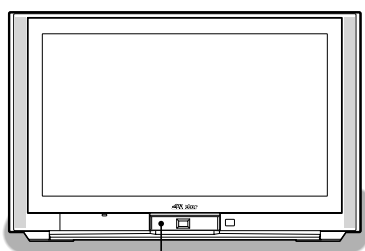
1度押すと、設定画面を表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。設定後、画面に残り時間が表示されます。

急いで音を消すには



電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。もう1度押すと、元の音量に戻ります。

テレビを録画する



ハードディスクランプ

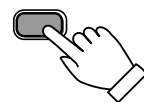
このテレビは、ビデオデッキのように録画や再生ができるハードディスクを内蔵しています。

準備

リモコンの電源ボタンを押してテレビ側の電源を入れます。

1 ハードディスクボタンを押す

ハードディスク



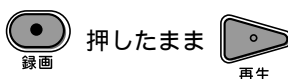
ハードディスクの電源が入り、本体表示窓のハードディスクランプが点灯します。

リモコンの電源ボタンを押すかわりにハードディスクボタンを押してもテレビ側の電源が一緒に入ります。

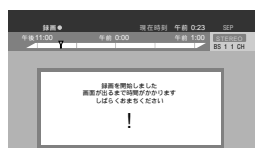
2 録画する番組を選ぶ

テレビを見るときと同じように、チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/- ボタンを使ってチャンネルを選びます。選んだチャンネルが、本体サイン表示部または画面に表示されます。

3 録画を始める



押したまま



画面にメッセージが表示されて録画が始まります。録画中にチャンネルを変えると他の番組を見ることができません。(BSチャンネルを録画中には他のBSチャンネルを選ぶことはできません)

4 録画を終わる



録画しているチャンネルを選んでから操作します。録画が終了します。

本機の録画スピードと録画時間について

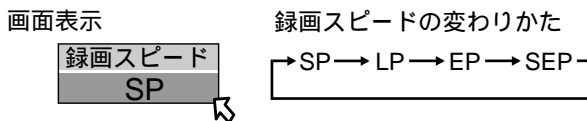
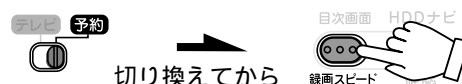
録画スピードと録画時間の関係は、録画スピードが速くなるほど短くなります。

本機で録画できる最大録画時間は、選ぶ録画スピードによって次のようになります。最大録画時間は、時間差再生の設定が「切」のときに録画できる時間を表します。

録画スピード	録画時間
SP (速い)	約7時間
LP ↑	約10時間
EP ↓	約14時間
SEP(おそい)	約20時間

本機の録画フォーマットは、DVDなどと同じMPEG2フォーマットを使っています。
スポーツなど動きの早い番組にはSPを、トークなど動きの少ない番組にはSEPをお選びください。
また、画質は録画スピードが速いほど良くなります。

録画時間を変更するには、テレビ/予約切換スイッチを予約側に切り換えてから操作します。
録画スピードボタンを押すと、画面に現在の録画スピードが一定の時間表示されます。
録画スピードは、ボタンを押すたびに切り換わります。しばらくすると画面表示が消え録画スピードが設定されます。



録画中の音声切換と録音される音声

VHF/UHF/CATVの場合

二重音声放送などを録画中には、音声切換ボタンを押すと、聞きたい音声を選ぶことができます。
録画中は音声切換の操作をしても画面表示はそのままです。また、音声を切り換えても、実際に録画される音声に影響しません。再生時にも音声切換をすることができます。

放送音声	録音される音声
ステレオ放送	ステレオ
二重音声放送	主音声+副音声
モノラル放送	モノラル

BS放送の場合

- ・BS放送を録画中は音声切換ができません。録画を始める前に、必要に応じて音声を切り換えてください。
- ・再生時の音声は録画時の音声に固定されます。

録画中の映像について

ハードディスクに録画しているとき、画面はハードディスクからの映像に切り換わります。
画質は設定した録画スピードに応じたものとなり、通常のテレビ放送などの画質とは異なります。(他のチャンネルに切り換えた後、録画しているチャンネルに切り換えたときも同じです。)

外部機器から録画するときのご注意

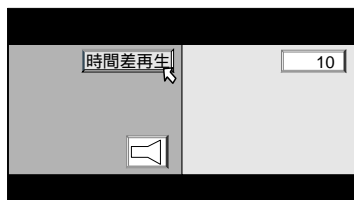
ビデオ3/DVD入力やBSデジタルチューナーなどD4映像入力端子から入力された映像は、ハードディスクで録画することができません。
ハードディスク側に録画するときは、録画を始めるまでに数秒間かかります。このため録画を始めたい部分よりも手前から再生を始めてください。録画したい部分の頭が切れることがあります。

裏番組録画中のご注意

録画中に電源を切ると録画も止まります。裏番組録画中のときは特にご注意ください。予約録画ランプが赤く点灯しているときは、電源を切る前にハードディスクボタンを押して録画しているチャンネルに切り換え、電源を切って良いか確認されることをおすすめします。

時間差再生 2 画面について

録画中には2画面に切り換えることはできません。ただし、時間差再生(受信時)には2画面ボタンを押すと、時間差再生画面と現在の放送が表示され時間差再生2画面になります。
このとき、左側の画面に操作画面を移すと、巻戻し(◀)ボタンやショット見バックボタンなどを使って、録画した部分を再生することができます。
時間差再生については「時間差再生」(42ページ)をご覧ください。

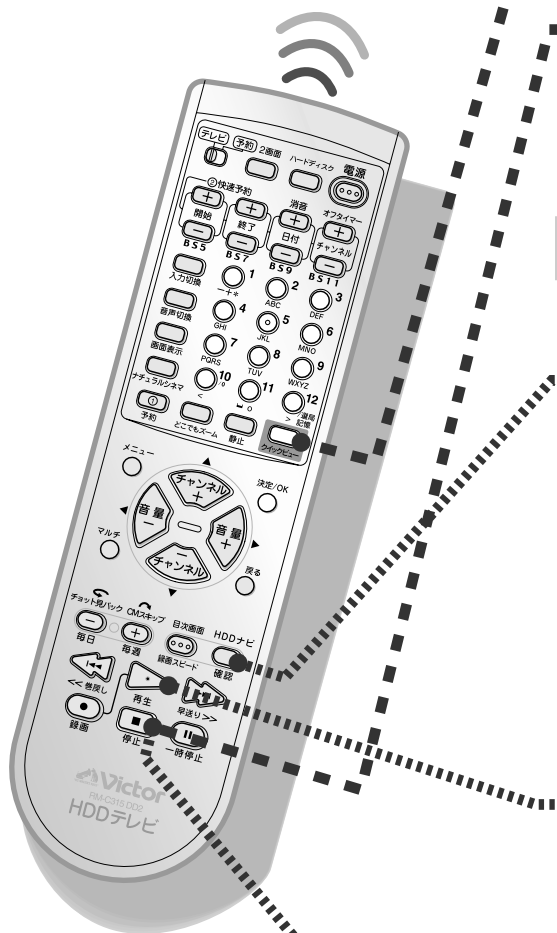
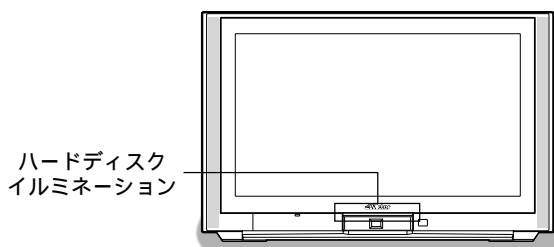


再生する

録画した番組は、2つの方法で再生することができます。

最後(直前)に録画した番組を見る → クイックビューボタンを使う

「録画一覧」画面で番組を選んでから見る → HDDナビボタンを使う



クイックビューボタンを使う

1 再生する



番組の再生が始まります。
本体表示部のハードディスクイルミネーションが青く点灯します。

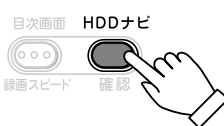
2 再生をやめる



再生が終了します。
本体表示部のハードディスクイルミネーションが消灯します。

HDDナビボタンを使う

1 HDDナビ画面を表示させる



HDDナビ画面が現れます。

最後に録画した
番組の目次画面



2 再生する

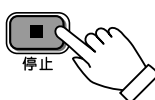


OKボタンを押すと▶が目次画面に移ります。もう1度OKボタンを押すと「再生」に▶が移ります。さらにもう1度押すと再生が始まります。



再生が終わると、このHDDナビ画面に戻ります。

3 再生を途中でやめる



再生が終了します。
本体表示部のハードディスクイルミネーションが消灯します。
もう1度再生ボタンを押すと、再生を止めたところから再生が始まります。

このような場合は故障ではありません

ハードディスク再生中に予約録画開始の時間になると、再生が止まったり、ハードディスクの画面表示がされたりします。再生が止まった場合は、再生ボタンを押してください。再び再生が始まります。

予約録画開始の時間になるとハードディスクの画面表示がされることがあります。このときのチャンネル(またはビデオ入力)表示は、現在見ているチャンネル(またはビデオ入力)ですが、実際に録画されるのは予約録画の設定でおこなったチャンネル(またはビデオ入力)です。

再生中に使えるボタン

チョット見バック



再生中に押すたびに、およそ7秒前の映像に戻ります。ちょっとだけ巻戻して見るのに便利です。

CMスキップ



再生中に押すたびに、およそ30秒がんの映像をとばします。

再生を一時停止する



静止画再生になります。通常の再生に戻すには、再生(▶)ボタンを押します。

番組を見ながら可変速再生をする



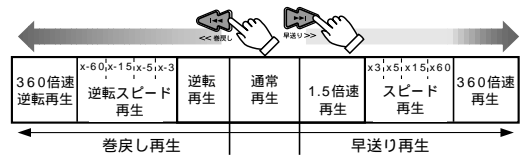
ボタンを1回押すと1.5倍速の音声付き再生になります。さらに早送り(▶▶)巻戻し(◀◀)ボタンを押すと、押すごとに再生スピードが変わります。

コマ送り再生をする



静止画再生にしたあと操作します。押すたびにコマ送りします。また、2秒以上押し続けるとスロー再生になります。通常の再生に戻すには、再生(▶)ボタンを押します。

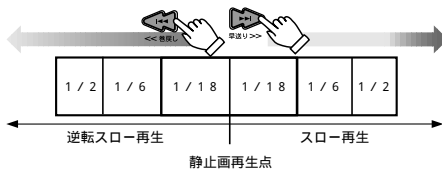
可変速再生スピードの変わりかた



可変速スロー再生をする

静止画再生/スロー再生中に早送り(▶▶)巻戻し(◀◀)ボタンを押すと可変速スロー再生になります。

可変速スローのスピードの変わりかた



HDDナビ画面の見かた

HDDナビ画面は、ハードディスク内に記録された番組などの目次画面を一覧表示する画面です。目次画面、タイトル、ジャンルは編集・設定の変更をすることができます(⇒54ページ)。

()内に表示された録画スピードで録画できる残り時間が表示されます。

目次画面

映像の一部が目次画面としてここに録画順に表示されます。カーソルで選ぶことができます。

カーソルで選んだ番組の詳しい情報が表示されます。

タイトル
番組にタイトルをつけたとき表示されます。録画したときには何も表示されません。後で設定します。(⇒56ページ)



現在選んでいる目次画面が全録画番組の何番目に記録されているかが表示されます。

ジャンル
録画予約で設定したジャンルが表示されます。目次画面で番組の内容がわかりにくいときに参考にしてください。(⇒62ページ)

番組の録画日時、チャンネル、録画スピード、録画時間が表示されます。これらは、録画時に自動的に記録されます。

番組の音声表示やタイマー表示などが表示されます。(⇒54ページ)

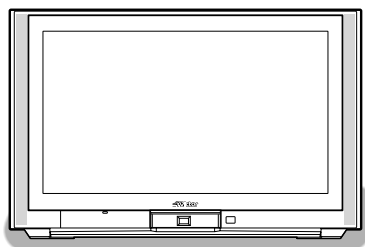
HDDナビを使って再生するときの注意

ビデオ3/DVD入力のD4映像入力端子からの映像を見ているときは、再生できません。別のビデオ入力やチャンネルを選びなおしてからHDDナビをご使用ください。

使
い
だ
ん
の
か
た

録画予約する

本機はハードディスクにビデオデッキと同じように録画予約をすることができます。
録画予約は次の手順でテレビ番組(地上波、BSアナログ放送)を予約します。



準備

リモコンのハードディスクボタンを押してテレビ側の電源を入れます。

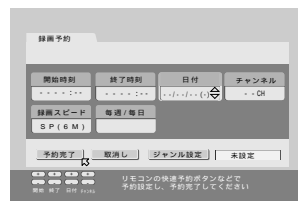
1 切換スイッチを予約側にする



2 予約ボタンを押す



予約画面が表示されます。



時計合わせが終わっていないと予約画面が表示されず、メッセージでお知らせします。
録画予約(予約数が16)やHDDナビ登録がいっぱいときは、メッセージが現れ、予約確認画面へと切り換わります。

3 予約を設定する

予約ボタンを使って予約に必要な設定をします。設定については右ページをご覧ください。

4 予約設定を完了する



予約の設定が終わったらカーソルボタン(▲▼◀▶)を押してカーソルを「予約完了」に合わせ、決定/OKボタンを押します。画面に確認メッセージが表示されます。決定/OKボタンを押して完了します。完了すると画面はもとのテレビ番組に戻ります。

5 切換スイッチをテレビ側に戻す



本機は、テレビの電源が入っていても予約録画がおこなわれます。

録画予約待機中は

テレビ側の電源を切っても、録画予約で設定された時間になると録画が開始されます。このとき本体前面のハードディスクランプが点灯します。

内蔵時計のズレについて

本機に内蔵の時計は、時間がたつとずれることがあります。大切な番組を予約するときは、時計の時刻が正しいことを確認されることをおすすめします。(時計を表示するには19ページ、時計を合わせるには85ページを参照ください。)

ご注意

録画予約した時間に、予約したチャンネルと同じチャンネルや入力をご覧になっていると、ハードディスクからの映像に切り換わりハードディスクの画質になります。(画面には録画開始をお知らせするメッセージが表示されます。)

録画予約画面と設定ボタン

録画予約画面

この画面を見ながら予約設定ボタンを使って、録画日などを設定します。実際の録画は、設定した時間内に番組情報などの終了処理をハードディスクが行うため、設定時間より短くなります。

予約設定ボタン

テレビ/予約切換スイッチを予約側に切り換えると、予約設定ボタンが使えるようになります。

必ず設定が必要です



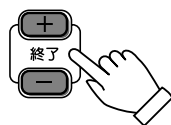
BSデジタルチューナーと組み合わせて録画する場合は107ページをご覧ください。

・開始 +/- ボタン



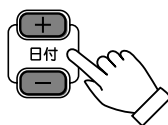
「開始 +/- 」ボタンを押すたびに、1分単位で変わります。押し続けると、30分単位で変わります。

・終了 +/- ボタン



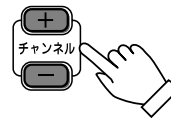
「終了 +/- 」ボタンを押すたびに、1分単位で変わります。押し続けると、30分単位で変わります。

・日付 +/- ボタン



「日付 +/- 」ボタンを押すたびに、日付が1日単位で変わります。来年の表示が出たら+ボタンを押すと今年の表示に戻ります。

・チャンネル +/- ボタン



スキップが設定されているチャンネルは表示されません。外部入力の映像を録画するにはV-1(ビデオ1入力)からV-4(ビデオ4入力)を選んで設定します。

・録画スピードボタン



押すたびに録画スピードが変わります。設定したいスピードを選びます。(P.21 ページ)

・毎日ボタン



予約する番組を月曜日から金曜日まで同じように録画するとき選びます。自動的にハードディスクに必要な容量が設定され、録画のたびに上書きされます。

・毎週ボタン

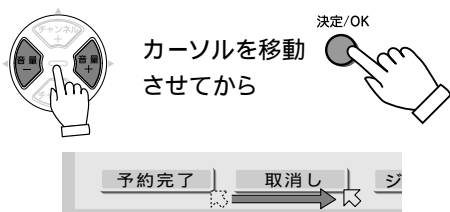


予約する番組を毎週同じように録画するとき選びます。自動的にハードディスクに必要な容量が設定され、録画のたびに上書きされます。

予約設定を間違えたときは

予約の取消し

予約内容を間違えて、取り消したいときに操作します。カーソルボタン(◀▶)を使って、取り消しを選んで決定/OKボタンを押すと、今設定した内容がすべて取り消されます。



ジャンルを設定する

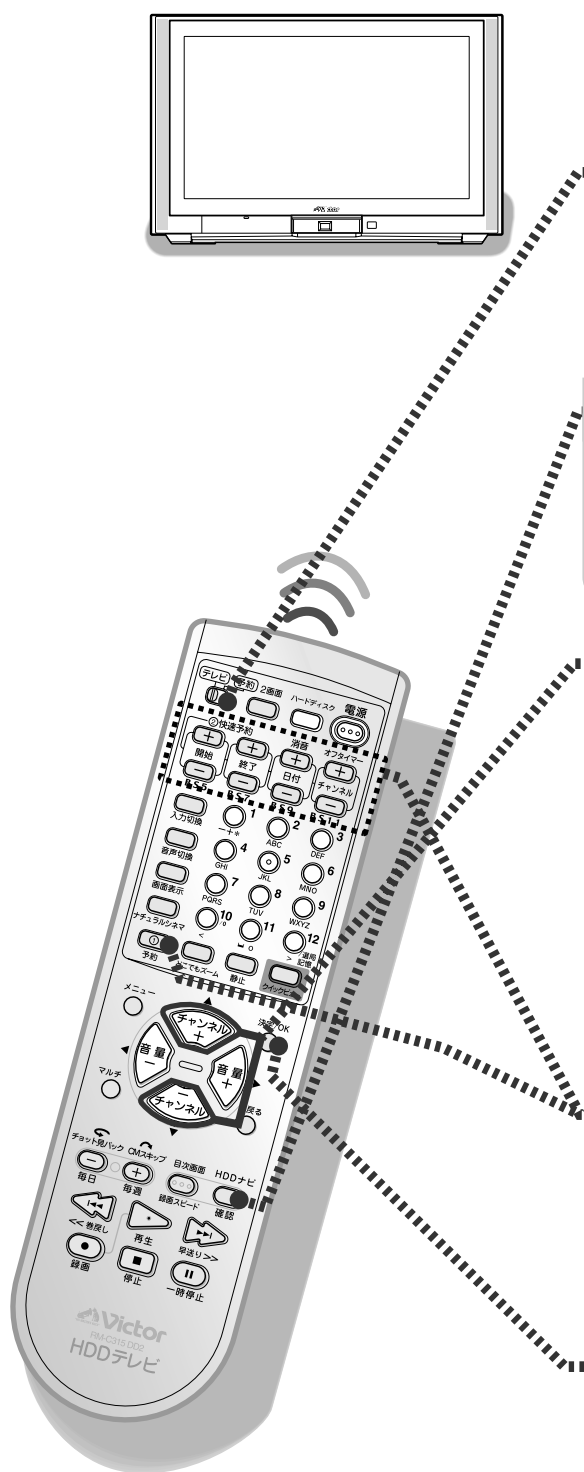
ジャンルを選ぶ

録画予約時にジャンルを設定することができます。設定しなくても録画することができますが、設定しておくことで番組を選ぶときに番組の内容の参考になります。

設定は、カーソルボタン(◀▶)を使って、画面の「ジャンル」にカーソルを移動させ決定/OKボタンを押すと、ジャンル画面に切り換わるので設定します。詳しくは「ジャンル設定について」(P.27)をご覧ください。

使
い
か
ん
の
た
の

予約を確認・変更する



準備

リモコンの電源ボタンを押してテレビ側の電源を入れます。

1 切換スイッチを予約側にする



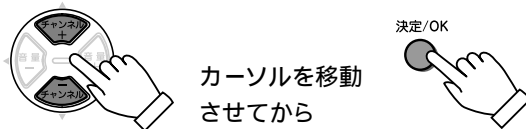
2 確認ボタンを押す



予約確認画面が表示されます。

3 確認/変更したい予約を選ぶ

カーソルボタン(▲▼)を使って確認/変更したい予約を選んで決定/OKボタンを押します。画面には録画予約画面が現れます。



カーソルを移動させてから

4 予約内容を変更する

予約ボタンを使って変更が必要なところを修正します。修正のときの操作方法は、録画予約のときと同様です。

5 予約設定を完了する



予約設定が終わったら画面に確認メッセージが表示されます。ボタンを押して完了します。完了すると画面はもとのテレビ番組に戻ります。

6 切換スイッチをテレビ側に戻す



テレビ/予約切換スイッチについて

このスイッチは2つ以上の機能を切り換えて使うためのスイッチです。操作している途中でスイッチを切り換えると、別の機能が働いてしまうのでご注意ください。

また、確認画面、予約ボタンなどを押して、その画面が表示されているときにスイッチを切り換えると、画面を消すことができませんのでスイッチを戻してから操作してください。

予約確認画面について

予約確認画面

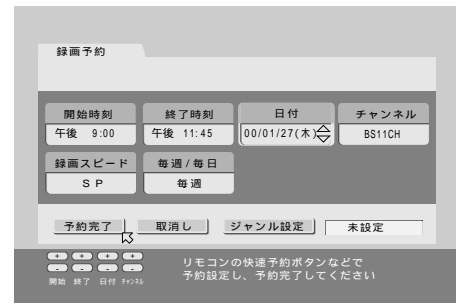
録画予約の一覧が表示されます。
予約内容を変更・取り消したいときはこの画面から選びます。

画面操作について

予約を選ぶには、カーソルボタン(▲▼)を使います。変更したい予約にカーソルを移動させ、決定/OKボタンを押すと、録画予約画面が表示されるので予約ボタンを使って必要な内容を変更します。



カーソルを移動
させてから



ジャンル設定について

ジャンル画面

録画予約画面でカーソルボタン(◀▶)を使って「ジャンル設定」を選び、決定/OKボタンを押すと表示されます。15種類のジャンルが予め登録されているのでこの中から選びます。

画面操作について

ジャンルを選ぶには、カーソルボタン(◀▶)を使います。ジャンルを選んで決定/OKボタンを押すと、カーソルが前画面に移動します。もう1度決定/OKボタンを押すと、ジャンルが決定され録画予約画面に戻ります。このとき設定したジャンルがジャンル枠に表示されます。



カーソルを移動
させてから

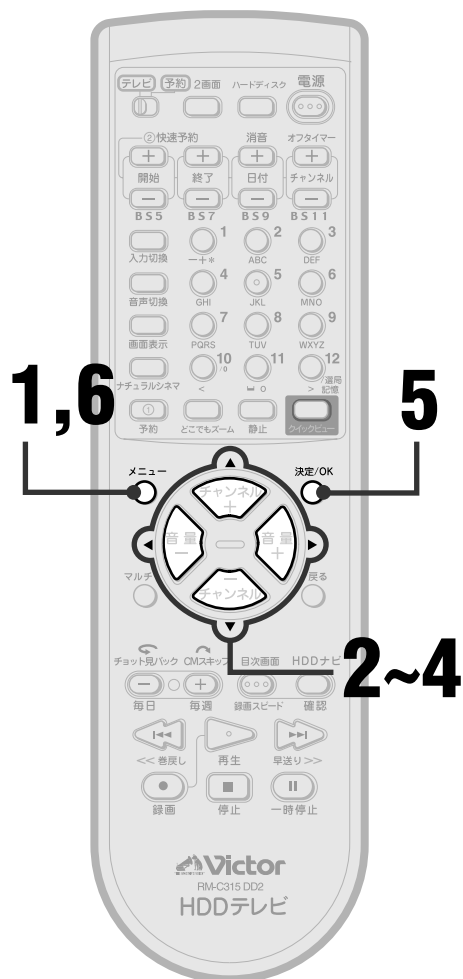


ジャンル枠

メニューボタンの使いかた

このテレビではリモコンを使って「メニュー」と呼ばれる画面上の表示を見ながら操作(設定や調整など)をおこないます。

ここでは、メニューの基本的な使いかたを説明します。



1

メニューボタンを押す

画面にメニューが表示されます。(画面は右ページのいずれかが表示されます)



2

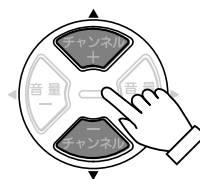
カーソルボタン(◀▶)を押して、設定したい項目を選ぶ



メニュー画面上部の \curvearrowright が移動して、表示されるメニューの項目が変わります。表示されるメニューについては右ページをご覧ください。

3

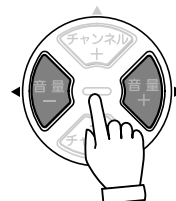
カーソルボタン(▼▲)を押して、調節や設定をしたい項目を選ぶ



\curvearrowright を調節や設定したい項目に移動します。

4

カーソルボタン(◀▶)を押して、設定を変更する



選ばれた項目の設定が変わります。

5

決定/OKボタンを押す

変更した内容が記憶されます。

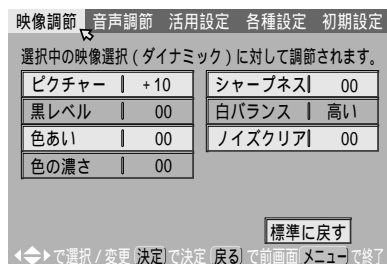


6

メニューボタン(●)を押して終了する

画面からメニューが消えます。

映像調節



肌の色合いや色の濃さなどを調整したいときに使います。

映像選択が「シアター」のときは、ノイズクリアの下に「シアタープロ設定へ」が表示され、細かな設定ができるようになります。

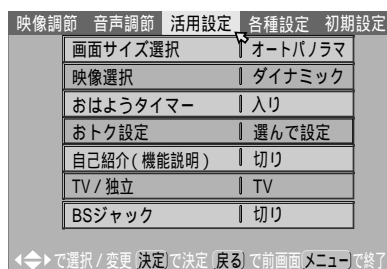
音声調節



音声の調節(高音、低音、左右のバランス)をしたいときに使います。

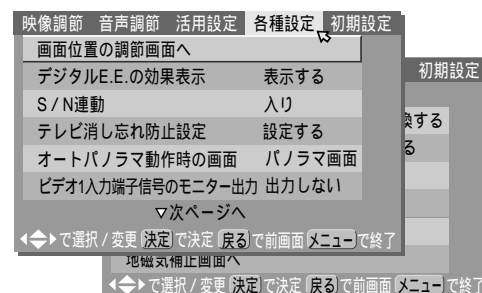
で
楽
し
む
便
利
な
機
能

活用設定



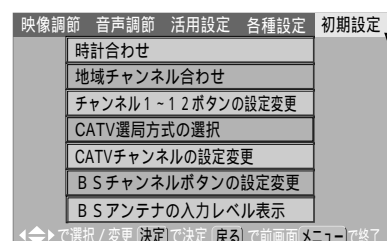
画面サイズを変えたり、ご覧になるソフトに合わせて映像の設定を変えたり、省電力機能を使いたいときに使います。

各種設定



活用設定や初期設定の補助的なメニューで、2ページで構成されています。時間差再生の時間設定は2ページ目に用意されています。

初期設定



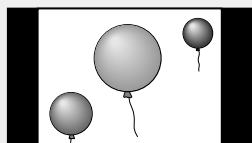
テレビを設置するときに、テレビ本体の内蔵時計を合わせたり、チャンネルの設定をするときに使います。

画面サイズの種類

ご自分の好みやご覧の番組に適した画面サイズで映像をお楽しみください。

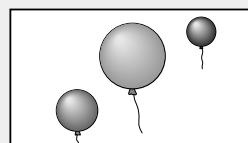
ノーマル

テレビ番組をオリジナルのサイズで映す
従来のテレビの映像は、縦と横の比率が4:3となっています。この映像をオリジナルのサイズで映します。このとき、左右に黒い帯が残ります。



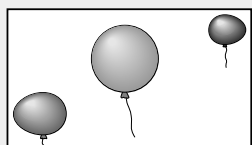
シネマ

映画番組を見るとき
劇場サイズの映画番組や映画ソフトを黒い帯が見えないように拡大します。映像によっては黒い帯が残ることがあります。



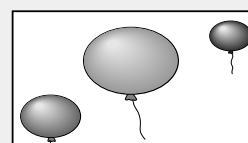
パノラマ

テレビ番組を横幅にあわせて拡大する
従来のテレビの映像(4:3)を、不自然に見えないように、横長の画面いっぱいに拡大します。



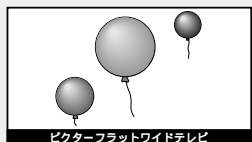
フル

テレビ番組を画面いっぱいに拡大する
従来のテレビの映像(4:3)を、そのまま画面いっぱいに映します。ハードディスク再生時には強制的にこの画面に切り換わります。



字幕パノラマ

字幕入りの映画番組を見るとき
映画番組などで画面下側に字幕の入った部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。



著作権の侵害について

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

「ノーマルサイズ」ご使用時の注意

長期間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面左右に帯が残る「焼きつき」が発生しやすくなります。また非常に明るい映像でご覧になると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

画面サイズを変えるときは、ご覧になっている入力に合わせて一覧が表示されます。

地上波放送やビデオなど
(NTSC)

- 画面サイズ選択
- オートパノラマ
- パノラマ
- 字幕パノラマ
- シネマ
- フル
- ノーマル

ハイビジョン
(1125i、D4映像入力)*

- 画面サイズ選択
- デジタルHD
- アナログHD

プログレッシブ
(525p、D4映像入力)*

- 画面サイズ選択
- パノラマ
- シネマ
- 字幕パノラマ
- フル
- ノーマル

プログレッシブ
(750p、D4映像入力)

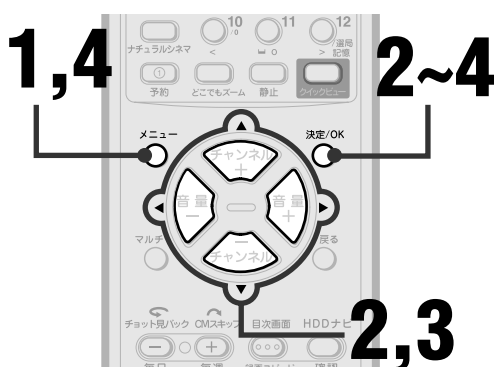
- 画面サイズ選択
- フル



(*「用語解説」P.105)

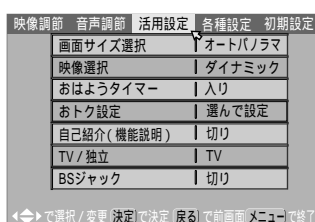
画面サイズを変えるには

ご覧になっている映画や番組に合わせて、最適な画面サイズを選びます。

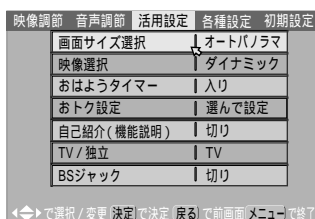
ハードディスク用の画面表示(HDDナビ画面や時間差再生中など)を表示するときは、画面サイズが強制的にフルに切り換わります。



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ



2 カーソルボタン()で「画面サイズ選択」を選ぶ



選んでから



本体のボタンで操作するときは

画面サイズ選択ボタンを繰り返し押します。1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびに画面サイズが切り換わります。

こんなときは?

「オートパノラマ」のときは...

「パノラマ」(または「ノーマル」)、「シネマ」「字幕パノラマ」の中から最適な画面サイズが自動的に設定されます。

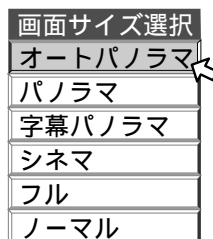
「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定によります。くわしくは「オートパノラマの画面サイズを設定する」(P.32)をご覧ください。黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間時間がかかることがあります。暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると...

画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。(*「用語解説」P.105)

3 カーソルボタン()でお好みの画面サイズを選ぶ

ご覧になっている放送やお使いの外部入力端子により、選ぶことのできる画面サイズが表示されます。



選んでから



(例:地上波テレビ放送のとき)
選んだ画面サイズに切り換わります。



4 決定/OKボタン()またはメニューボタン()を押して決定する


ボタンを押さなくても、数秒すると選んでいる画面サイズに決定されます。

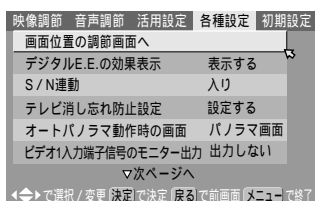
便利な機能
で楽しむ

画面の位置を調節する

映画の字幕が隠れてしまうときなどに、画面の位置を調節します。

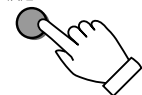
1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ


2 カーソルボタン()で「画面位置の調節画面へ」を選ぶ

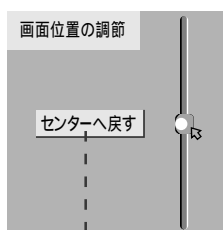



選んでから


決定/OK



3 カーソルボタン()で画面の位置を調節する



センターに戻したいときは、カーソルボタン()で「センターへ戻す」を選んで「決定」ボタンを押します。



4 メニューボタン()を押して終了する


注意!

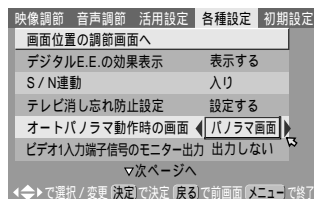
ノーマルサイズでご覧になっているときは、画面上下移動はできません。画面サイズを切り換えると、画面上下移動の設定は解除されます。


オートパノラマの画面サイズを設定する

オートパノラマのとき、画面サイズ4:3の映像を、自動的に画面いっぱいに拡大して映すか、画面サイズ4:3の映像で映すかを設定します。

1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン()で「オートパノラマ動作時の画面」を選ぶ




3 カーソルボタン()で設定を変更する

「ノーマル画面」:

従来(テレビサイズ)のときは、画面サイズが4:3の画面になります。パノラマ画面での映像の変形が気になる方はこちらを選びます。

「パノラマ画面」:

画面いっぱいの映像になります。

4 メニューボタン()を押して終了する

2画面で見る

ご注意

録画予約開始 1 分前になると、2 画面でご覧になっていても 1 画面に切り換わります。
(予約 / 録画ランプが赤く点灯します。)

2つの番組を同時に楽しむことができます。

ハードディスクで再生中に、2画面ボタンを押すと現在のテレビ受信画面と再生画面の2画面になります。

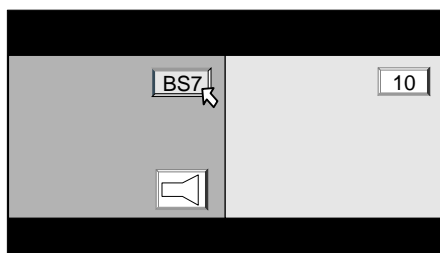
ハードディスクで時間差再生(受信時)に2画面ボタンを押すと時間差再生2画面になります。



1

2画面ボタンを押す

2画面表示になります。



1画面に戻すには

2画面中に決定/OKボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

操作できる画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作できる画面になっています。操作できる画面を変えるにはカーソルボタン(◀▶)を押します。音声は操作できる画面の音声がスピーカーから聞こえてきます。操作できる画面はチャンネル入力が緑色で表示されています。



音量を変えるには

- 消音ボタンを押す
☒マークが表示されます。
- 音量 +/- ボタンを押して音量を調節する
・音量表示が出ている間は音量調節ができますが、音量表示が消えると調節ができなくなります。

チャンネルや入力を切り換えるには

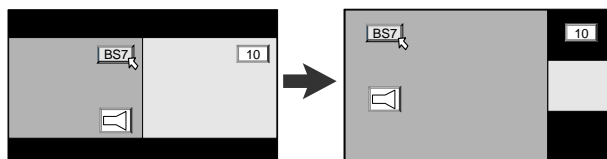
- カーソルボタン(◀▶)を押して、切り換えたい画面を選ぶ
- チャンネルボタンや入力切換ボタンを押して切り換える

画面を拡大するには

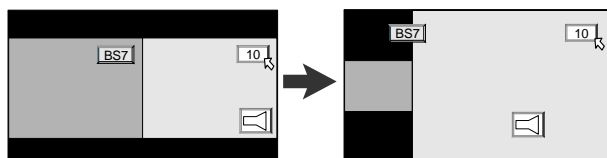
2画面中にカーソルボタンを押すと操作できる画面のほうが大きくなります。



カーソルボタン(◀)を2回押します。



カーソルボタン(▶)を2回押します。



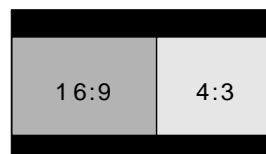
2画面で見ることができる組み合わせ

		右画面						
		テレビ	ビデオ1	ビデオ2	ビデオ3 映像・S映像入力	ビデオ4 D4映像入力	ビデオ4	BSデジタルチューナー
左画面	テレビ	VHF / UHF / CATV / アナログBS	×				×	×
	ビデオ1			×		×	×	
	ビデオ2				×	×	×	
	ビデオ3	映像・S映像入力				×	×	×
		D4映像入力				×	×	×
ビデオ4					×	×	×	
BSデジタルチューナー						×	×	

*1 750pの信号では2画面で見ることができません。

ご注意

ヘッドホンをつなぐと、操作できる画面のスピーカーマークがヘッドホンのマークにかわります。操作できる画面の音声を聞くことができます。左画面に次のような信号が入力されると、16:9の画面サイズになります。
・S1映像入力から「フル」の信号付の映像が入力されたとき
・D4入力端子から16:9の信号が入力されたとき

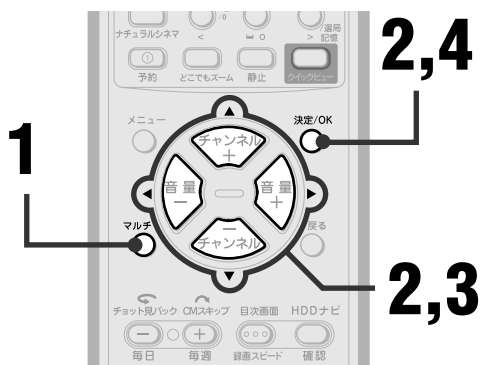



2画面中はオートパンoram(P.31)は使えません。
ハードディスクで録画中には2画面になりません。

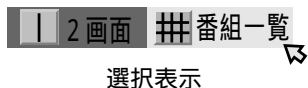
便利な機能
で楽しむ



番組一覧を表示する

番組一覧は現在放送されている番組を順番に分割画面に表示します。
番組を選ぶときに使います。
ハードディスク録画時には動きません。




1 マルチボタン()を押して、画面下に選択表示を出す




2 カーソルボタン()で「番組一覧」に合わせて、決定/OKボタン()を押す


画面が 9、12 または 16)分割されて、番組が静止画で映ります。(最初の表示中は音声は聞こえません。)


1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
BS5	BS7	BS9	BS11

受信できる放送局が16以上あるときは、カーソルボタン()を押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

一通り分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)

3 カーソルボタン()で見たい番組を選ぶ

カーソルボタン()を使うと素早く番組を選ぶことができます。

4 決定/OKボタン()を押して選んだ番組を1画面にする

選ばれたチャンネルが1画面に表示されます。

BSジャック中は

BSチャンネルは、BSジャックしているチャンネルだけが表示されます。他のチャンネルは表示されません。

表示されないチャンネル

番組一覧で表示できるチャンネルは、チャンネル+/- ボタンで選局できるチャンネルです。
チャンネル+/- ボタンで選局できないチャンネルは表示されません。(画面は黒く表示されます)

番組一覧中にできない操作

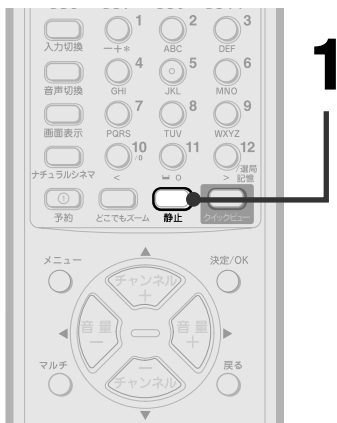
次の機能またはボタンは操作できません。

- ・オートパノラマ機能
- ・ナチュラルシネマボタン、音声切替ボタン、静止ボタン、オフタイマーボタン、チャンネル+/- ボタン、入力切替ボタン、どこでもズームボタン

ご注意

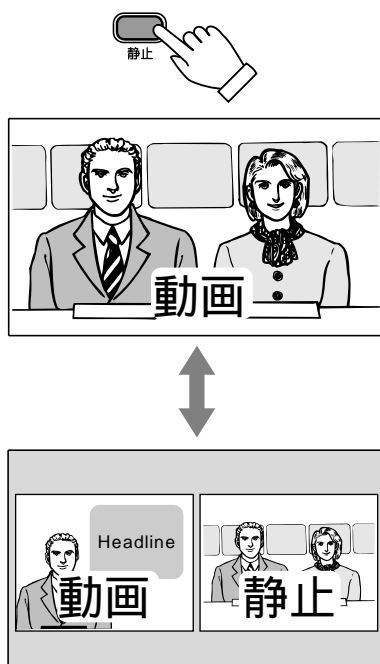
録画予約開始 1 分前になると、番組一覧をご覧になっても 1 画面に切り換わります。
(予約 / 録画ランプが赤く点灯します。)

メモ機能を使う(静止画)



今見ている映像を静止画面で見ることができます。
応募先の住所などをメモするときに便利です。
同時に今まで見ていた番組も楽しめます。
ハードディスクではこの機能は働きません。

1 静止させたい場面で静止ボタンを押す



もとの画面に戻すには、もう1度静止ボタンを押します。

こんなときは?

2画面中に静止ボタンを押すと...

操作できる画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
もう1度静止ボタンを押すと元の2画面に戻ります。

操作画面が右画面のときは、静止ボタンは働きません。

次のようなときは、静止画をご覧になることはできません。

番組一覧を表示中のとき。

D4映像入力端子から750pの映像をご覧のとき。

音量を変えるには

1 消音ボタンを押す

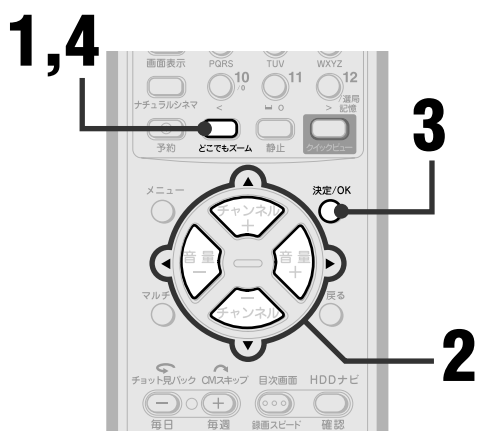
☒マークが表示されます。

2 音量+/-ボタンを押して音量を調節する

・音量表示が出ている間は音量調節ができますが、音量表示が消えると調節ができなくなります。

便利な機能
で楽しむ

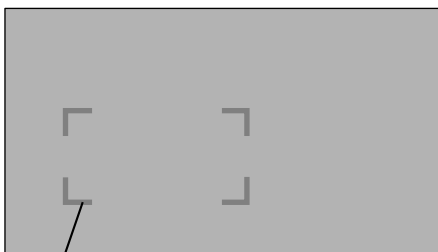
見たいところを拡大する



画面の一部を拡大して見ることができます。
ハードディスクではこの機能は動きません。

1 どこでもズームボタン (どこでもズーム)を押す

画面に拡大範囲をしめす枠が表示されます。(このとき画面サイズはフルに変わります。)



拡大される範囲

2 カーソルボタン(▲▼◀▶)でズームしたい場所に枠を移動させる



ズーム枠：拡大したい部分を指定するめやすの枠です。
実際に拡大される位置や場所が異なることがあります。

3 決定/OKボタン(決定/OK)を押す

ズーム枠で囲まれた範囲が、画面いっぱいに表示されます。



4 ズームを解除するには、どこでもズームボタン(どこでもズーム)をもう1度押す

ズームが解除されてふだんの映像に戻ります。



ズーム中に拡大したい部分を移動するには

カーソルボタン(▲▼◀▶)を押して拡大したい部分を移動することができます。

拡大された画面について

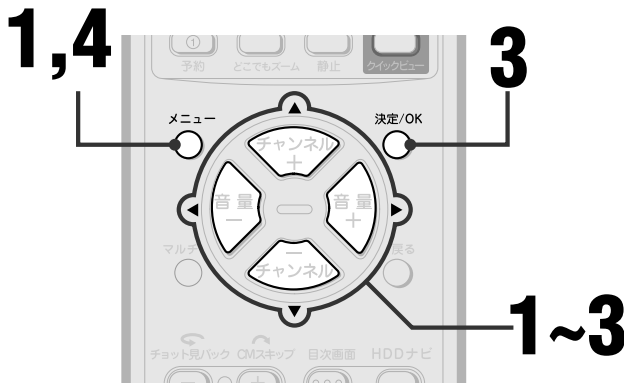
どこでもズーム機能で拡大された映像は、デジタル処理により拡大しているので、元の映像よりも粗い感じになります。







どこでもズームボタンを使っているときは

カーソルボタン(▲▼◀▶)と決定ボタン、戻るボタンが使えます。

BS 放送を録画しながら テレビを見る

BS放送を録画しながら地上波テレビ放送をご覧になることができます。そのときはBS放送のチャンネルが切り換わらないように、「BSジャック」の設定をしてください。「ビデオデッキを接続する」もご覧ください。(P.87)



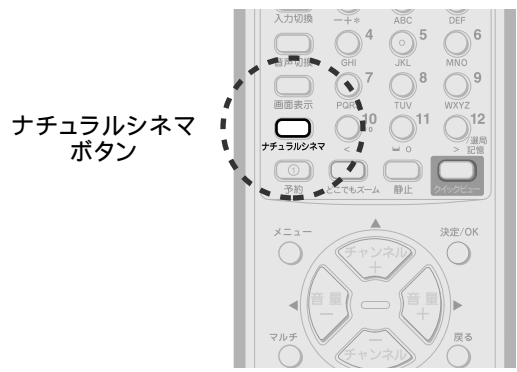
- 1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン()で「BSジャック」を選ぶ
- 3 カーソルボタン()で「入り」を選び、決定/OKボタン()を押す
BS放送のチャンネルが切り換わらなくなります。
- 4 メニューボタン()を押して終了する

BSジャック機能について

テレビのBSチューナーを、接続されているビデオデッキの録画用に占有させる機能なので、BSジャック中に受信中のBS放送のチャンネルを変えたり、音声を変えることはできません。また、BSジャック中はテレビの電源ボタンを押して電源を切らないでください。電源を切るとモニター/BS出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出力されなくなります。

フィルム撮影された映画 画などをキレイに見る

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。このようにときに、ナチュラルシネマを「入り」にすると動きの速いところも、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。



便利な機能
で楽しむ

ナチュラルシネマボタンを押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」切りが切り換わります。「入り」にすると、画面に「ナチュラルシネマモードにしました」というメッセージが現れます。

ナチュラルシネマに関するお願い

- 通常はナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。地上波テレビ放送などで、設定を「入り」にすると輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。
- 2画面中、番組一覧中はナチュラルシネマボタンは使えません。次のようなときはナチュラルシネマの設定は「切り」になります。
- ・ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
 - ・チャンネルや入力を切り換えたとき
 - ・2画面や番組一覧に画面を切り換えたとき

また、ハイビジョン(1125i)やプログレッシブ(525p)の番組を見ているときや、2画面中や番組一覧中は設定を「入り」にすることはできません。

お好みの映像に調節する

必要に応じて操作をしてください。
ふだんは画質を選ぶだけでもお楽しみいただけます。

1.画質を選ぶ(38ページ)

4種類の画質から選びます。

2.映像を調節する(39ページ)

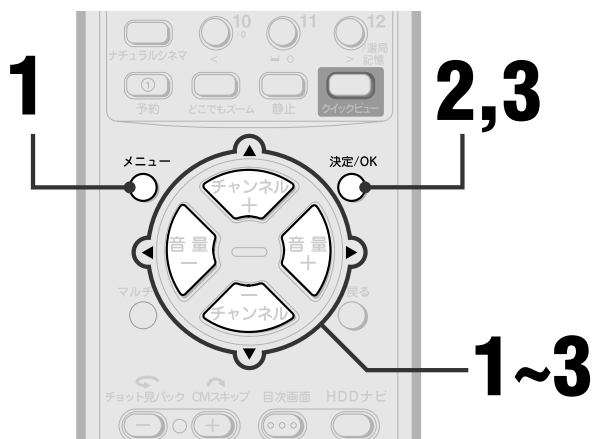
選んだ画質を調節します。

3.シアタープロの調節をする(50ページ)

「シアター」の画質を選んだときに
細かな調節ができます。詳しい知識をお持ちの方向けの調節です。

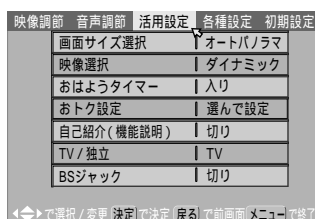
映像選択のめやす

スタンダード	ふつうの明るさの部屋でくっきりとした映像を見たいとき
ダイナミック	明るい部屋で明暗のはっきりとしたメリハリのある映像を見たいとき
シアター	映画番組や映画ソフトを見たいとき
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき 明るさをおさえ、輪郭を強調した映像になります

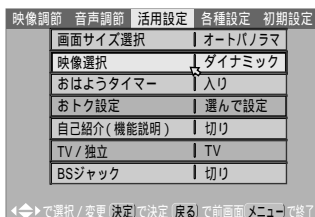


お好みの画質を選ぶ

- 1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

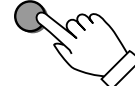


- 2 カーソルボタン()で「映像選択」を選ぶ

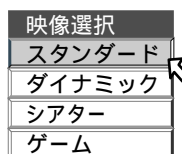


選んでから

決定/OK

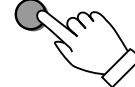


- 3 カーソルボタン()で画質を選ぶ



選んでから



決定/OK

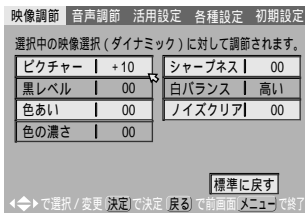




選んだ画質に切り換わり、メニューが画面から消えます。


お好みの映像に調節する


映像を調節する

- 1** メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「映像調節」を選ぶ



- 2** カーソルボタン()で項目を選び、決定/OKボタン()を押す

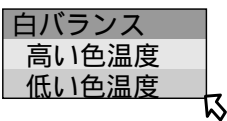
- 3** カーソルボタン()で調節する

ノイズクリアの調節はカーソルボタン()を使います。



例:「ピクチャー」を選んだとき

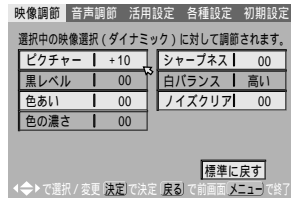


例:「白バランス」を選んだとき




数秒間、操作を行わないと、手順1の画面に戻ります。

- 4** 戻るボタン()または決定/OKボタン()を押す




この画面はピクチャーの調節が終わったときの例です。

他の項目も調節するときは手順2～4をくり返します。

- 5** メニューボタン()を押して終了する

お買い上げ時の設定に戻すには

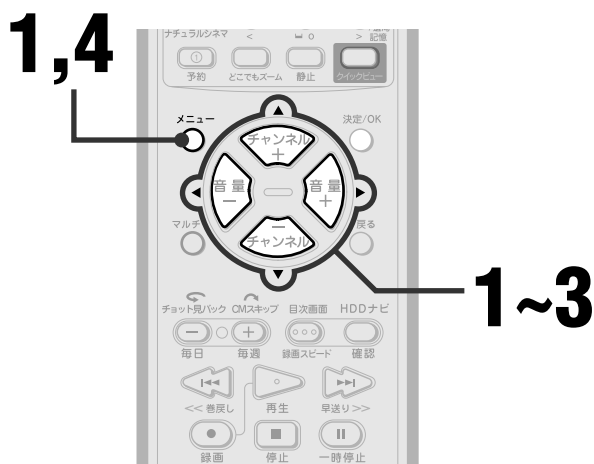
手順2で「標準に戻す」に  マークを合わせ、決定ボタンを押します。

調節項目の内容と調節のめやす

調節項目	◀	▶	調節のめやす
ピクチャー	暗く・淡く	明るく・濃く	明るさ・色の濃さを大まかに決める
黒レベル	暗く	明るく	見やすい明るさに
白バランス	高い	低い	画面全体の色調を選ぶ 高：標準 低：赤みが強くなる
色の濃さ	淡く	濃く	交互に調節して健康的な肌色に
色あい	赤っぽく	緑っぽく	
シャープネス	やわらか	くっきり	好みの輪郭に
ノイズクリア	-2	~ +2	画面のざらつきが少なくなるように調節



で楽しむ
便利な機能

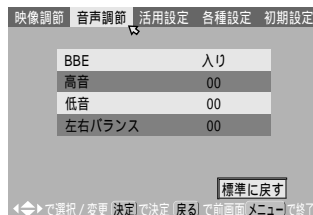
音声を調節する




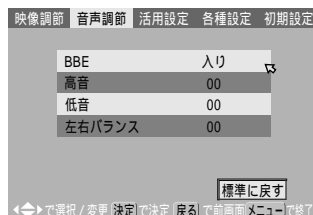
音声調節のめやす


調節項目	◀	▶
高音	弱く	強く
低音	弱く	強く
左右バランス	左側が大きく	右側が大きく
BBE*	「入り」と「切り」の切り換え 「入り」に設定すると、原音に忠実に聞きやすい音を再現します。 * BBEは、BBE Sound社の登録商標です。	

1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「音声調節」を選ぶ




2 カーソルボタン()で項目を選ぶ



3 カーソルボタン()で調節する



他の項目も調節するときは
手順2～3をくり返します。

4 メニューボタン()を押して終了する

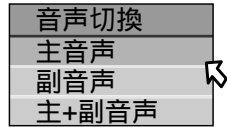
お買い上げ時の設定に戻すには

手順2で「標準に戻す」に  マークを合わせ、決定ボタンを押します。

音声を切り換える

音声を選ぶ

二重音声放送やステレオ音声放送のときに聞きたい音声を選びます。

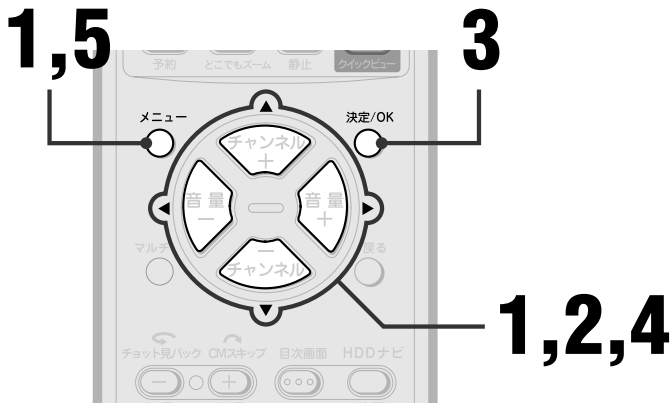


例: 二重音声放送を受信しているとき

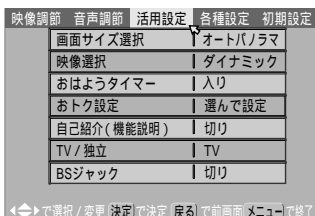
1度押すと、現在の設定が表示されます。
 押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。
 二重音声放送受信中は(BS放送、地上波テレビ放送):
 「主音声」「副音声」「主+副音声」「主音声」 ...
 ステレオ放送受信中は(地上波テレビ放送):
 「ステレオ」「モノラル」「ステレオ」 ...

BS放送の独立音声を聞く

Aモード音声で放送されているBS放送の番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

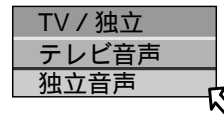


2 カーソルボタン()で「TV/独立」を選ぶ



3 決定/OKボタン()を押す

4 カーソルボタン()で「独立音声」を選ぶ



5 メニューボタン()を押して終了する

BS有料放送で独立音声を聞くには

BSデコーダー側で切り換える
 BS有料放送で音声を切り換えるには、BSデコーダー側で音声を切り換えてください。

で楽しむ
 便利な機能

本機を使いこなす 時間差再生について

時間差再生とは

本機はハードディスクを搭載して、高速書き込みや高速読み出しができます。

この特長を利用して録画中や受信中の番組、外部機器の入力をハードディスクに一時的に記録することができます。

この一時的に記録した映像を、番組の視聴中に巻き戻して見たり、一時停止させたりすることができます。

この機能を時間差再生機能といいます。

本機の時間差再生機能には、次の2つがあります。

- ・時間差再生(録画時) : 録画中(録画予約での録画中也含まれます)に、録画をつづけながら録画済みの部分を自由に再生できます。
録画中にチョット見バックボタンや巻き戻し(◀◀)ボタンを使うと時間差再生になります。このときの操作は通常のビデオデッキのような感覚で一時停止や巻き戻し、早送りなどが可能です。時間差再生(録画時)できる範囲は、録画を開始した時点から現在録画をしているところまでになります。
- ・時間差再生(受信時) : ハードディスクに一定の容量を予約して、録画操作を行わなくとも、放送を一時的に記録し、前に戻して見直すことができます。このとき、受信している番組や外部入力の手信号を記録し続けています。
テレビで番組を視聴中にチョット見バックボタンや巻き戻し(◀◀)ボタンを使うとハードディスクに記録された映像を再生する時間差再生(受信時)の映像に切り換わります。このときの操作は通常のビデオデッキのような感覚で一時停止や巻き戻し、早送りなどが可能です。時間差再生(受信時)は、放送を一時的に記録している範囲内で行うことができます。
放送を一時的に記録する時間は「各種設定」の「時間差再生」で「切り」30分「1時間」3時間から選んで設定します。お買い上げ時には「1時間」に設定されています。一時的な記録の時間が、設定時間を越えると古い部分から上書きをくり返します。

・時間差再生(受信時)の制限について :

時間差再生(受信時)は、内蔵チューナー、外部チューナー、外部機器の入力信号について働きます。このためコピープロテクトされている番組についても働きますが、録画することはできません。時間差再生(受信時)は次のようなとき中断し、それまでの一時的記録は削除され、新しく一時的な記録をはじめます。

- ・チャンネルを変えたとき
- ・電源を切ったとき
- ・目次画面を変更したとき
- ・時間差再生時間の設定を変更したとき
- ・ハードディスクで録画を始めたとき
- ・時間差再生時間を「切り」にしたとき
- ・以前録画した番組を再生したとき
- ・番組を削除したとき

番組などをあるていど録画したあとで、時間差再生(受信時)の設定時間を増やそうとすると、新たに必要容量がハードディスク上に予約できず設定できないことがあります。このようなときは画面に、設定を変更できないことをメッセージで表示してお知らせします。

・D4映像入力端子からの映像の制限について :

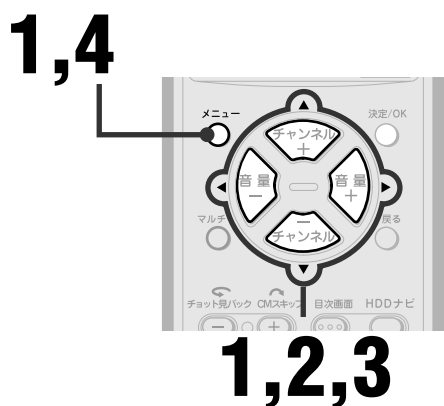
D4映像入力端子に接続した機器からの映像はハードディスクに録画できません。
D4映像入力端子に接続した機器からの映像に対して時間差再生は働きません。

オートCMスキップとは

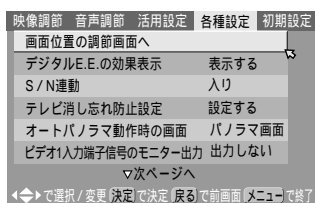
ハードディスクで録画するときはコマーシャル部分に信号を入れ、再生時にはその信号を読みとってコマーシャルを飛ばして再生する機能です。

ハードディスクで再生するときの設定で、「各種設定」の「オートCMスキップ」で「入り」「切り」を切り換えます。

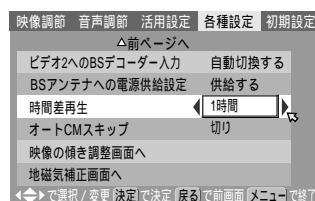
時間差再生(受信時)の設定時間をかえる



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン()で「時間差再生」を選ぶ



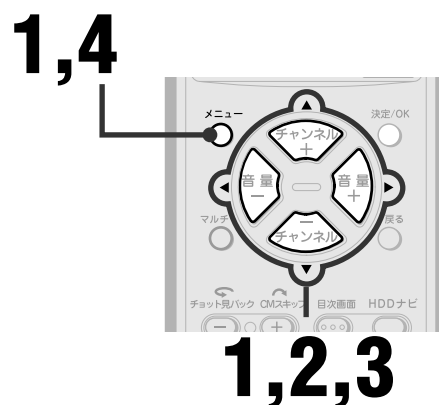
3 カーソルボタン()でお好みの設定時間を選ぶ



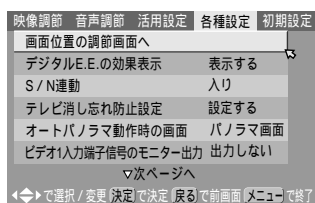
「切り」を選ぶと時間差再生(受信時)は使えなくなります。

4 メニューボタン()を押して決定する

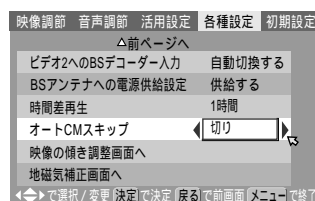
オートCMスキップ設定をかえる



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ



2 カーソルボタン()で「オートCMスキップ」を選ぶ



3 カーソルボタン()で選ぶ

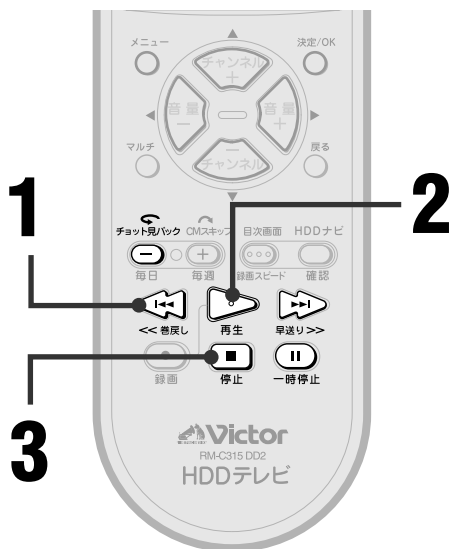


「切り」を選ぶと再生時にCMをスキップしません。

4 メニューボタン()を押して決定する

本機を使いこなす

時間差再生機能を使う



時間差再生中のボタン操作について

時間差再生中のボタン操作は次のようになります。

・ 早送り(▶▶)ボタン

1回押すと1.5倍音声付きの早送り再生になります。さらに早送り(▶▶)/巻戻し(◀◀)ボタンを押すと、押すごとに再生スピードが変わります。

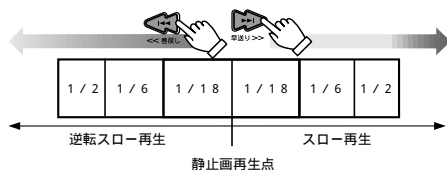
可変速再生スピードの変わりかた



可変速スローについて

一時停止ボタンを押して、静止画再生のとき早送り(▶▶)/巻戻し(◀◀)ボタンを押すと可変速スローになります。

可変速スローのスピードの変わりかた



時間差再生をする

時間差再生は番組の録画中でも受信中でも同じように操作することができます。録画中および受信中に次の操作で、時間差再生になります。

1 番組の受信中や録画中に巻戻し(◀◀)ボタンを押す



時間差再生に切り換わります。現在の時刻から、最も近い「:00」または「:30」のところから時間差再生が始まります。

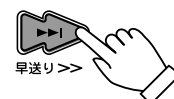
チョット見バックボタンや一時停止(■)ボタンを押しても、時間差再生に切り換わります。

2 見たいシーンを探し、時間差再生をする

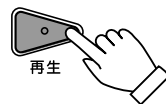
早送り(▶▶)ボタン、巻戻し(◀◀)ボタンを使って見たいシーンを探し、再生(▶)ボタンを押します。



または



探してから



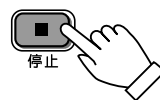
時間差再生中にも、可変速再生または可変速スローをすることができます。

可変速再生中または可変速スロー中に再生(▶)ボタンを押すと、ふつうの時間差再生に戻ります。

早送りに現在の番組に追いついたときは、現在録画中または受信中のテレビ画面に切り換わります。切り換わる時に画面が乱れることがありますが故障ではありません。

巻戻し中に番組の頭までさかのぼったときは、画面が一時停止になります。このとき、チョット見バックボタンや巻戻し(◀◀)ボタンを押すと「これ以上は戻ることができません!」と表示され、戻ることはできません。

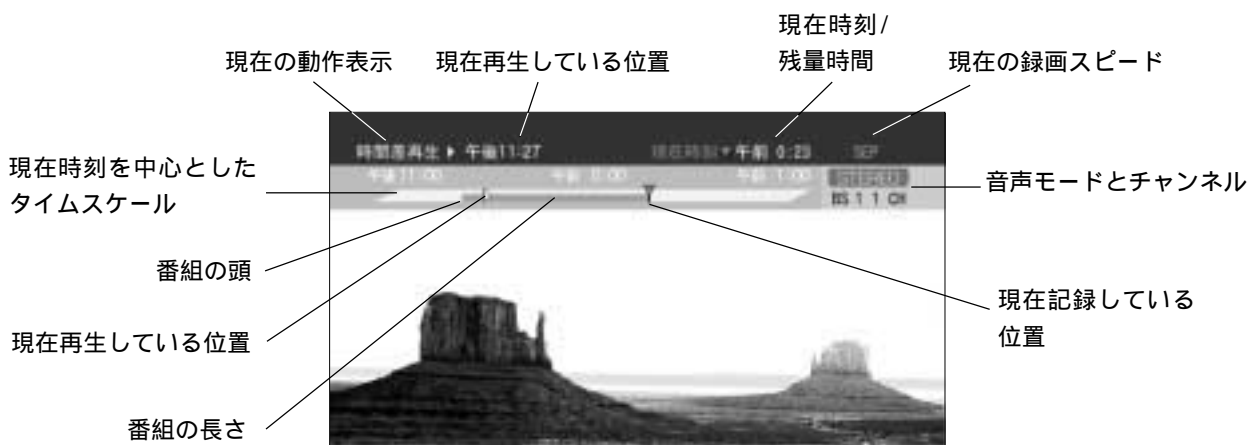
3 時間差再生をやめる



時間差再生中に停止(■)ボタンを押します。現在録画中または受信中のテレビ画面に切り換わります。録画中のときは2度押すと、録画が中断されますので、ご注意ください。

時間差再生中の画面表示について

本機では、時間差再生に切り換えたり時間差再生中にボタン操作をすると画面上部に時間差再生表示が現れます。この時間差再生表示には、現在時刻や再生中の映像を記録した時刻、チャンネルなどの情報が表示されます。また、録画中や時間差再生中に表示を出したいときは、画面表示ボタンを押しても現れます。



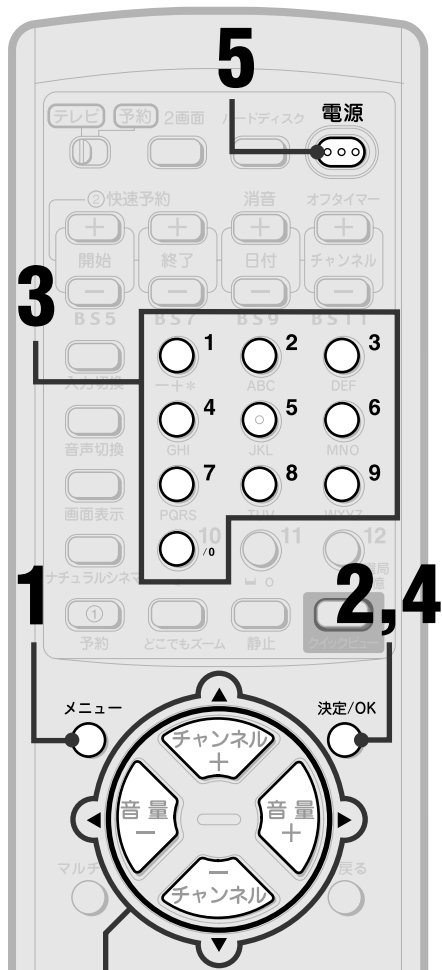
- 現在の動作表示 現在表示中の映像が、どの動作についてのものなのかをお知らせします。時間差再生の表示のほかに、再生スピードも表示されます。
- 「録画」 : 時間差再生(録画時)から録画映像に切り換わったとき
 - 「ON AIR」 : 時間差再生(受信時)から受信映像に切り換わったとき
 - 「時間差再生」 : 番組録画中や受信中の時間差再生映像をご覧のとき
 - 再生スピード表示 (x1.5 ▶など) : 時間差再生中に可変速再生や可変速スローをしているとき
- タイムスケール 現在時刻の前後1時間を大まかに表示します。
- 番組の頭、現在記録している位置 時間差再生可能な範囲の両端を示します。録画中の場合は、録画開始時刻と現在録画中の部分を示します。
- 現在再生している位置 現在表示されている映像の位置を示します。
- 番組の長さ 時間差再生(録画時)は赤色、時間差再生(受信時)は青色の帯で示します。この範囲で時間差再生ができます。

残量時間を知るには



時間差再生表示が出ているときに、画面表示ボタンを押すと現在時刻と残量時間が切り換わります。また、表示が消えてから、時間差再生画面を表示させるために押しても切り換わります。

おはようタイマーを設定する

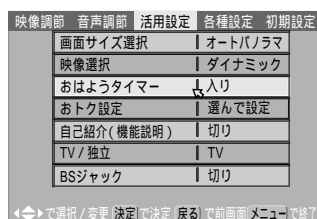
準備: 85ページの「時計を設定する」にしたがって、時計の設定をおこなってください。



1,2,4

1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

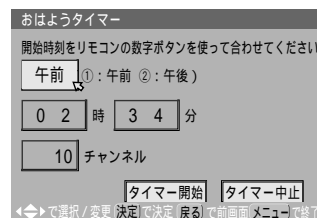
2 カーソルボタン()で「おはようタイマー」を選ぶ



選んでから



3 チャンネル数字ボタンで、時刻を設定する



時間の設定のしかた

午前・午後の設定

リモコンのチャンネル数字ボタンで設定します。午前なら①、午後なら②を押します。

時刻の設定



リモコンのチャンネル数字ボタンで、現在時刻を入力します。

チャンネルの設定


リモコンのチャンネル数字ボタンで、チャンネルを指定します。

設定をまちがってしまったら

カーソルボタン()で項目を戻すことができます。

4 カーソルボタン()で「タイマー開始」を選び、決定/OKボタン()を押して終了する

オンタイマーランプが点灯します。

5 リモコンの電源ボタン()を押して電源を切る

設定された時間になると自動的にテレビの電源が入ります。

「おはようタイマー」を止めるには

手順4で「タイマー中止」を選びます。

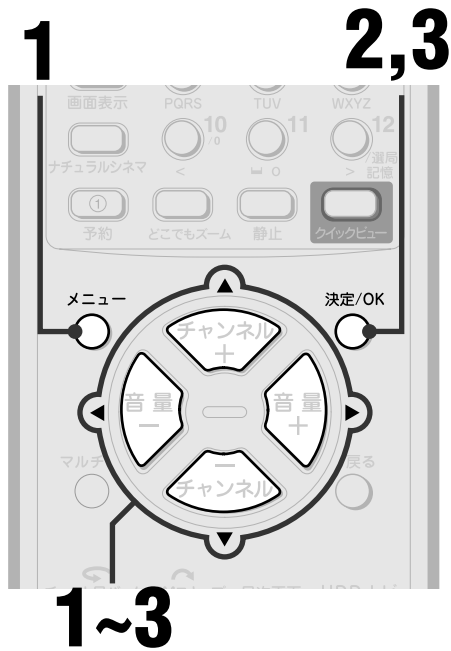
「おはようタイマー」の設定をあとから変えるには

「おはようタイマー」で設定した時刻とチャンネルは記憶されます。

設定した時刻とチャンネルを変えるには設定したときと同じように時刻とチャンネルを設定し直してください。

おトク設定

このテレビには3つの節電機能があります。「おトク設定」メニューを使って、すべての節電機能を使うか、選んで使うか、節電機能を使わないかの設定ができます。



節電機能の種類

おトク機能

デジタルE.E.センサー：
Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+ Electronic Eye(電子の目)の略です。
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になる上、目にやさしい機能です。
「明るめ」「標準」「ひかえめ」「切り」から選びます。



無信号電源オートオフ：
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。
「する」「しない」から選びます。

深夜電源オートオフ：
設定された時間になるとテレビの電源を切って節電する機能です。
「午前0時」「午前1時」「午前2時」「しない」から選びます。

おトク以外の節電機能


テレビ消し忘れ防止(☞P.49)：
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

3つの節電機能をすべて使うには

1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
画面サイズ選択	オートパノラマ			
映像選択	ダイナミック			
おはようタイマー	入り			
おトク設定	選んで設定			
自己紹介(機能説明)	切り			
TV/独立	TV			
BSジャック	切り			

◀▶で選択/変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで終了


2 カーソルボタン()で「おトク設定」を選ぶ

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
画面サイズ選択	オートパノラマ			
映像選択	ダイナミック			
おはようタイマー	入り			
おトク設定	選んで設定			
自己紹介(機能説明)	切り			
TV/独立	TV			
BSジャック	切り			

◀▶で選択/変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで終了

選んでから



3 カーソルボタン()で「すべて設定する」を選ぶ

おトク設定
すべて設定する
選んで設定する
設定しない

選んでから



画面には設定の内容が数秒間表示されます。

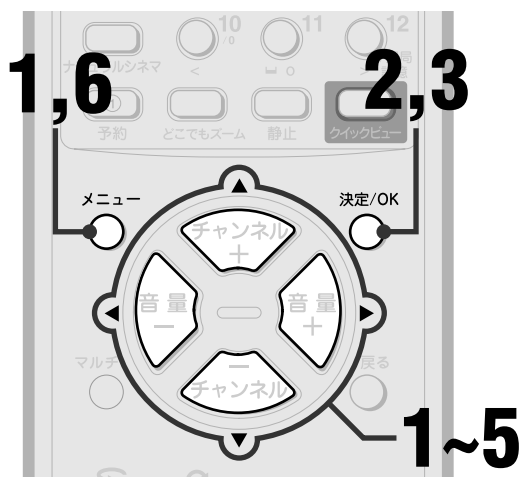
おトク設定(すべて設定)

次のように設定しました
デジタルE.E. : 標準
無信号電源オートオフ : する
深夜電源オートオフ : 午前2時

本機を使い
こなす

おトク設定(つづき)

3つの節電機能から選んで使うには



1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「活用設定」を選ぶ

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
画面サイズ選択		オートパノラマ		
映像選択		ダイナミック		
おはようタイマー		入り		
おトク設定		選んで設定		
自己紹介(機能説明)		切り		
TV/独立		TV		
BSジャック		切り		

2 カーソルボタン()で「おトク設定」を選ぶ

映像調節	音声調節	活用設定	各種設定	初期設定
画面サイズ選択		オートパノラマ		
映像選択		ダイナミック		
おはようタイマー		入り		
おトク設定		選んで設定		
自己紹介(機能説明)		切り		
TV/独立		TV		
BSジャック		切り		

選んでから



3 カーソルボタン()で「選んで設定する」を選ぶ

おトク設定
すべて設定する
選んで設定する
設定しない

選んでから



4 カーソルボタン()で必要な項目を設定する

おトク設定(選んで設定)	
デジタルE.E.	明るめ
無信号電源オートオフ	しない
深夜電源オートオフ	午前2時

- 1 カーソルボタン()で、 を設定する機能に合わせる
- 2 カーソルボタン()で設定する

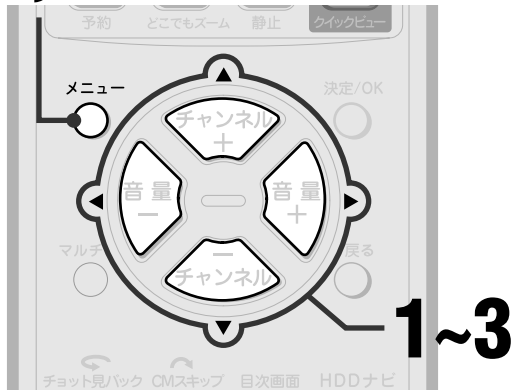
5 カーソルボタン()で「設定の終了」を選ぶ

6 メニューボタン()を押して終了する

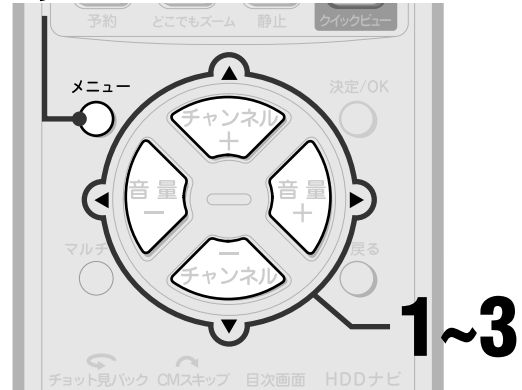
テレビの消し忘れを防止する

デジタルE.E.の効果表示をするには

1,4

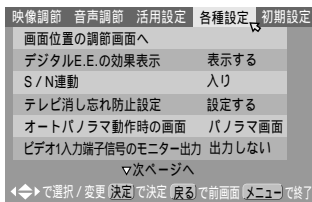


1,4



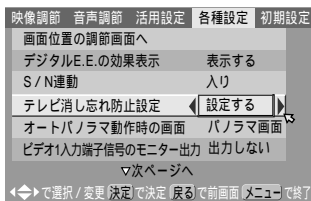
1

メニューボタン(○)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2

カーソルボタン(▲▼)で「テレビの消し忘れ防止設定」を選ぶ



3

カーソルボタン(◀▶)で設定を選ぶ

「設定する」: 何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。

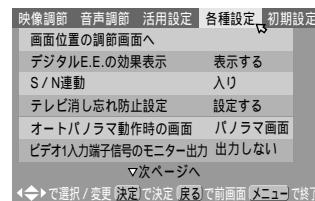
「設定しない」: この機能を使わないときに選びます。

4

メニューボタン(○)を押して終了する

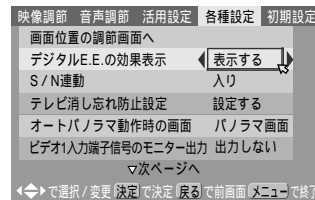
1

メニューボタン(○)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ



2

カーソルボタン(▲▼)で「デジタルE.E.の効果表示」を選ぶ



3

カーソルボタン(◀▶)で設定を選ぶ

「表示する」: 部屋の明るさが変化したとき、デジタルE.E.の効果のレベルがハートマークでテレビ画面に表示されます。

「表示しない」: デジタルE.E.の効果のレベルを表示しないときに選びます。

4

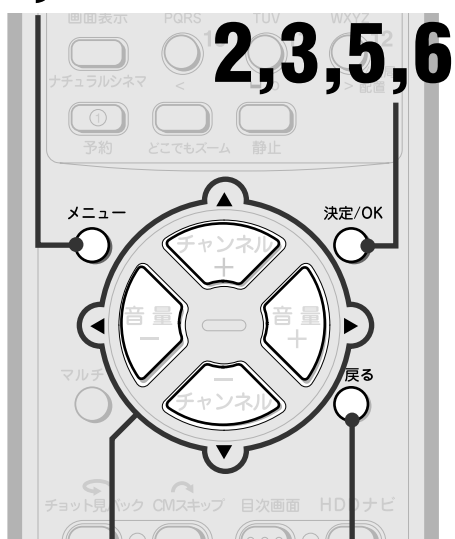
メニューボタン(○)を押して終了する

本機を使用
こなす

シアタープロの設定

映像選択(☞38ページ)で「シアター」を選択しているときは、さらに細かい映像の調節ができるようになります。通常は標準設定(お買い上げ時の設定)のままで十分な画質になるよう調節されています。シアタープロの設定は、ご覧になる映像によりさらに細かな調節を行いたいお客様向けの機能です。設定できる項目は微妙な調節を行うため専門的な内容になっています。調節を行うときは少しずつ設定値を変更して変化を確認しながら設定項目の内容を把握されることをお勧めします。



1,7

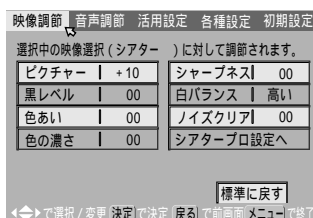


1~4,6

5

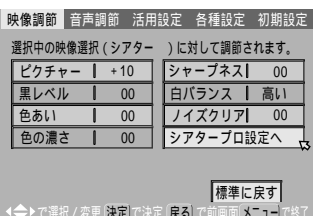
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「映像調節」を選ぶ



2

カーソルボタン()で「シアタープロ設定へ」を選ぶ

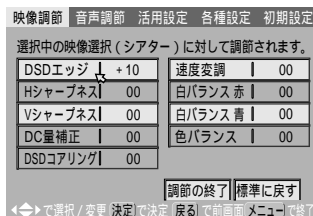


選んでから



3

カーソルボタン()で調節したい項目を選ぶ



選んでから



4

カーソルボタン()で調節する

例:「DSDエッジ」を選んだとき



例:「白バランス 赤」を選んだとき



数秒間、操作を行わないと、手順3の画面に戻ります。

シアタープロの設定ができないとき

映像選択で「スタンダード」または「ダイナミック」,「ゲーム」を選んでいるときは、シアタープロの設定はできません。

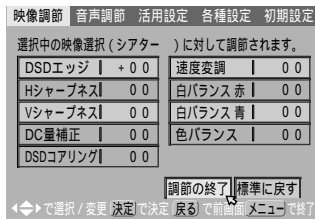
5

他の項目も調節するときは戻るボタン()または決定/OKボタン()を押す

シアタープロ設定の画面に戻ります。
手順3～5をくり返して、他の項目を調節する。

6

調節が終わったらカーソルボタン()で「設定の終了」を選ぶ



「標準に戻す」を選んで決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

7

メニューボタン()を押して終了する

「シアタープロ」の設定について

DSDエッジ:

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻(きゆうしゅん)にして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。
(設定値:輪郭をつけない -30...+30 輪郭をつける)

Hシャープネス、Vシャープネス:

映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。
(設定値:輪郭を強調しない -30...+30 輪郭を強調する)

DC量補正:

全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。

「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときには黒の再現性を調節してバランスをとってください。

(設定値:黒味を増やす -30...+30 黒味を減らす)

DSDコアリング:

画面のざらざら感(ノイズ)を抑えるため、原因となる微小信号成分を除去します。よりノイズを抑えたいときに+側に調節します。

(設定値:あまりノイズを除去しない -5...+5 よりノイズを除去する)

速度変調:

映像の縦線の輪郭強度度を調節します。

通常は、忠実な映像でご覧いただくために、設定は「0」のままでお使いください。

忠実な映像では、シャッキリ感が不足していると感じたときに、ほんのちょっと補正してください。

(設定値:補正しない 0...+15 補正する)

白バランス 赤、白バランス 青:

映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。

調節するときには「白バランス 赤」と「白バランス 青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。

(設定値:赤みをつけない -30...+30 赤みをつける)

(設定値:青みをつけない -30...+30 青みをつける)

色バランス:

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。

映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。(例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます。肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。

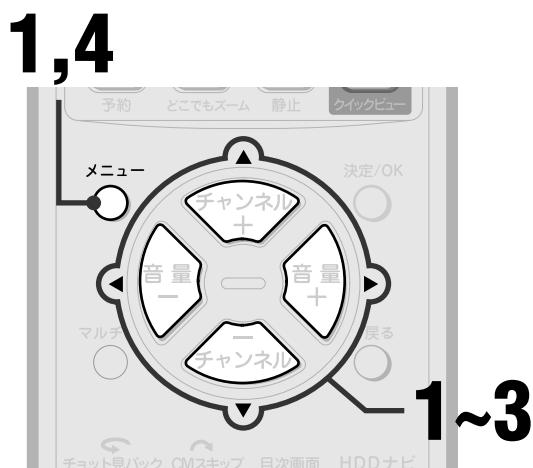
(設定値:青みを弱くする -5...+5 青みを強くする)

本機を使いこなす

本来の解像度で表示する

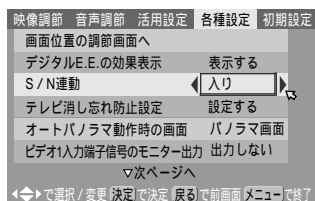
ノイズを抑えた見やすい映像でご覧いただけます。通常は、「S/N連動」を「入り」にご使用ください。

ノイズよりも、解像度を優先したい場合は、「切り」に設定してください。



1 メニューボタン(●)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)で「S/N連動」を選ぶ

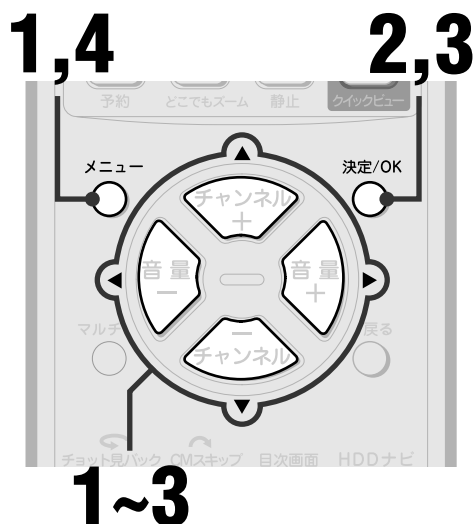


3 カーソル(◀▶)で「入り」または「切り」を選ぶ

4 メニューボタン(●)を押して終了する

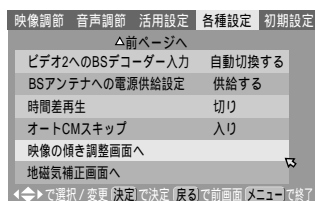
画面の傾きを調節する

地磁気による画面の傾きを調節します。地磁気の影響を受けると画面が傾くことがあります。このようなときに調節します。



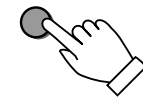
1 メニューボタン(●)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「映像の傾き調整画面へ」を選ぶ



選んでから

決定/OK

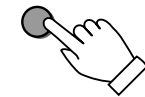


3 カーソル(◀▶)で傾きを調節する



終わったら

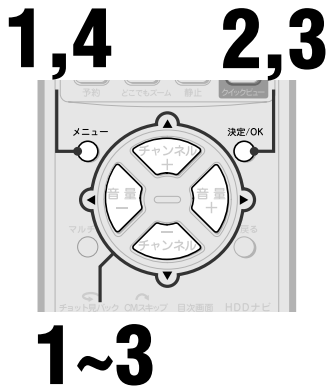
決定/OK



4 メニューボタン(●)を押して終了する

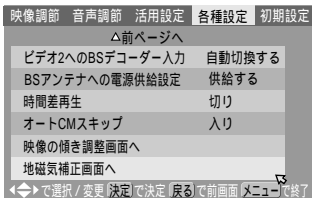
地磁気補正

地磁気による色むらを軽減します。地磁気の影響を受けると画面に紫や緑の色がつかことがあります。このようなときは、色むらが少なくなるように補正してください。



1 メニューボタン(●)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「地磁気補正画面へ」を選ぶ



3 カーソル(◀▶)で色むらを調節する

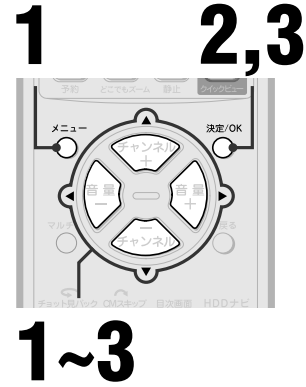


画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。

4 メニューボタン(●)を押して終了する

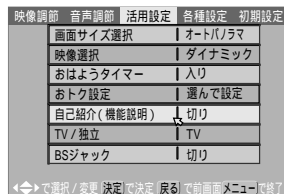
自己紹介機能を使うには

本機には自己紹介機能があります。ハードディスクにあらかじめ録画されている「DEMO」映像を再生します。



1 メニューボタン(●)を押してから、カーソルボタン(◀▶)で「活用設定」を選ぶ

2 カーソルボタン(▲▼)で「自己紹介(機能説明)」を選ぶ



3 カーソル(▲▼)で「入り」を選ぶ



画面ではハードディスクからの映像が映ります。

自己紹介機能を止めるには、もう1度手順1から3を行って「切り」を選びます。

画面には「自己紹介(機能説明)を中止しました」と表示されます。

自己紹介中にリモコン操作を行うと、再生が止まる場合がありますが故障ではありません。しばらくすると再生がはじまります。

DEMO映像について

ハードディスクには、自己紹介用の映像「DEMO」があらかじめ録画されています。この映像を消すと自己紹介でハードディスクの映像が映りませんが、録画した番組のタイトルを「DEMO」とつけると、自己紹介で自動的に再生されるようになります。

本機を使いこなす

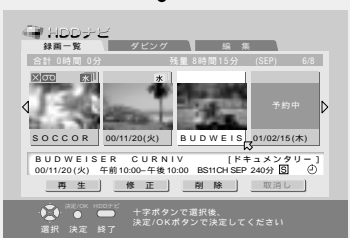


HDD ナビ機能を使う

本機はハードディスクに、頭出しをしたり、ビデオデッキへダビングするための編集機能をもったナビゲーション機能、HDD ナビを搭載しています。

HDDナビを使っての再生は、「ふだんの使いかた」で簡単に説明していますが、ここではもっと詳しい使いかたを説明します。このナビゲーション機能を使うと、録画番組の頭出しのほかに登録情報の修正、ビデオデッキへのダビング時の編集が簡単に行えます。

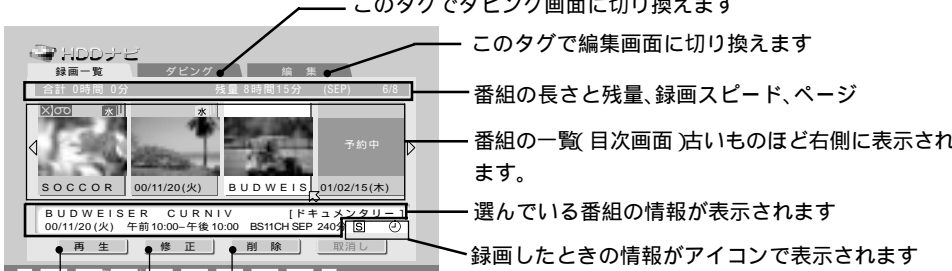
登録情報は、ハードディスク上に特別に設定された領域に保存される情報で、ふだんの録画やタイマー録画を行うと自動的に記録されます。記録されるのは、録画日、録画チャンネル、番組の見出し用の目次画面です。

HDDナビ機能を使うと、大きく分けて次の3つのことができます

録画した番組を見たい	録画した番組をまとめてダビングしたい	編集したい
 <p>できること</p> <ul style="list-style-type: none"> 番組の頭出し (56ページ) HDDナビ: HDDナビに登録されている情報を録画日順に表示します。 目次画面の修正 (58ページ) タイトル編集 (60ページ) ジャンル修正 (62ページ) 番組の削除 (57ページ) 	 <p>できること</p> <ul style="list-style-type: none"> 8番組までまとめて、ビデオデッキにダビングできます。 	 <p>できること</p> <ul style="list-style-type: none"> 1番組の中から、8場面まで選んでビデオデッキに編集できます。

HDDナビ画面の基本的な表示は、次のようになります。

この一覧に登録される画面(目次画面)は、録画すると時間に関係なく登録されます。



このタグでダビング画面に切り換えます

このタグで編集画面に切り換えます

番組の長さや残量、録画スピード、ページ

番組の一覧(目次画面)古いものほど右側に表示されます。

選んでいる番組の情報が表示されます

録画したときの情報がアイコンで表示されます

再生するとき選びます

目次画面を修正するとき選びます

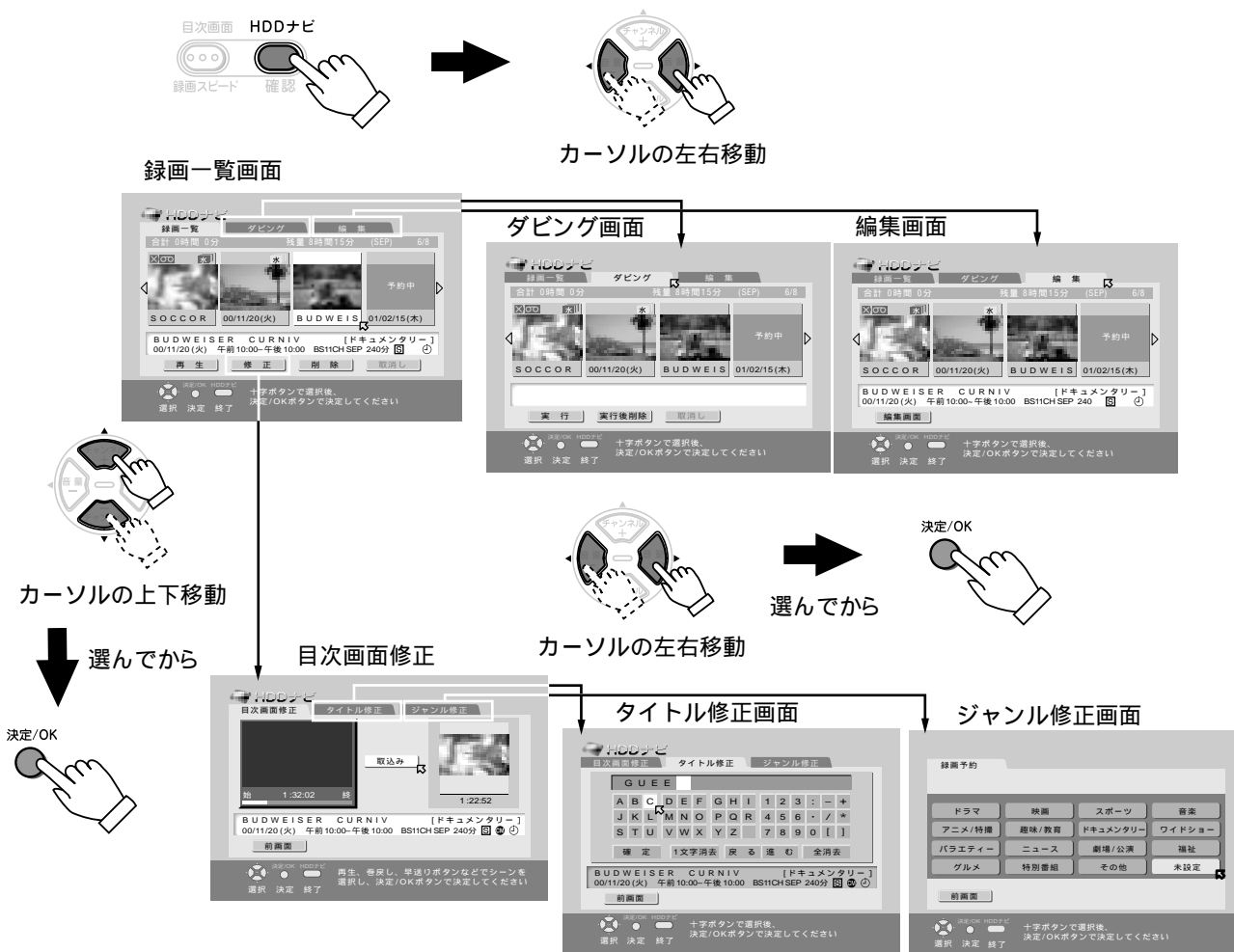
番組を削除するとき選びます

画面のアイコンについて

(紫色) 毎週予約の番組	ステレオ放送の番組
(黄色) 月・金予約の番組	二か国語放送の番組
コピー禁止	予約録画番組

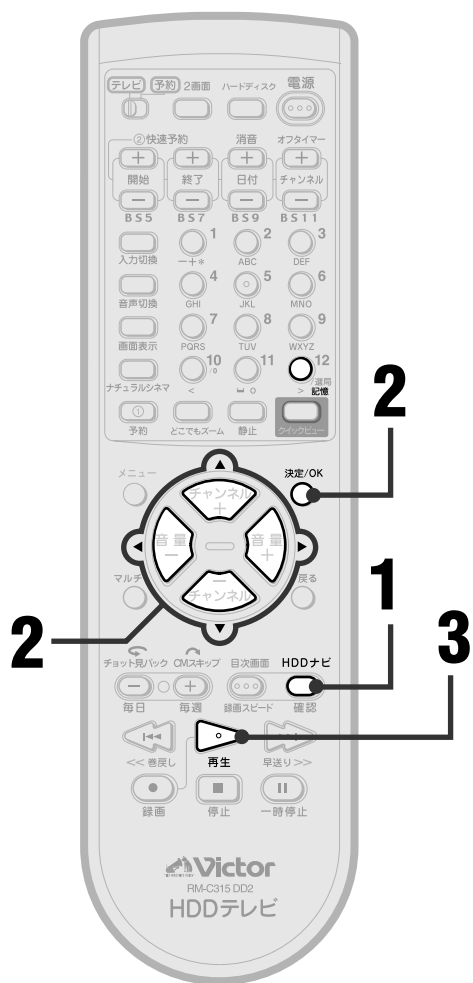
画面や表示の切り換えかた

ナビ画面を切り換えるには、カーソルボタン(▲▼◀▶)を使い画面のカーソルを切り換えたい項目、または見出しへ移動して、決定/OKボタンまたはカーソルボタン(▼)を押します。



本機を使い
こなす

HDD ナビ機能を使う(つづき)



いくつかの番組を選んで再生するときは

最大8番組まで選んで再生することができます。いくつかの番組をまとめて再生したいときは、手順2で番組を選んだ後に12/選局/記憶ボタンを押し、カーソルボタン(◀▶)で目次画面を選びます。目次画面に番号が表示されます。



選んだものを取り消すときは

- ・間違えて選んでしまったときは、間違って選んだ目次画面にカーソル(◀▶)を合わせて12/選局/記憶ボタンを押します。目次画面に表示されていた番号が消えます。選んだ番組が複数あるときは、目次画面に表示される番号が繰り返り上がります。
- ・選んだすべての番組を取り消すときは、カーソル(◀▶)を取消しに合わせて合わせて決定/OKボタンを押します。目次画面に表示されていたすべての番号が消えます。

録画した番組の頭出しをするには

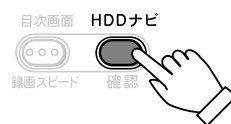
録画した番組を探して再生するとき、HDDナビの録画一覧から番組を探して頭出しをすることができます。

準備

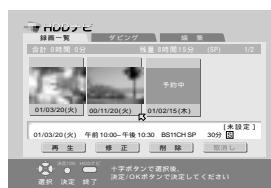
ハードディスクボタンを押して、テレビとハードディスクの電源を入れます。

1 HDDナビ画面を表示させる

HDDナビ画面が表示されます。



2 カーソルボタン(◀▶)で見たい番組を選ぶ

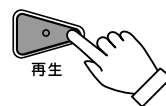


選んでから



画面のカーソル(◀▶)が目次画面を移動します。上下に移動したいときは、カーソルボタン(▲▼)を押します。見たい番組にカーソル(◀▶)が移動できたら決定/OKボタンを押します。カーソル(◀▶)が「再生」に移動します。

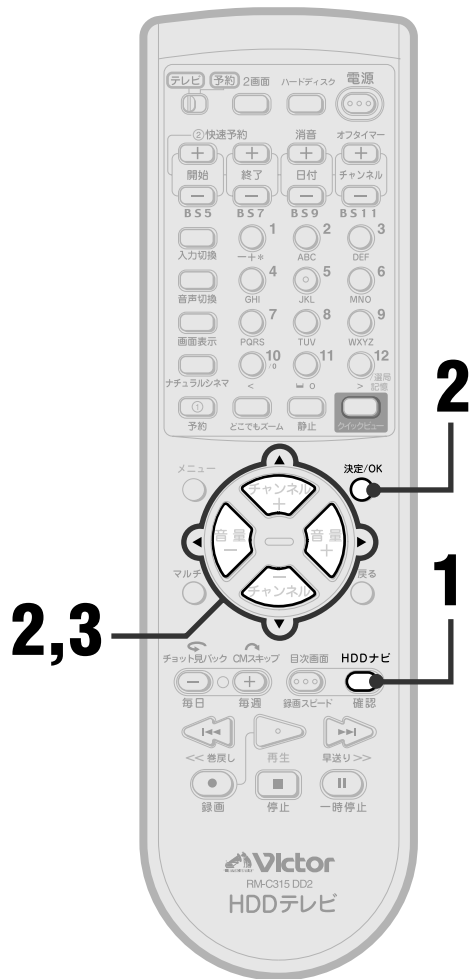
3 再生する



再生が始まります。カーソル(◀▶)が「再生」に合っていることを確認して決定/OKボタンを押しても再生が始まります。

再生をやめるには

停止(■)ボタンを押します。プログラム再生中に停止ボタンを押すと、プログラム再生が解除されます。次に再生(▶)ボタンを押すと、今まで見ていた番組の続きから再生が始まります。



削除をやめたいときは

手順3で、確認メッセージが出たときに「取消し」にカーソルを移動させ、決定/OKボタンを押します。中断してHDDナビ画面に戻ります。



番組を削除するには

不要な番組を削除することができます。

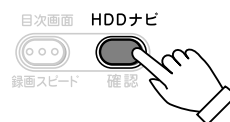
また、HDDナビの最大登録数60番組になると、録画予約ができなくなります。このようなときには次の手順で番組を削除します。

準備

ハードディスクボタンを押して、テレビとハードディスクの電源を入れます。

1 HDDナビ画面を表示させる

HDDナビ画面が表示されます。



2 カーソルボタン(◀▶)で削除したい番組を選ぶ



選んでから



画面のカーソルが目次画面を移動します。上下に移動したいときは、カーソルボタン(▲▼)を押します。

削除番組にカーソルが移動できたら決定/OKボタンを押します。カーソルが「再生」に移動します。

3 「削除」を選び削除する

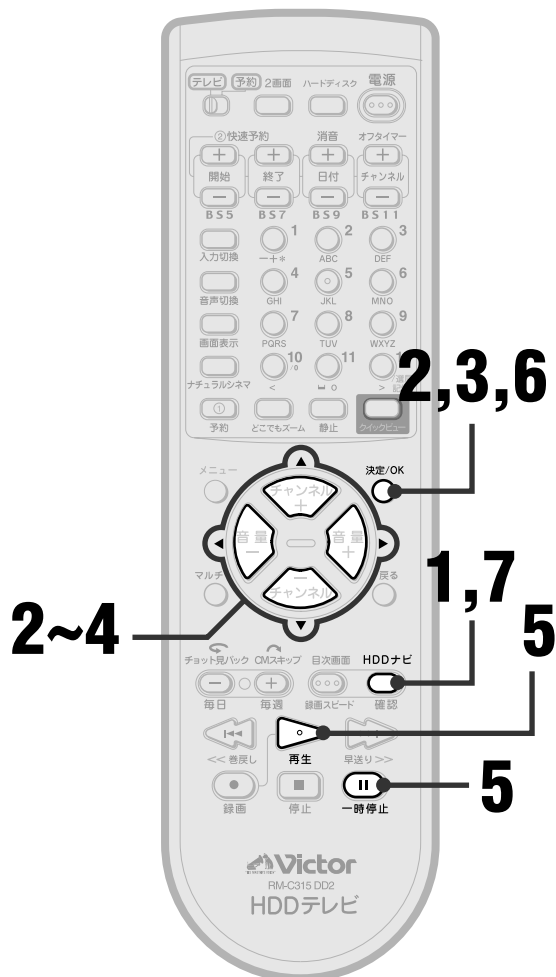


カーソルを「削除」に合わせて決定/OKボタンを押します。確認メッセージが表示されますので、決定/OKボタンを押して削除します。

HDDナビ画面を消すにはHDDナビボタンを押します。テレビ画面にもどります。

本機を使い
こなす

HDD ナビ機能を使う(つづき)



録画時の目次画面を登録する時期

- ・ ぶつうの録画のとき:録画開始時
- ・ 予約録画時:録画開始後からやく5分後

番組の目次画面を修正する

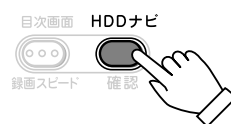
録画時に自動的に登録される目次画面を、あとからお好みの映像に変更することができます。

準備

ハードディスクボタンを押して、テレビとハードディスクの電源を入れます。

1 HDDナビ画面を表示させる

HDDナビ画面が表示されます。



2 カーソルボタン(◀▶)で修正したい番組を選ぶ



選んでから



画面のカーソルが目次画面を移動します。上下に移動したいときは、カーソルボタン(▲▼)を押します。

修正したい番組にカーソルが移動できたら決定/OKボタンを押します。カーソルが「再生」に移動します。

3 「修正」を選ぶ



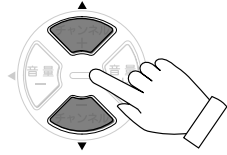
カーソルの左右移動

カーソルを「修正」に合わせて決定/OKボタンを押すと画面が「目次修正画面」に切り換わります。



4

「取込み」にカーソルを移す



画面のカーソル
が「取込み」に
移動します。

5

新しく登録したいシーンを 探す



早送り(▶▶)/巻戻し(◀◀)ボタンなども
使って探します。

6

目次画面を登録する

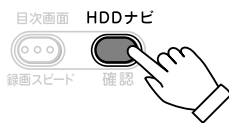


「取込み」ボタンが
押されて、新しい映
像が登録されます。

7

目次画面修正を終わる

HDDナビボタンを押すと、テレビ画面に戻
ります。



目次修正画面

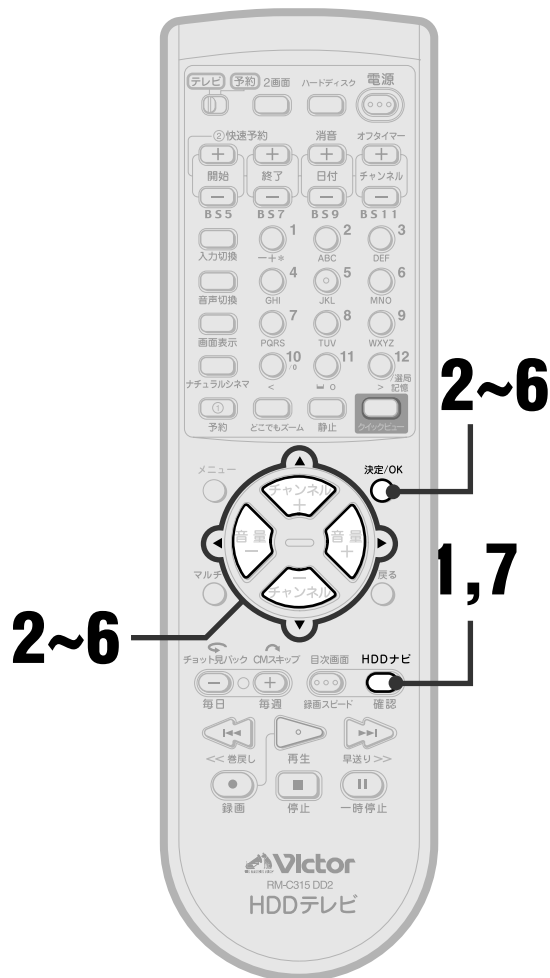


目次画面は1番組ずつ修正します

目次画面は、いくつもの番組を一度に修正することはできません。
1番組ずつ修正します。

本機を
使い
こなす

HDDナビ機能を使う(つづき)



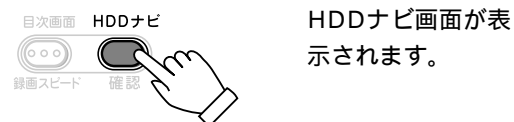
タイトルを修正する

録画した番組にタイトルをつけたり、修正することができます。

準備

ハードディスクボタンを押して、テレビとハードディスクの電源を入れます。

1 HDDナビ画面を表示させる



2 カーソルボタン(◀▶)で修正したい番組を選ぶ



画面のカーソルが目次画面を移動します。上下に移動したいときは、カーソルボタン(▲▼)を押します。

修正したい番組にカーソルが移動できたら決定/OKボタンを押します。カーソルが「再生」に移動します。

3 「修正」を選ぶ

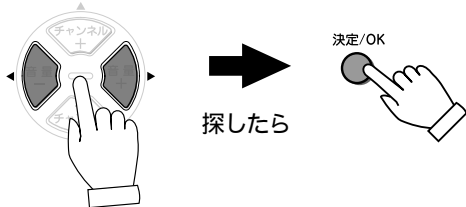


カーソルの左右移動

カーソルを「修正」に合わせて決定/OKボタンを押すと画面が「目次修正画面」に切り換わります。



4 「タイトル修正」にカーソルを移す

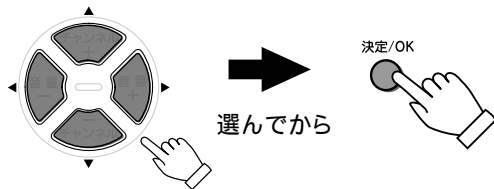


画面のカーソルが「タイトル修正」に移動し画面が切り換わります。

タイトル修正画面



5 タイトル文字を入力する

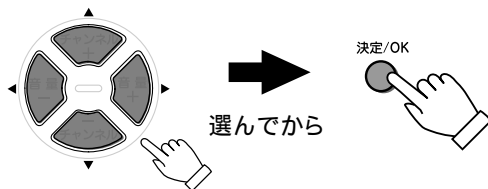


文字の入力について

リモコンのボタンを押してタイトル文字を入力することもできます。それぞれのボタンで入力できる文字は次の通りです。

- 『1』: ー、+、*、/、[、]、.、1 『2』: A、B、C、2 『3』: D、E、F、3
 - 『4』: G、H、I、4 『5』: J、K、L、5 『6』: M、N、O、6
 - 『7』: P、Q、R、S、7 『8』: T、U、V、8 『9』: W、X、Y、Z、9
 - 『<10』: カーソル左 『0/11』: ブランク、0 『12/>』: カーソル右
- 文字位置にカーソルがあるときは、挿入になります。

6 タイトルを確定する



画面のカーソルを「確定」に移動し、決定/OKボタンを押して決定します。

タイトル修正について

文字入力について

カーソルボタン(▲▼◀▶)を使って画面上でも入力ができます。

文字入力をまちがえたら

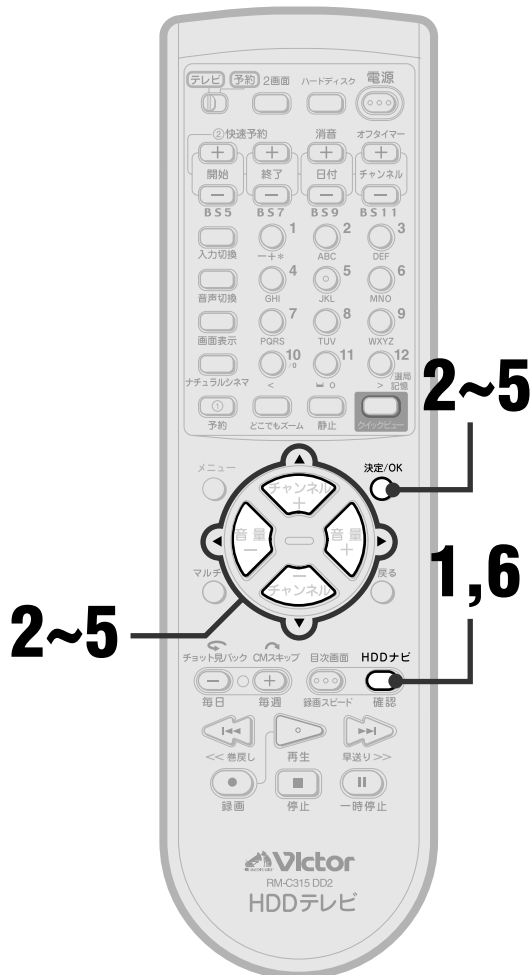
画面のカーソルを「1文字消去」に移動させ、決定/OKボタンを押すと1文字ぶん消去されます。また、「全消去」に合わせて決定/OKボタンを押すと、入力した文字がすべて消去されます。

7 タイトル修正を終わる

HDDナビボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。

本機を使い
こなす

HDDナビ機能を使う(つづき)



ジャンルを修正する

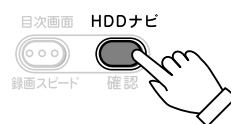
録画した番組のジャンルを設定したり、修正することができます。

準備

ハードディスクボタンを押して、テレビとハードディスクの電源を入れます。

1 HDDナビ画面を表示させる

HDDナビ画面が表示されます。



2 カーソルボタン(◀▶)で修正したい番組を選ぶ



選んでから



画面のカーソルが目次画面を移動します。上下に移動したいときは、カーソルボタン(▲▼)を押します。修正したい番組にカーソルが移動できたら決定/OKボタンを押します。カーソルが「再生」に移動します。

3 「修正」を選ぶ



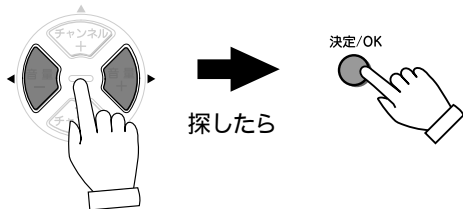
カーソルの左右移動

カーソルを「修正」に合わせて決定/OKボタンを押すと画面が「目次修正画面」に切り換わります。



4

「ジャンル修正」にカーソルを移す



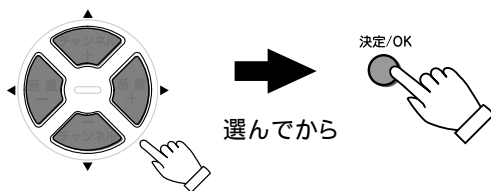
画面のカーソルが「ジャンル修正」に移動し画面が切り換わります。

ジャンル修正画面



5

新しいジャンルを選ぶ



新しく設定したいジャンルに画面のカーソルを移動し、決定/OKボタンを押して決定します。



6

タイトル修正を終わる

HDDナビボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。

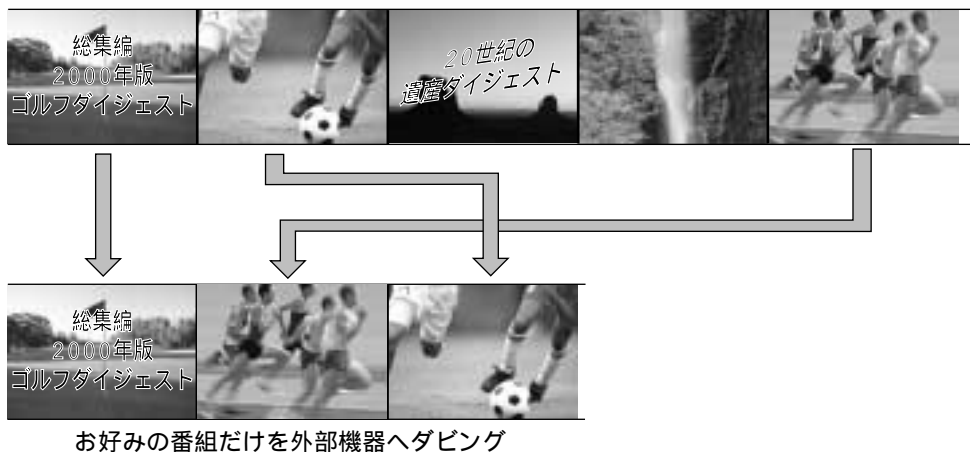
本機を
使い
こなす

外部機器へ番組をダビングする

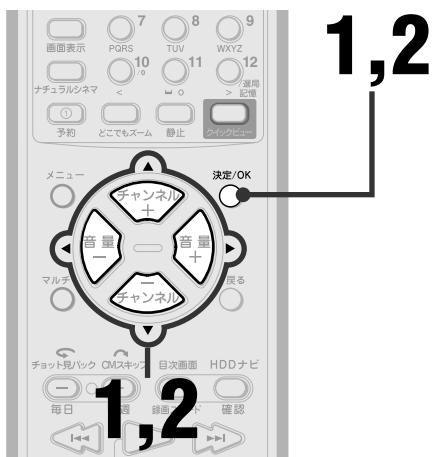
ダビングについて

ハードディスクに録画されているすべての番組の中から最大8番組を自由に選んで、外部機器にダビングすることができます。例えば、ハードディスクに録画されている番組の中から、スポーツ番組だけを選んでビデオデッキへダビングすることができます。

ハードディスクに録画されている番組



お好みの番組だけを外部機器へダビング



ダビングをする

ハードディスクから外部機器へダビングをするとき、HDDナビ画面から「ダビング」を使うと、番組単位で8番組まで連続してダビングすることができます。

外部機器の本機への接続については、「AV機器を接続する」(P.87、89、92)を参照してください。

1 HDDナビ画面で「ダビング」を選ぶ



「ダビング」を選んでから

2 カーソルボタン(◀▶)でダビングしたい番組を選ぶ



選んでから



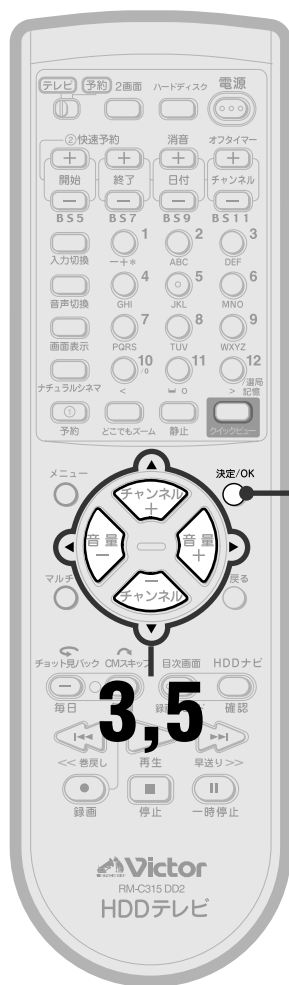
カーソルが「実行」に移動します。

いくつかの番組を選んでダビングするときは

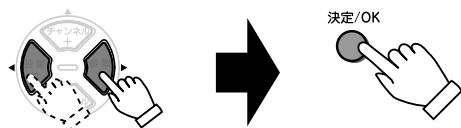
最大8番組まで選んでダビングすることができます。いくつかの番組をまとめて再生したいときは、手順2で番組を選んだ後に選局/記憶(12)ボタンを押し、カーソルボタン(◀▶)で目次画面を選びます。

目次画面に番号が表示されます。





3 番組を確定する

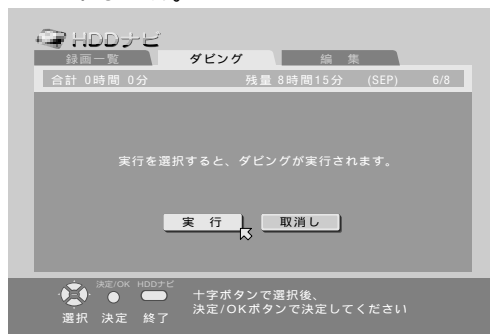


「実行」または「実行後削除」を選んでから

画面にメッセージが表示されます。

実行 :ダビングが行われるだけで、番組はそのまま残ります。

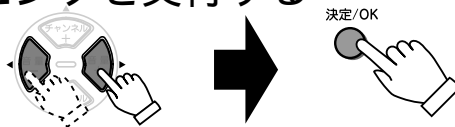
実行後削除 :ダビング後に番組が削除されます。ただし、ダビングが正しく実行されないときは削除されません。



4 外部機器で録画をはじめめる

外部機器での録画操作については、付属の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングを実行する



「実行」を選んでから

6 ダビングが実行される

正しく実行できたときは、「最後まで正しく編集できました」と画面に表示され、HDDナビ画面に戻ります。正しく実行されなかったときは、実行できなかった理由が画面に表示されます。このときはダビングを中断したときと同様に、ハードディスク上の番組は削除されません。

また、複数の番組をダビングしたときは、番組と番組の間に黒い映像が録画されますが、故障ではありません。

7 外部機器の録画を止める

外部機器での録画を停止させます。操作については、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

選択する番組を間違えたとき

複数の番組の中から、間違えて選んだ番組を取り消すときは、取り消したい番組にカーソルを合わせて選局/記憶(12)ボタンを押します。選択したすべての番組を取り消したいときは、画面の「取消し」にカーソルを合わせて決定/OKボタンを押します。

ダビングを中断するには

停止ボタン(■)を押します。

ダビング中に中断すると

画面に「ダビングの途中で中断しました」と表示されます。このとき番組を「実行後削除」を選んでいてもハードディスク上の番組は削除されません。

コピー禁止の番組は選べません

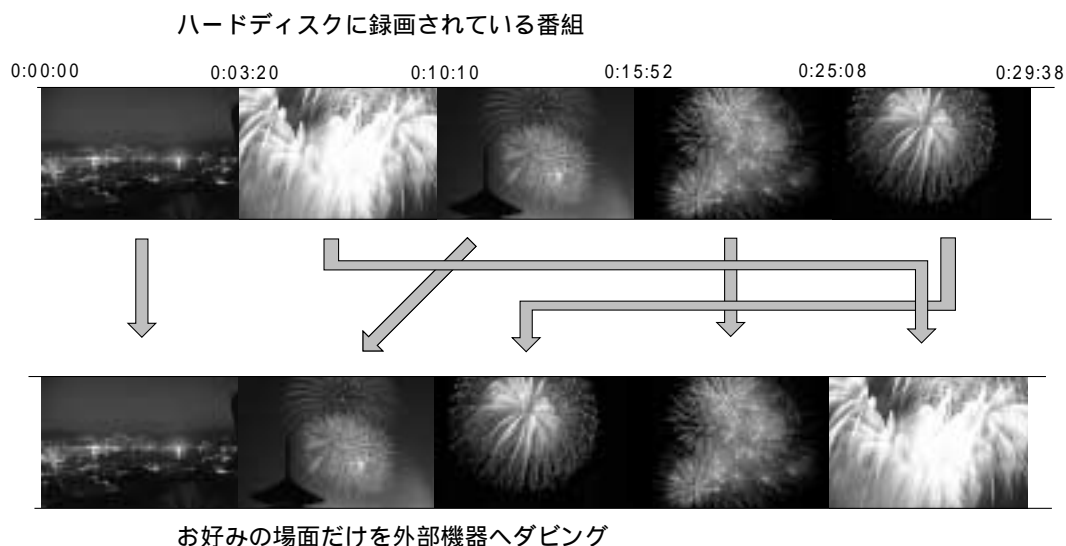
録画時にコピー禁止マークのついた番組は選ぶことはできません。

本機を使い
こなす

番組を編集する

編集について

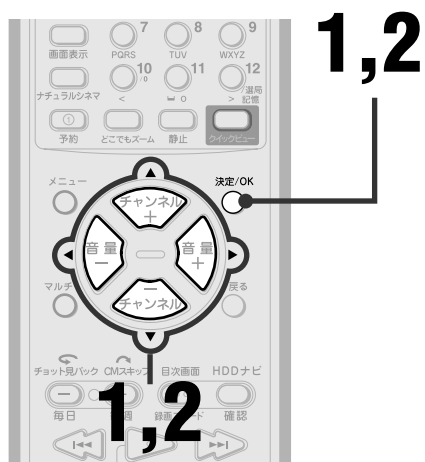
番組(または撮影した映像など)から最大8か所までの開始点と終了点を指定し連続して編集することができます。開始点と終了点を指定するには、お好みの場面を見て、何分何秒までと確認しながら設定することができます。例えば、番組の中から、順番を変えて編集することができます。



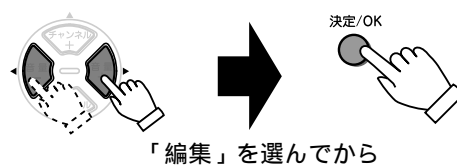
編集する

ハードディスクから外部機器へダビングをするとき、HDDナビ画面から「編集」を使うと、1番組のうち8か所までを秒単位で選んで、編集することができます。

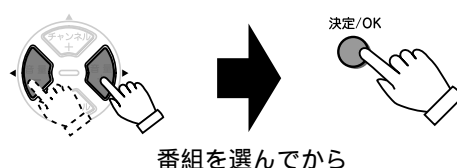
外部機器の本機への接続については、「AV機器を接続する」(P.87、89、92)を参照してください。



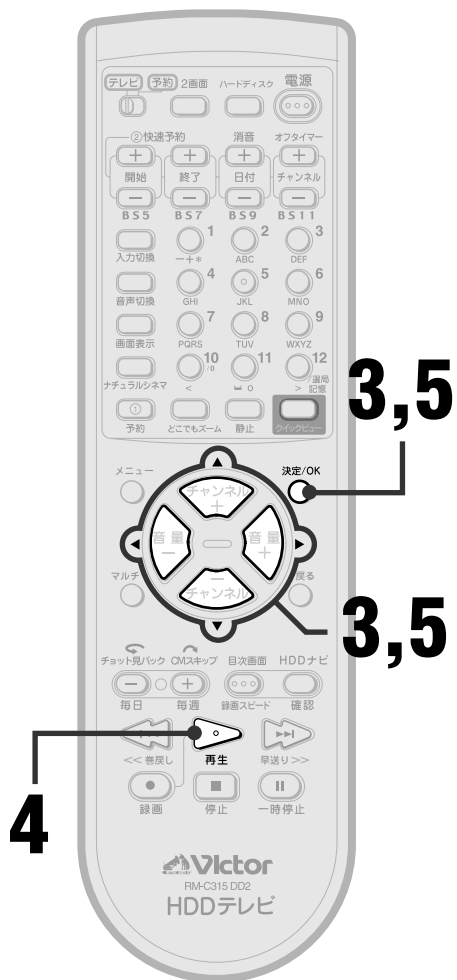
1 HDDナビ画面で「編集」を選ぶ



2 編集したい番組を1つ選ぶ



録画時にコピー禁止マークのついた番組は選ぶことはできません。



開始点と終了点について

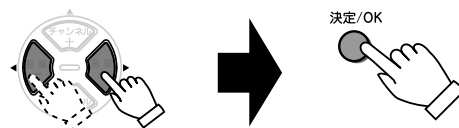
開始点と終了点の1組で1つの編集点となります。ここでは手順4と5をくり返して最大8個の編集点を指定することができます。

編集点を設定し直すには

編集点をまちがえて設定してしまったときは、画面の「取消し」にカーソルを合わせて決定/OKボタンを押すと最後に設定された開始点または終了点を解除できます。

3

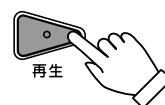
「編集画面」を選ぶ



「編集画面」を選んでから

4

編集したい番組を再生する



早送り(▶▶)ボタンや巻戻し(◀◀)ボタンなどを使うこともできます。

5

開始点と終了点を登録する

編集点を探しているときの再生画



編集している番組全体から見た、この画面の位置



ポイントを探したら、決定/OKボタンを押します。

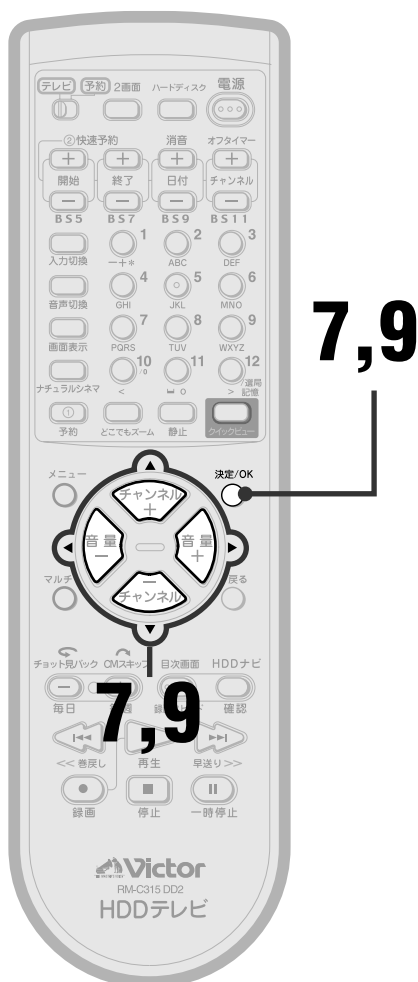
6

他にも開始点と終了点を選ぶときは手順4と5をくり返す

必要に応じて手順4と5をくり返して最大8か所まで開始点と終了点を設定することができます。

本機を使い
こなす

番組を編集する(つづき)

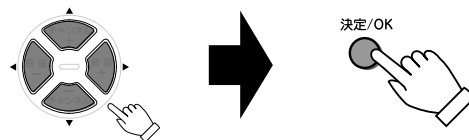


編集、編集後の映像について

- ・編集を実行すると、番組の最初の映像が一瞬映りますが、故障ではありません。
- ・編集を録画したテープには、編集した画面のつなぎ録りの部分が静止画像になりますが、故障ではありません。

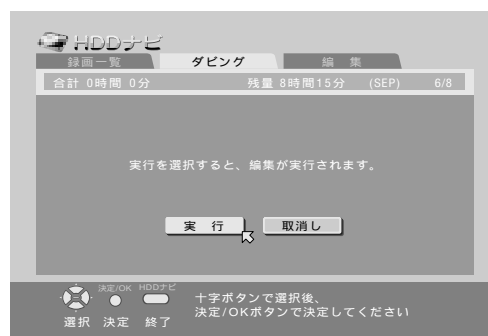
7

「編集実行」を選ぶ



画面の「編集実行」にカーソルを合わせて決定/OKを押します

画面にメッセージが表示されます。



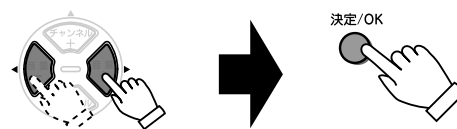
8

外部機器で録画をはじめる

外部機器での録画については、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

9

編集を実行する



「実行」を選んでから

10

編集が実行される

正しく実行できたときは、「最後まで編集が完了しました」と画面に表示されます。

正しく実行、実行できなかった理由が画面に表示され、HDDナビ画面に戻ります。

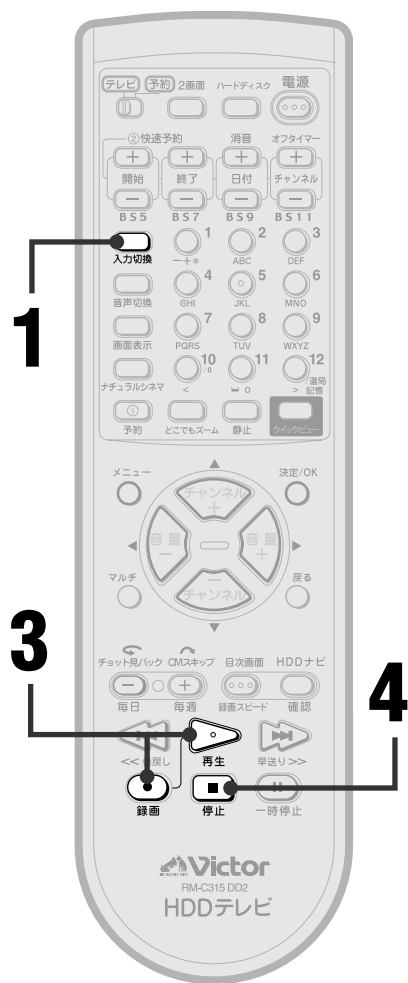
11

外部機器の録画を止める

編集が終了したら外部機器での録画を停止させます。操作については、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

外部機器から本機にダビングする

すでにお持ちのビデオデッキやビデオカメラなどの外部機器から、本機にダビングすることができます。本機の外部入力（外部機器を接続された入力）を選んでください。外部機器の本機への接続については、86ページを、操作については機器に付属の取扱説明書をご覧ください。



1

外部入力を選ぶ



外部機器を接続された入力を正しくお選びください。

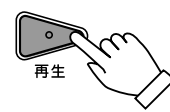
2

外部機器の再生をはじめる

ダビングしたい部分の少し前から再生を始めます。

3

録画を始める



押しながら

録画が開始されます。
録画中は一時停止(II)ボタンを押すと、画面は静止画になりますが録画は継続されます。

4

録画をやめる



録画が終わり1番組としてHDDナビに登録されます。

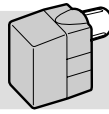
5

外部機器の再生をやめる

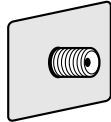
本機を使い
こなす

VHF / UHFアンテナをつなぐ

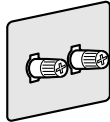
まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。
一番近い例を選んで、接続してください。



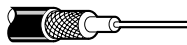
壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類



同軸ケーブル用端子



フィーダー線用端子



同軸ケーブル

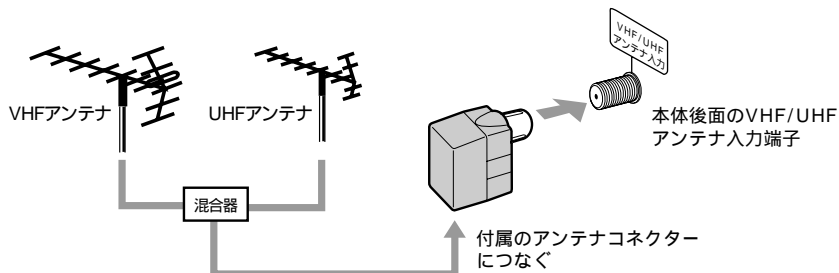


フィーダー線



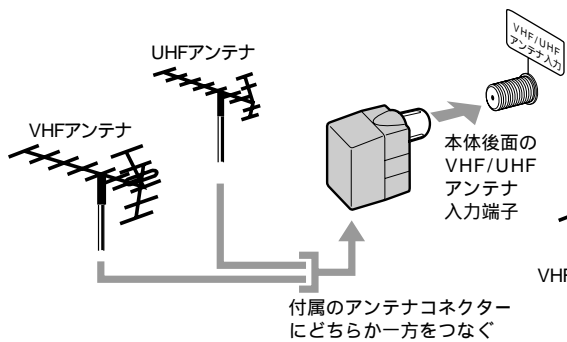
F型コネクター
壁面アンテナ端子にF型コネクターが
付いているときは、そのまま本機の
アンテナ端子につなぎます。

VHFとUHFが混合されているとき

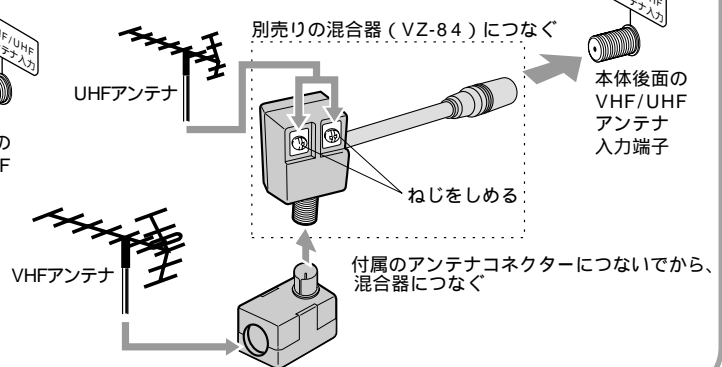


VHFとUHFが別々になっているとき

VHF、UHF のどちらか一方を接続する

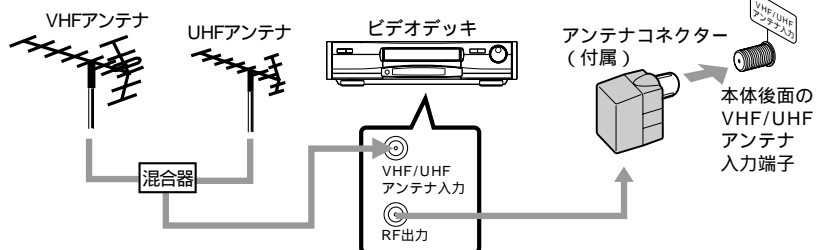


VHF、UHF の両方を接続する



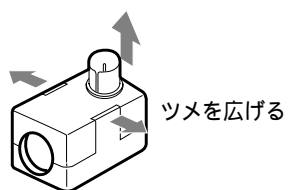
ビデオデッキを接続するとき

アンテナのケーブルはビデオ
デッキに接続し、ビデオデッ
キのRF出力からのケーブルを
本機のVHF/UHFアンテナ入
力端子につなぎます。
ビデオデッキの取扱説明書も合
わせてご覧ください。

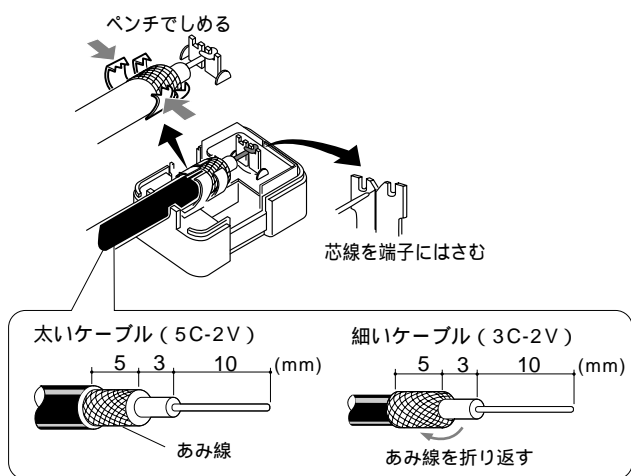


コネクターのつなぎかた

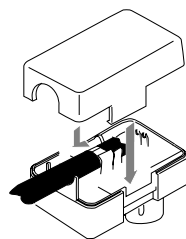
1 カバーを開ける



2 ケーブルをつなぐ



3 カバーをつける



アンテナの
接続と設定

アンテナをつなぐときは

BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。

ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

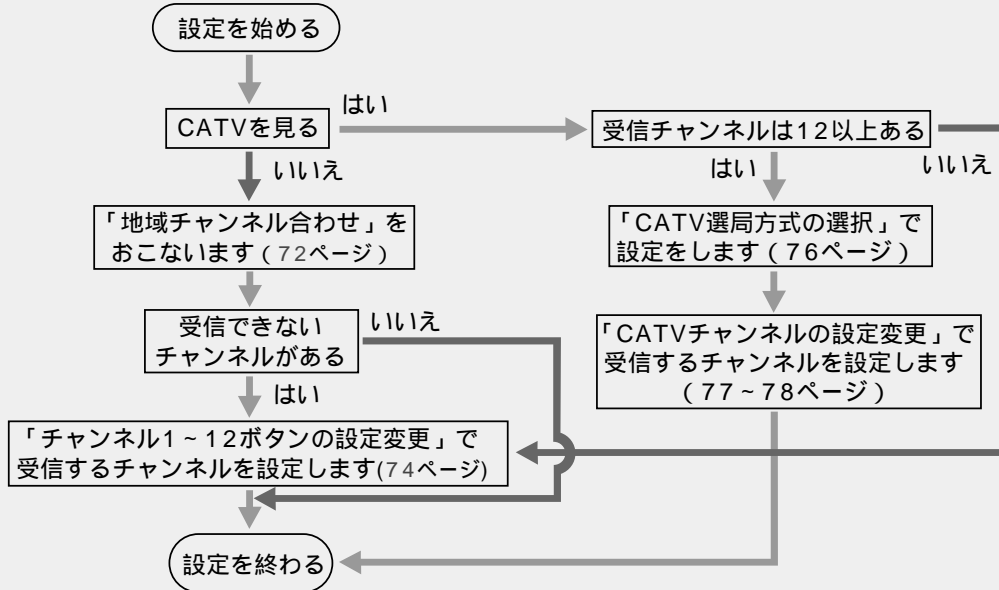
妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。

アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。

チャンネルを合わせる

チャンネル設定の手順

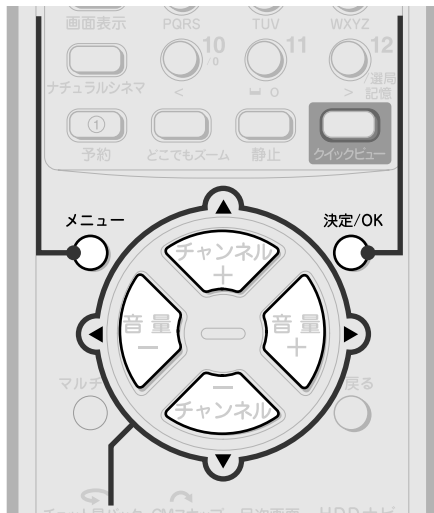
このテレビはお買い上げ時、VHFの1～12チャンネルが映るように設定されています。そのままではテレビが映らない場合は、下記の手順でチャンネルの設定をおこなってください。



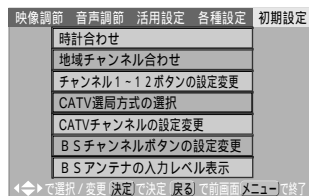
地域の放送局を一括して設定する

お住まいの地域を選んで、放送局を一括して登録することができます。

1,7 2~4,6 1

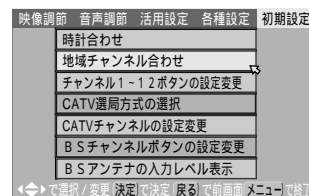


メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ



2

カーソルボタン()で「地域チャンネル合わせ」を選ぶ



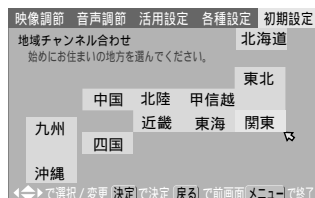
選んでから



1~6

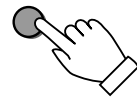
3

カーソルボタン(◀▶▲▼)でお住まいの地方を選ぶ



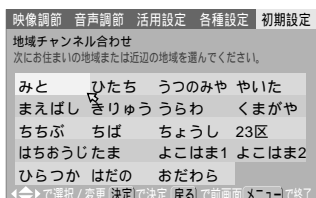
選んでから

決定/OK



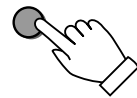
4

カーソルボタン(◀▶▲▼)でお住まいの都市を選ぶ



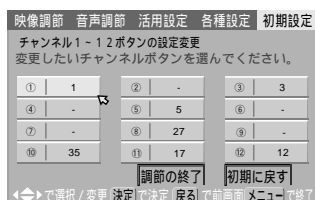
選んでから

決定/OK



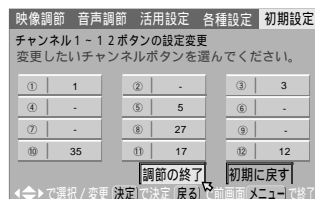
5

カーソルボタン(◀▶▲▼)で各チャンネルが受信できることを確認する



6

「地域チャンネル合わせ」が終わったら、カーソルボタン(▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから

決定/OK



7

メニューボタン(○)を押して終了する

お住まいの地域名がないとき

最も近い地域を選ぶ

近県または近隣の地域を選び、再度地域チャンネル合わせを行ってみてください。また、地域チャンネル合わせは、テレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。(P.74)

設定の操作を中止するには

戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

八王子・横浜市にお住まいの方は

八王子市にお住まいの方で「はちおうじ」で放送が受信できないときは「23区」に設定してください。
横浜市にお住まいの方は、はじめに「よこはま2」で設定してください。放送が受信できないときは「よこはま1」に設定してください。

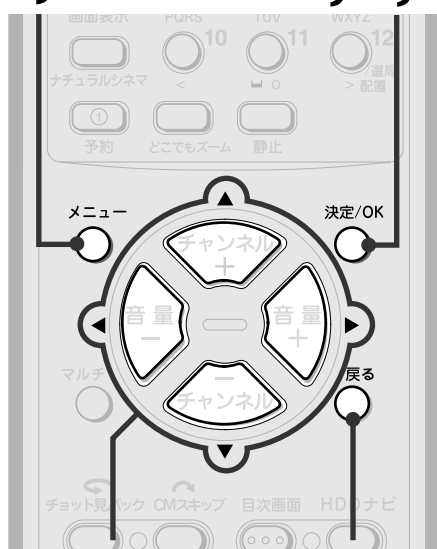
チャンネルを合わせる(つづき)

放送局を個別に設定する

「地域チャンネル合わせ」で設定できないときに個別に設定します。
空いているチャンネルにCATVチャンネルを割り当てたり、受信状態が悪い放送局を受信できないようにするなどの設定ができます。

1,8

2,3,7 1





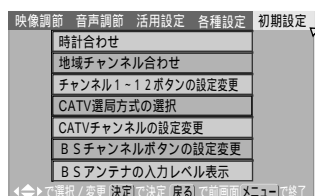
1~5,7

6

設定の操作を中止するには

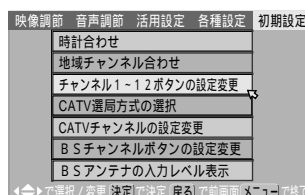
戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

メニューボタン()を押してから、
カーソルボタン()で「初期設定」を
選ぶ



2

カーソルボタン()で「チャンネル
1~12ボタンの設定変更」を選ぶ

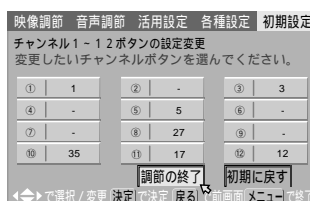


選んでから



3

カーソルボタン()で設定した
いりモコンチャンネルボタンを選ぶ

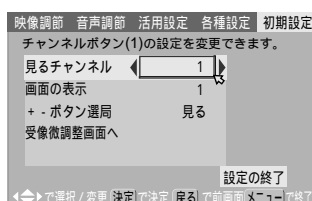


選んでから



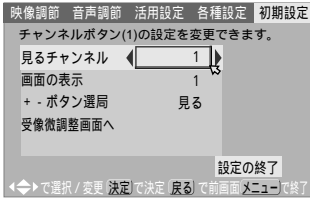
4

カーソルボタン()で項目を選ぶ



5

カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する



受信微調整を行うには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。



チャンネル設定の項目について

見るチャンネル

受信するチャンネルの番号を選びます。(1~12:VHF放送、13~62:UHF放送、C13~C38:CATV放送)

画面の表示

テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。

+・ボタン選局

チャンネル+/-ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)

放送を受信していないときは、「見ない」にします。

受信微調整

受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

6

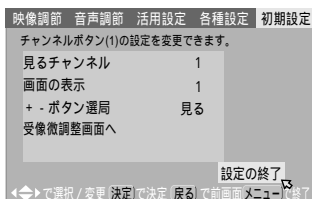
戻るボタン(●)を押す

「チャンネル1~12ボタンの設定変更」画面に戻ります。

他のチャンネルボタンの設定を変えるには
手順3~6をくり返して調整します。

7

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



8

メニューボタン(●)を押して終了する

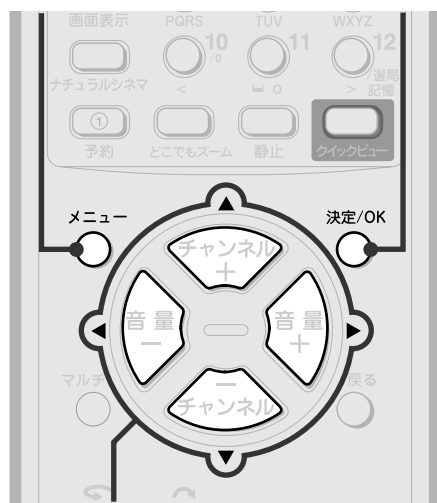
チャンネルを合わせる(つづき)

CATVチャンネルを直接選ぶ

CATVチャンネルのチャンネル番号をチャンネル数字ボタンで直接入力して選局することができます。

1,4

2,3



1~3



CATVについて

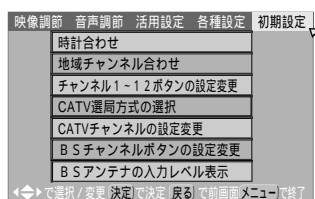
CATV(ケーブルテレビ)はサービスの行われている地域でだけ受信できます。CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

CATVを見るには

- 1 CATV会社と受信契約をする
詳しくはCATV各社にお問い合わせください。
- 2 CATVケーブルを接続する
ケーブルのつなぎかたはCATV各社にお問い合わせください。
- 3 CATVのチャンネル合わせをする

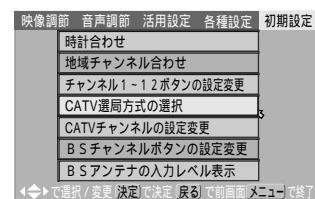
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ



2

カーソルボタン()で「CATV選局方式の選択」を選ぶ

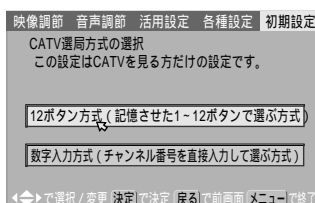


選んでから



3


カーソルボタン()で「数字入力方式」を選ぶ



選んでから



4

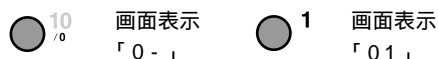
メニューボタン()を押して終了する

チャンネルの選びかた

見たいチャンネルを2桁の数字で選ぶ

「数字入力方式」を設定したときは、VHFやUHF、CATVチャンネルを受信するのに直接数字で選局します。

例：VHFの1チャンネルを選局するときは、0(10)、1と押します。



例：VHFの12チャンネルを選局するときは、1、2と押します。

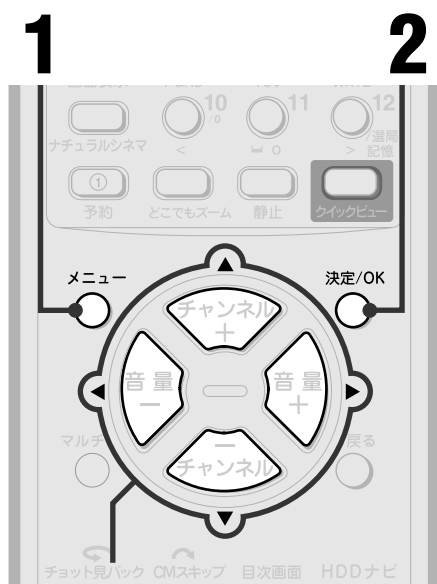
例：CATVのチャンネル34を選局するときは、3、4と押します。

お買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの1~12ボタンで選局できるように戻すには、手順3で「12ボタン方式」を選びます。



CATVチャンネルを設定する

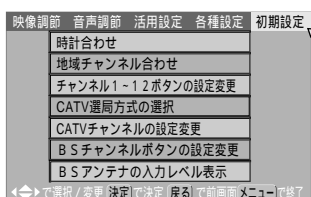
CATVチャンネルを選局するのに「数字入力方式」を設定したら、受信するCATVチャンネルの設定を行います。



1~4

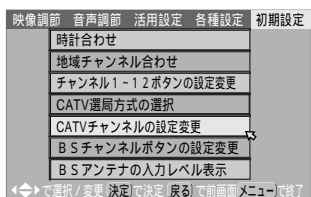
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ



2

カーソルボタン()で「CATVチャンネルの設定変更」を選ぶ

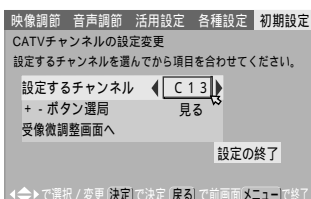


選んでから



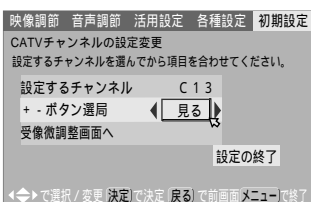
3

カーソルボタン()で「設定するチャンネル」を選ぶ



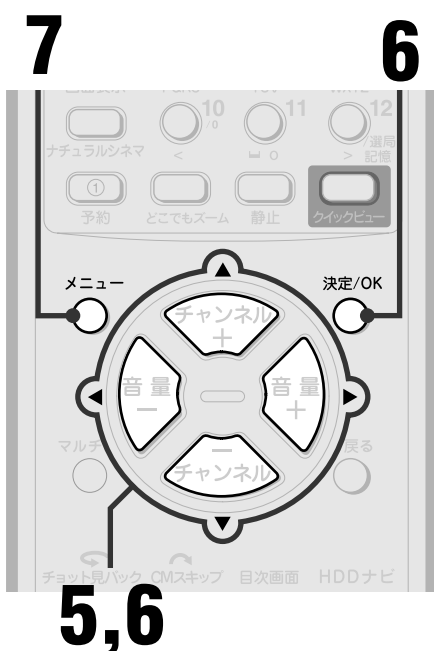
4

カーソルボタン()で項目を選ぶ



アンテナの
接続と設定

チャンネルを合わせる(つづき)

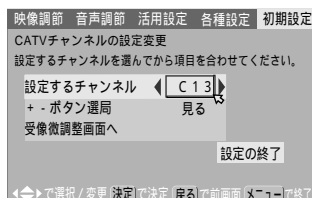


設定の操作を中止するには

戻るボタンで中止できます
ひとつ前の画面に戻ります。

5

カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する



受信調整を行うには
決定ボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で調整する。



CATVチャンネル設定の項目について

設定チャンネル

受信するチャンネルの番号を選びます。(C13～C38:CATV放送)

+ボタン選局

チャンネル+/-ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)

放送を受信していないときは、「見ない」にします。

受信調整

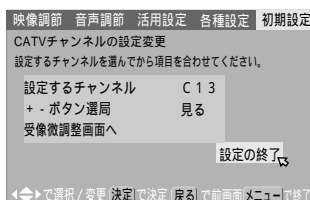
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

他のCATVチャンネルの設定を変えるには

手順3～5をくり返して調整します。

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから



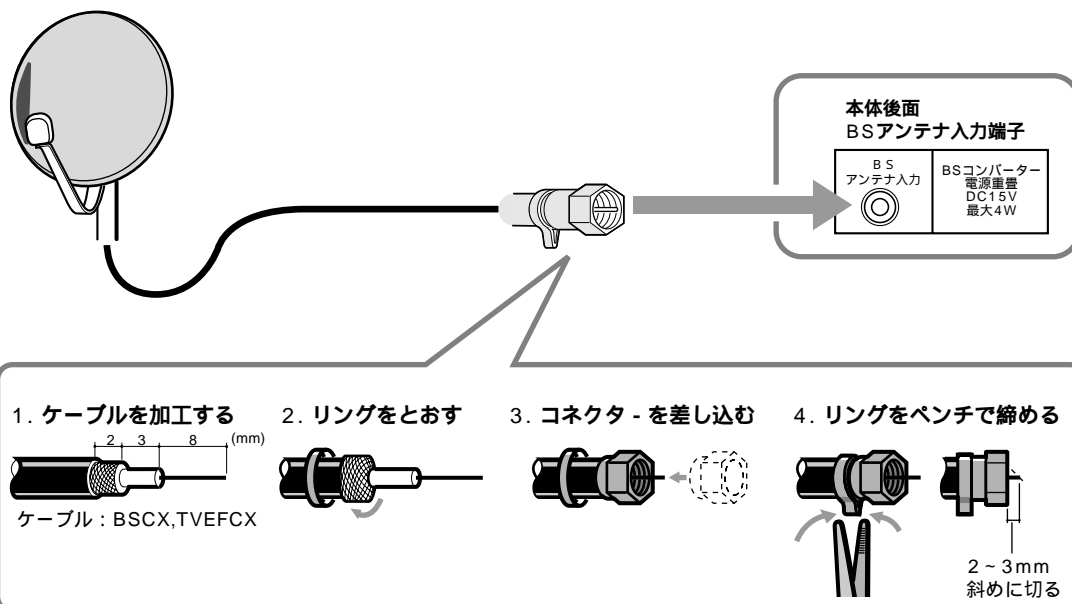
7

メニューボタン(●)を押して終了する

BSアンテナをつなぐ

BSアンテナ(コンバーター付)をつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。

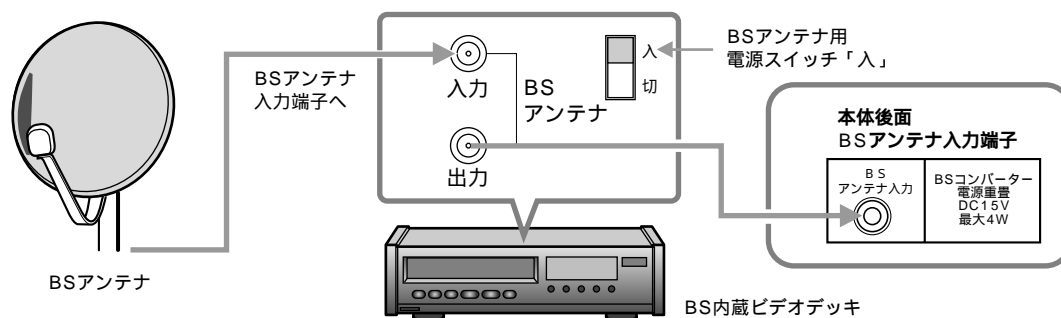
BSアンテナを接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- ① メニューの「各種設定」の「BSアンテナへの電源供給設定」を設定する。(☞P.81)
- ② メニューの「初期設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(☞P.82)
- ③ 必要ならば、メニューの「初期設定」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(☞P.83)

BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき

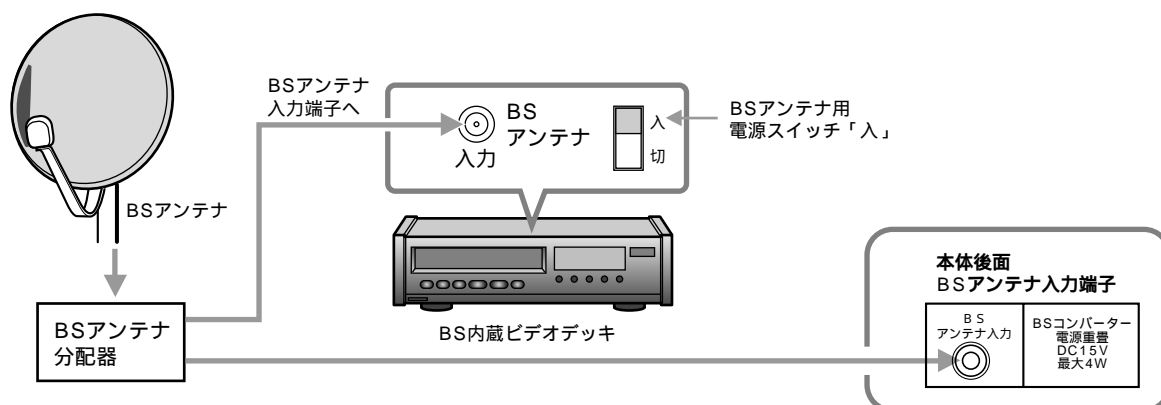


接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- ① メニューの「各種設定」で「BSアンテナへの電源供給設定」を「供給しない」にする。(☞P.81)
- ② メニューの「初期設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(☞P.82)
- ③ 必要ならば、メニューの「初期設定」で「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(☞P.83)

BSアンテナをつなぐ

BS内蔵のビデオデッキ(BSアンテナ出力端子なし)と一緒に接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

- 1 メニューの「各種設定」で「BSアンテナへの電源供給設定」を設定する。(☞P.81)
BSアンテナ分配器が両通電のとき:「供給する」にする。
このときは、本機またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
BSアンテナ分配器が片通電のとき:「供給しない」にする。
このときは、ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
- 2 メニューの「初期設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。
(☞P.82)
- 3 必要ならば、メニューの「初期設定」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。
(☞P.83)

アナログBS(衛星)放送について

日本の南西、赤道上空約36,000kmにある衛星放送を経由してテレビ電波を受信するシステムです。2001年5月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。

BS5チャンネルはJSB(日本衛星放送株式会社)がWOWOWを、SDAB(衛星デジタル音楽放送株式会社)がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。BS9チャンネルでは、ハイビジョンを放送していますが、このテレビでは受信できません。

BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているとき

お住まいのマンション、集合住宅などで、共聴システムをお使いのときには分波器が必要です。ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

BSの設定をする

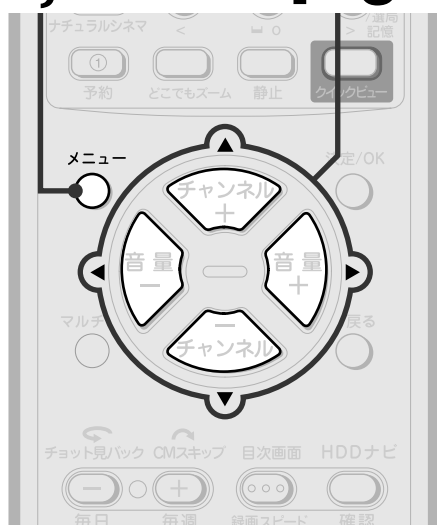
BSアンテナに電源を供給する

本機はBSアンテナに電源を供給できるようになっています。



メニューの「各種設定」でBSアンテナに電源を供給するか、しないかの設定ができます。

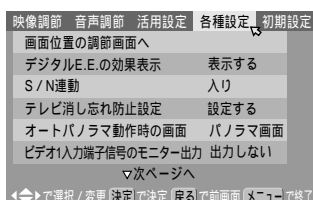
1,4

1~3



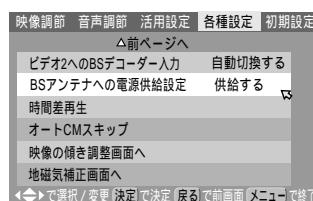
1

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「各種設定」を選ぶ



2

カーソルボタン()で2ページ目の「BSアンテナへの電源供給設定」を選ぶ



3

カーソルボタン()で設定を変更する

BSアンテナへの電源供給設定について


供給しない

本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給しません。マンションなどの共聴アンテナなどをお使いのときや、他のBS機器から電源を供給しているときに選びます。

供給する

本機からBSアンテナのコンバーターへ電源を供給します。ただし、本機の電源を切ったときには、電源は供給されません。(リモコンの電源ボタンを押して、電源を切ったときに、BSジャックが「入り(BS固定)」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。)

4

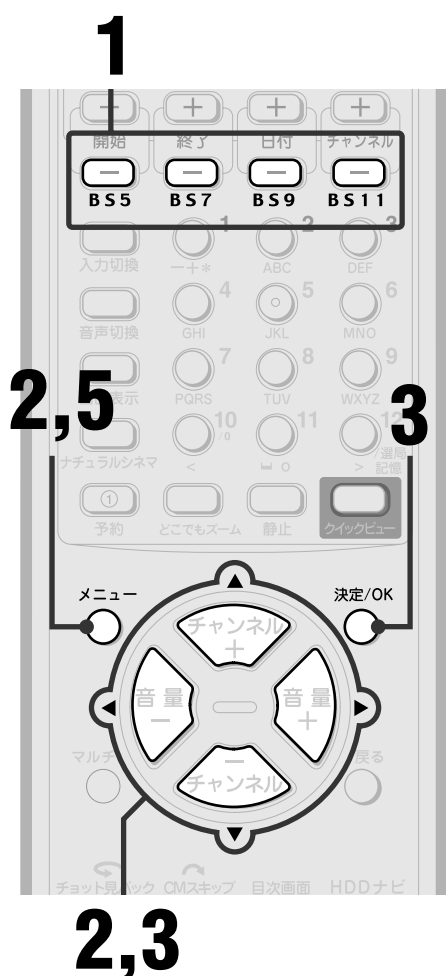
メニューボタン()を押して終了する

アンテナの
接続と設定

BSの設定をする(つづき)

BSアンテナの向きを調節する

本機はBSアンテナの向きを調節するときに、参考になるよう入力レベルを表示することができます。






アンテナ入力レベルについて

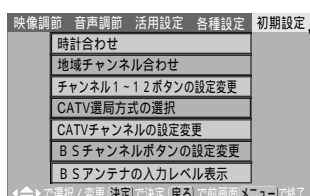
BSアンテナの入力レベル表示の数値はめやすです。数値が大きくなっても受信できていれば問題はありません。

1

BS放送のチャンネルを選ぶ

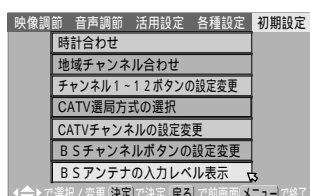
2

メニューボタン()を押してから、カーソルボタン( )で「初期設定」を選ぶ



3

カーソルボタン( )で「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぶ



選んでから



4

画面を見ながらBSアンテナの向きを調節する

画面上の「入力レベル」の数値が「最大レベル」に近づくように向きを調節します。


BSアンテナの入力レベル表示

入力レベルが最大レベルになるように、アンテナの向きを調節してください。

入力レベル	最大レベル
20	20

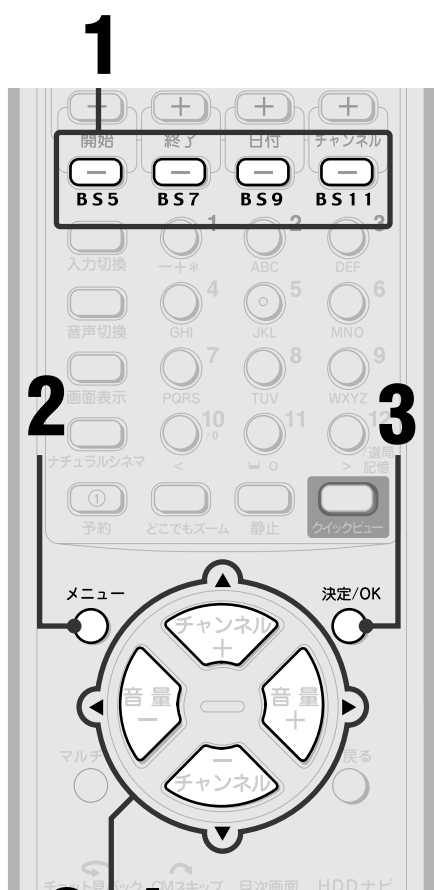
設定の終了 

5

メニューボタン()を押して終了する

BSチャンネルの設定を変更する

アナログBS放送のチャンネルの画面表示とチャンネルのスキップを設定します。
通常は設定を変更する必要はありません。



2~4



衛星第 1	BS 7
衛星第 2	BS 11
WOWOW	BS 5

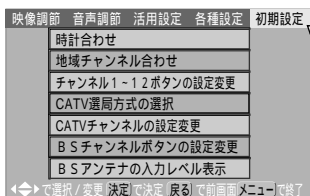
2001年5月現在

1

BS放送のチャンネルを選ぶ

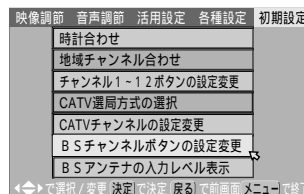
2

メニューボタン()を押してから、
カーソルボタン()で「初期設定」を
選ぶ



3

カーソルボタン()で「BSチャンネル
ボタンの設定変更」を選ぶ



選んでから



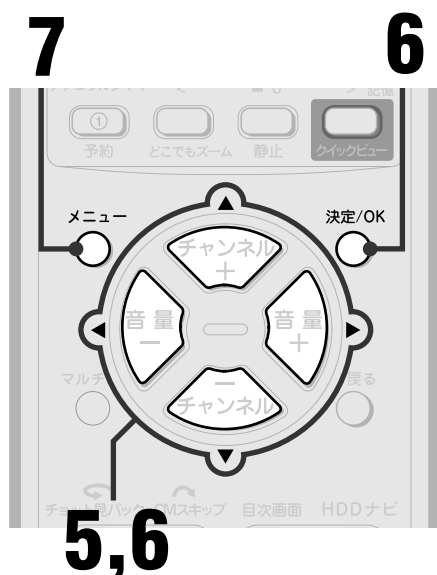
4

カーソルボタン()で項目を選ぶ

→次のページに続く

アンテナの
接続と設定

BSの設定をする(つづき)

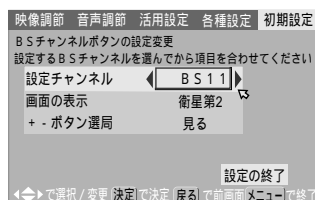


ハイビジョン放送は受信できません

画面表示に「ハイビジョン」の表示がありますが、このテレビではハイビジョン放送を受信することはできません。

5

カーソルボタン(◀▶)で設定を変更する



BSチャンネルボタンの設定について

設定チャンネル

受信するチャンネルの番号を選びます。(BS1,3,5,7,9,11,13,15)

画面の表示

テレビ画面の表示を選びます。

(表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン)

+ - ボタン選局

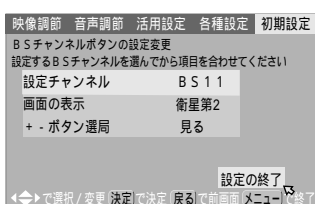
チャンネル+/- ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。

放送していないチャンネル(BS1、3、13、15)や受信できないチャンネル(BS9)は、「見ない」にします。

他のBSチャンネルボタンの設定を変えるには
手順4~5をくり返して、調整します。

6

変更が終わったらカーソルボタン(▲▼)で「設定の終了」を選ぶ



選んでから

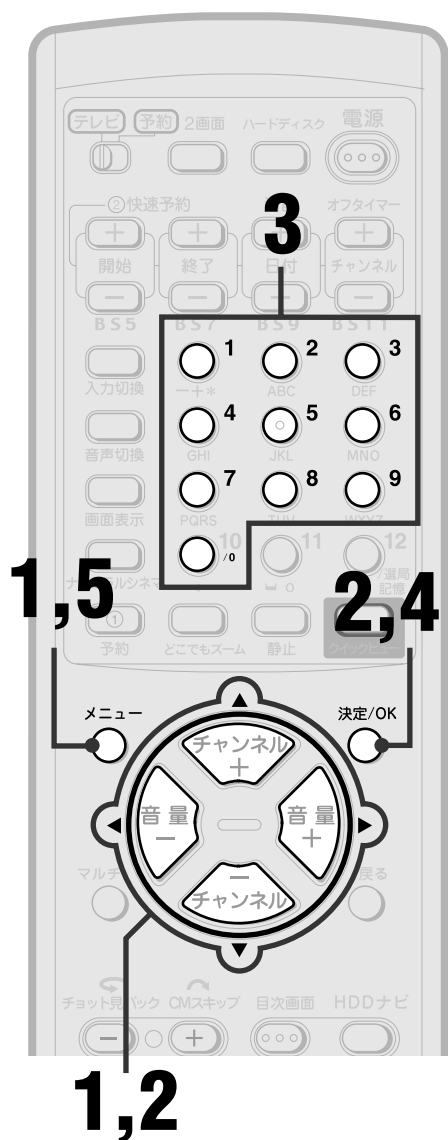


7

メニューボタン(○)を押して終了する

時計を設定する

本機は時計機能を内蔵しています。お買い上げになったら、お使いの前に必ず時計の設定を行ってください。時計の設定をしていないと「おはようタイマー」などの機能が使えません。

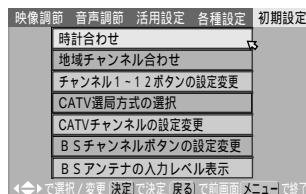


内蔵時計について

本機に内蔵の時計は、電源を基準として動いています。このため電源からのノイズなどが原因で時計が狂うことがあります。大切な番組を予約するときは、時計の時刻が正しいことを確認されることをおすすめします。(時計を表示するには19ページを参照ください。)

1 メニューボタン()を押してから、カーソルボタン()で「初期設定」を選ぶ

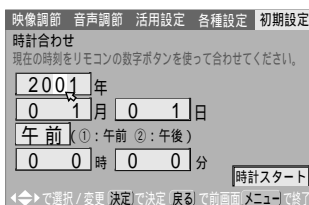
2 カーソルボタン()で「時計合わせ」を選ぶ



選んでから



3 チャンネル数字ボタンで西暦、月日、時刻を設定する



時間設定について

午前・午後の設定

リモコンのチャンネル数字ボタンで設定します。午前なら①、午後なら②を押します。

時刻の設定

リモコンのチャンネル数字ボタンで、現在時刻を入力します。

4 時報などに合わせて、決定ボタン()を押す
時計が動き始めます。

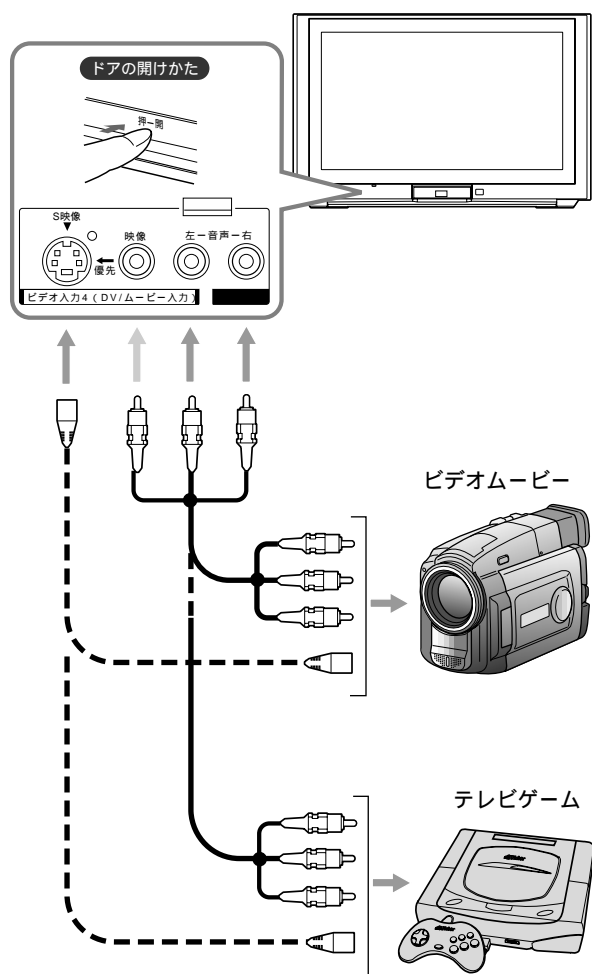
5 メニューボタン()を押して終了する

AV機器を接続する

AV機器を接続するには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。
また、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧下さい。

ビデオムービー / テレビゲームを接続する

本体前面



ビデオムービーやテレビゲームの接続には、専用の接続コードやアダプターが必要なときがあります。詳しくは、ビデオムービーやテレビゲームの取扱説明書をご覧ください。
S映像出力があるときは、S映像コードで接続することをおすすめします。映像コードも接続されているときにはS映像が優先されます。

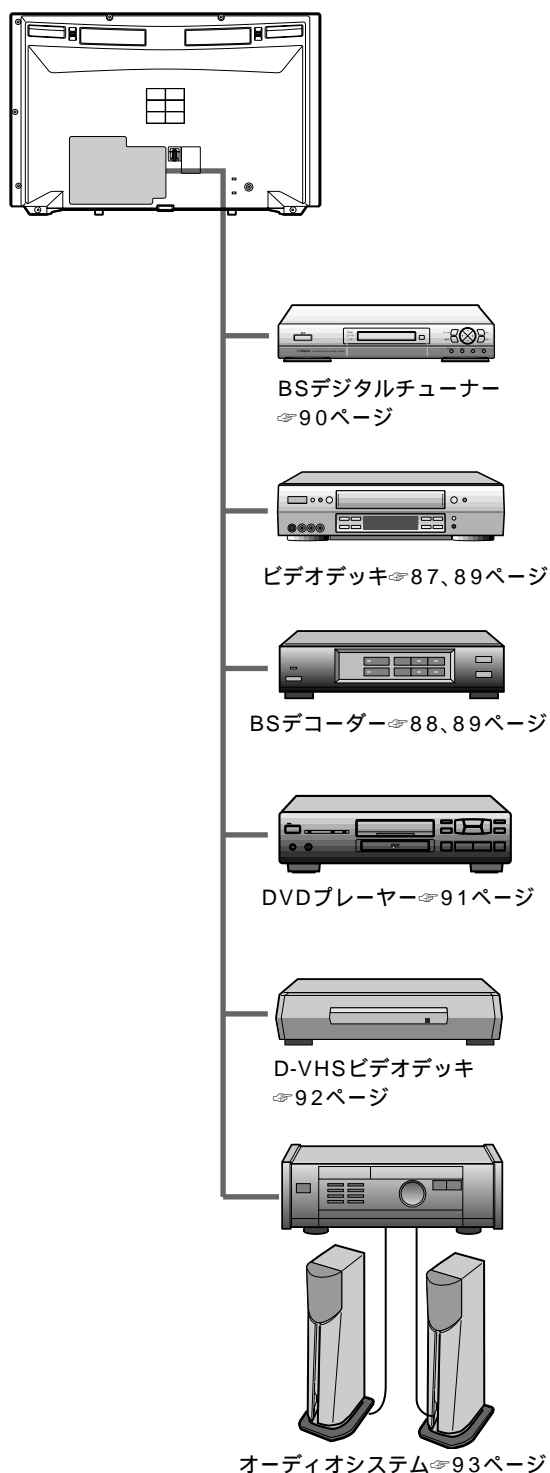
ビデオムービーやテレビゲームを楽しむには

「ビデオ4」に切り換わるまで入力切換ボタンを何回か押す
画面右上に入力切換の表示がされます。

入力切換
5
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
BSデジタル

接続できる機器

本体後面

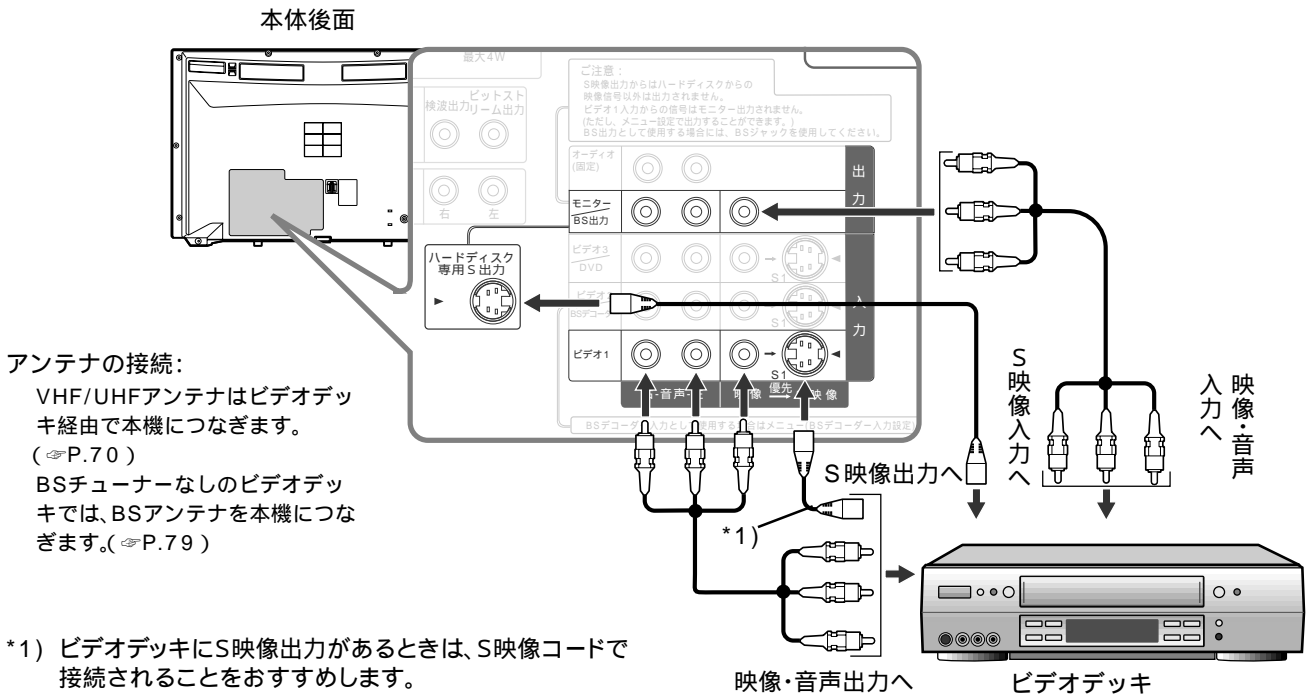


MUSEデコーダーは接続できません。

ビデオデッキ

を接続する

ビデオデッキの取扱説明書もお読みください。

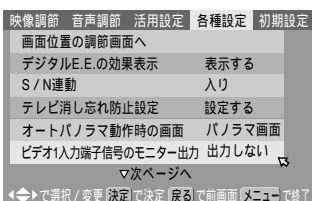


ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押して「ビデオ1」を選ぶ

ビデオ1を選んだとき、映像(単色)が周期的にみだれるときは

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「出力しない」を選ぶ



- 4 メニューボタン(●)を押して終了する

BS放送を録画するには

BSチューナー内蔵のビデオデッキをお使いのときは、ビデオデッキ側の操作で録画できます。(この操作は必要ありません)

- 1 録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 ビデオデッキの入力を切り換え、本機からの入力を録画できるようにする
- 3 ビデオデッキで録画の操作をする

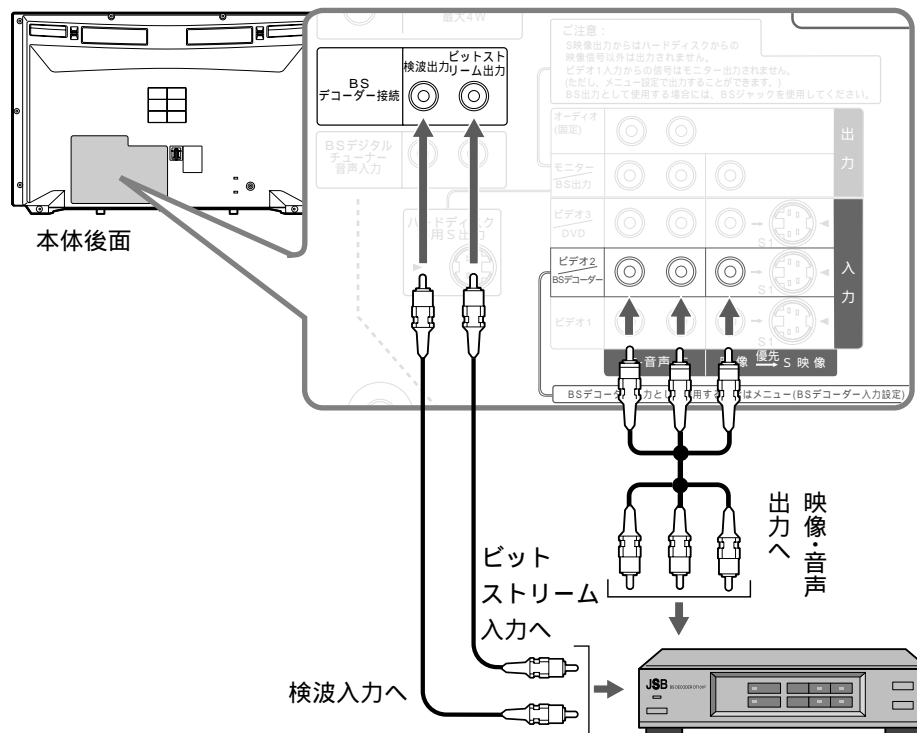
ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

録画中にBSチャンネルが切り換わらないようにするには

- 1 録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 メニューでBSジャックを「入り(固定)」にする(P.37)
本体表示窓のBSジャックランプが点灯します。
録画が終わったら、メニューでBSジャックを「切り」にする。(P.37)
BSジャックが「入り(固定)」のときは、BSチャンネルを変えることはできません。VHF/UHFを見たり、ビデオ入力を見ることができます。
「BS放送を録画しながらテレビを見る」(P.37)もお読みください。

つなぐ
AV機器を

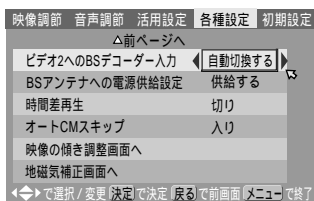
BS デコーダー を接続する



接続後に次の設定をしてください

ビデオ2端子をBSデコーダーで使えるようにするには

- 1 メニューボタンを押してから、カーソルボタン(◀▶)で「各種設定」を選ぶ
- 2 カーソルボタン(▲▼)で2ページ目の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を選ぶ
- 3 カーソルボタン(◀▶)で「自動切換する」を選ぶ



設定について

- 「自動切換する」 : BSデコーダーを接続したときに選びます。
- 「常に使用する」 : BSデコーダーで独立音声を選んでもSt.GIGA放送が聞けないなど、BSデコーダー入力として固定したいときに選びます。
- 「使用しない」 : ビデオ2入力端子として使うときに選びます。

基本操作

WOWOWを見るときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞くとときは

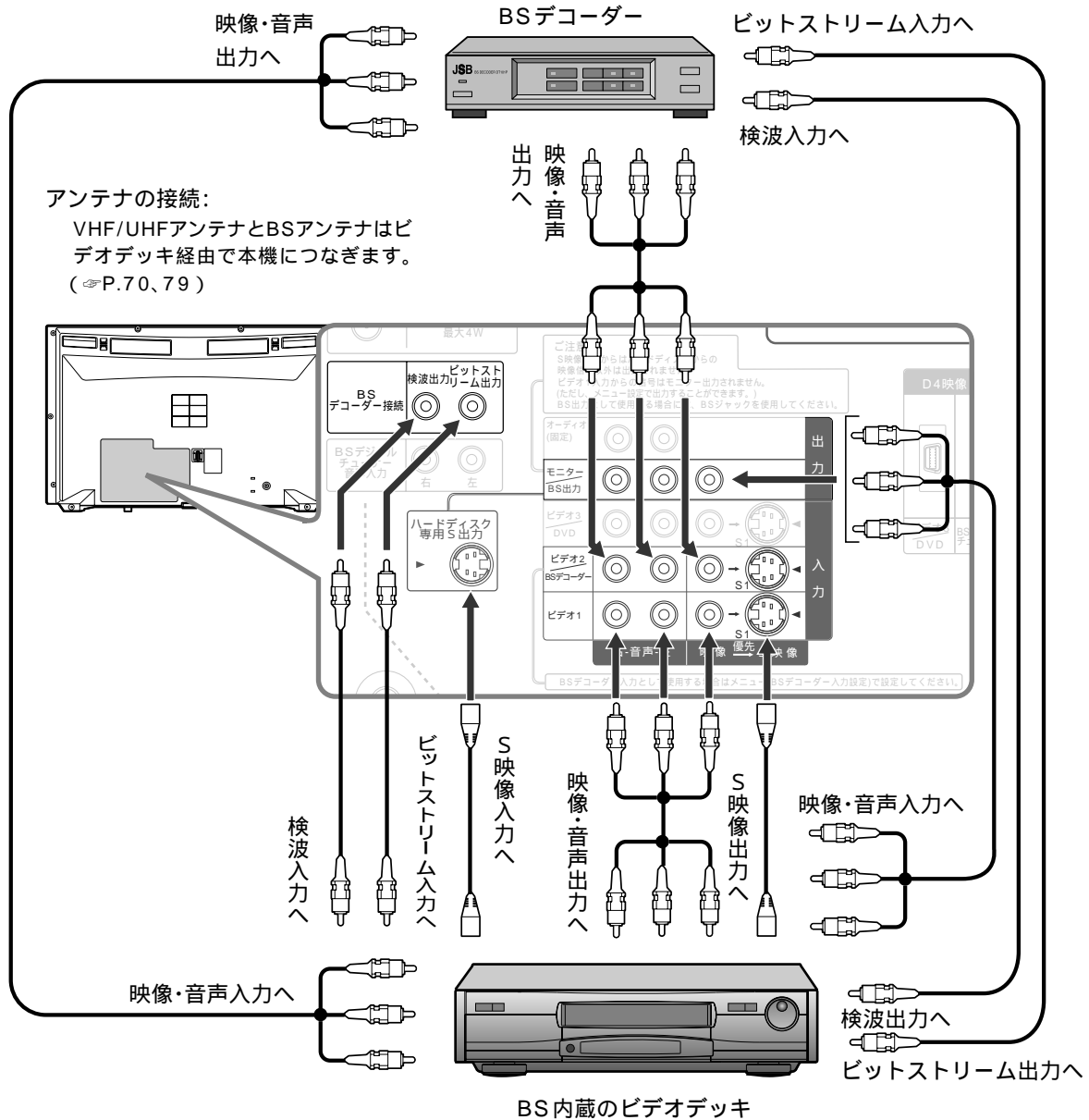
- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ

BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声が聞けないときは、メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」に設定してください。

BSデコーダー とBS内蔵 ビデオデッキ

を接続する

接続するビデオデッキに外部BS入力端子(機種により名前が異なることがあります)がないときは、87ページの方法で接続してください。



接続後に次の設定をしてください

メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」にする。(P.88)
メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「出力しない」に設定する。(P.87)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押して、「ビデオ1」を選びます。

WOWOWを見るときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
二重音声はBSデコーダー側で選びます。

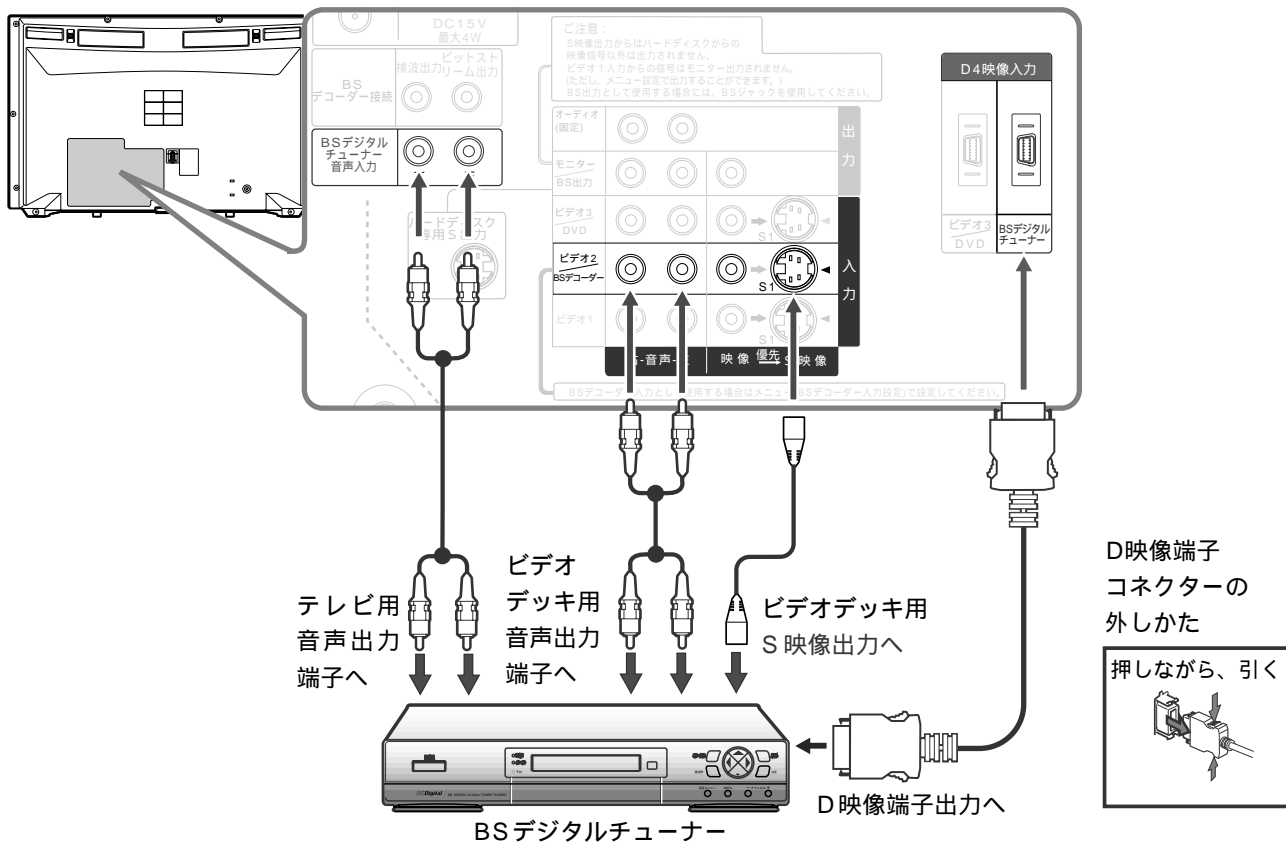
St. GIGAを聞くときは

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声が聞けないときは、メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「常に使用する」または「自動切換する」に設定してください。

BS デジタル チューナー

を接続する

本体後面



BSデジタル放送を見るには

- 1 BSデジタルチューナーの電源を入れる
- 2 入力切換ボタンを押して「BSデジタル」を選ぶ
BSデジタルチューナー入力「BSデジタル」はD4映像端子専用の入力端子です。D映像端子が接続されていないと選ぶことはできません。
- 3 BSデジタルチューナー側でチャンネルを選ぶ
本機はD4映像入力から750p信号が入力されると、525p信号に変換して表示します。

BSデジタル放送をハードディスクで録画するには

- 1 BSデジタルチューナーの電源を入れる
- 2 入力切換ボタンを押して「ビデオ2」を選ぶ
- 3 BSデジタルチューナー側でチャンネルを選ぶ
- 4 録画ボタンを押したまま再生ボタンを押す
「BSデジタル」を選んでいるときには、ハードディスクに録画できません。

BSデジタルチューナーによっては、録画用ビデオデッキ用の出力に電子番組表などの表示がされないものがあります。その場合は、入力ボタンを押して「BSデジタル」を選んで操作をおこなってください。

画面サイズについて(「BSデジタル」を選んだとき)

ハイビジョン(1125i, 750p)の映像信号を受信したとき画面サイズは自動的に「フル」になります。
プログレッシブ(525p)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- ・16:9の映像の場合:「フル」になります。
- ・劇場サイズの映像の場合:「シネマ」になります。
- ・通常の4:3の映像の場合:設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。

画面サイズが自動的に切り換った後で、好きな画面サイズを選ぶことができます。

標準(525i)の映像信号を受信したとき画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- ・16:9の映像の場合:「フル」になります。
- ・劇場サイズの映像の場合:「シネマ」になります。
- ・通常の4:3の映像の場合:設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。

画面サイズが自動的に切り換った後で、好きな画面サイズを選ぶことができます。

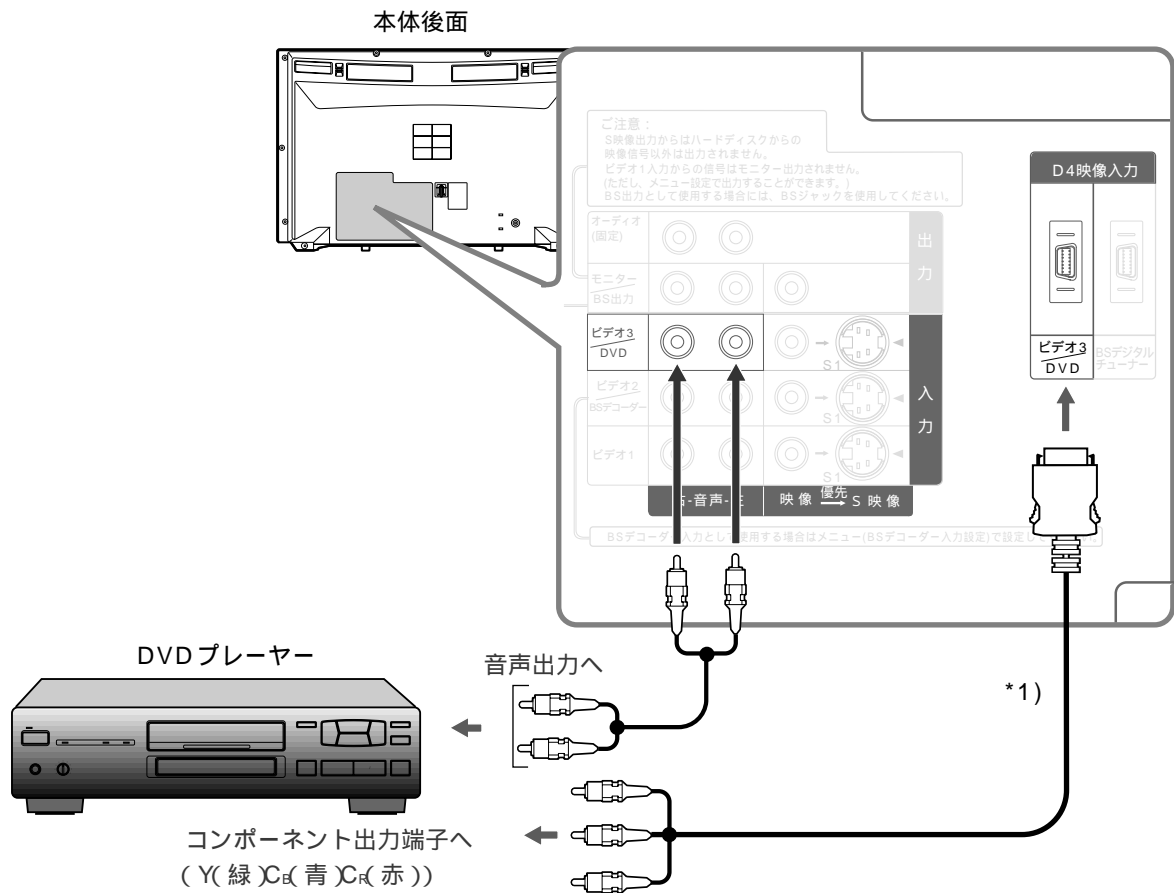
BSデジタルチューナーを接続しているときは、BSアナログ放送を選ばないでください。

どのBSアナログチャンネルを選んでも、BSデジタルチューナーの音声がかかります。

D-VHSビデオデッキのように、デジタル信号を直接記録できません。一度アナログ信号に戻したものを再びデジタル化して録画します。

DVD プレーヤー

を接続する



*1) DVDプレーヤーのコンポーネント出力端子がD映像端子のときは、両端がDコネクタのコードをご使用ください。

接続後に次の設定をしてください

DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

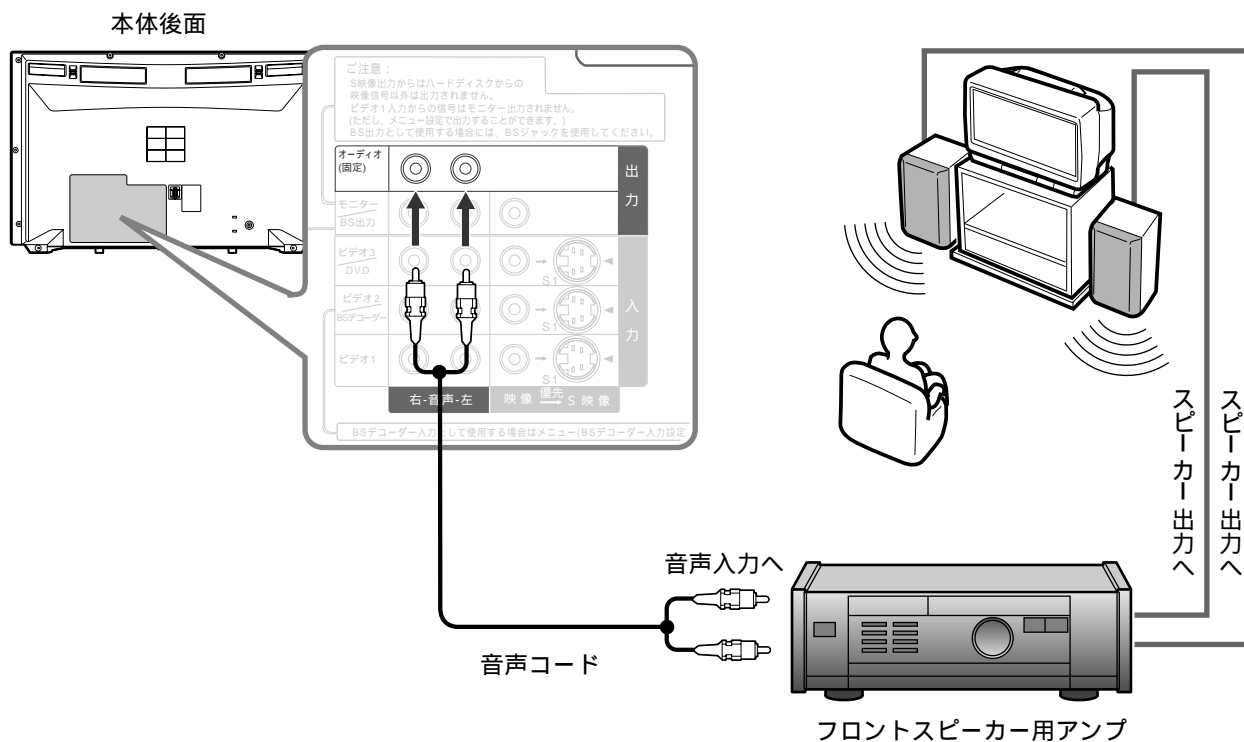
DVDを見るときは

入力切換ボタンを押して、「ビデオ3」を選びます。

アンプ (オーディオシステム)

を接続する

別売りのアンプとスピーカーでステレオ音声を楽しむことができます。



オーディオシステムでステレオ音声を楽しむには

詳しくは、アンプ(オーディオシステム)の取扱説明書をご覧ください。

- 1 アンプ(オーディオシステム)の電源を入れる
- 2 アンプ(オーディオシステム)のソースセレクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ
- 3 アンプ(オーディオシステム)で音量を調節する

スピーカーについて

スピーカーは防磁タイプのものでお使いください。スピーカーをテレビに近づけすぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらがでることがあります。スピーカーはテレビから20~30cm以上離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらがでるときは、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後、再び電源を入れます。

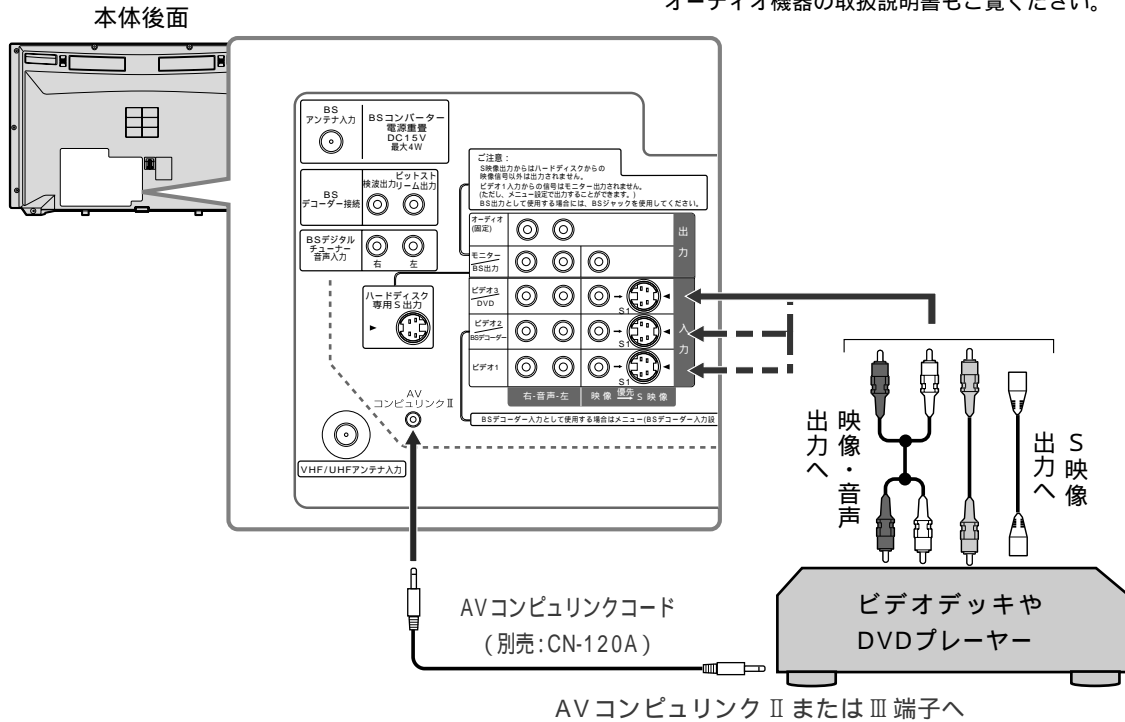
つなく
AV機器を

AV コンピュリンク III を接続する

ご注意

接続が終わるまで電源コードはコンセントから抜いておいてください。

オーディオ機器の取扱説明書もご覧ください。



AV コンピュリンク III でできること

AV コンピュリンク II または III 端子のあるビデオデッキや DVD を専用のコードで接続することで、操作の手間をはぶくことができます。

ビデオデッキのとき

他機側の操作	本機の動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る ビデオデッキをつないだ入力に切り換わる
再生の操作をする	

DVD プレーヤーのとき

他機側の操作	本機の動作
再生の操作をする	テレビの電源が入る DVD プレーヤーをつないだ入力に切り換わる

ビデオデッキの設定

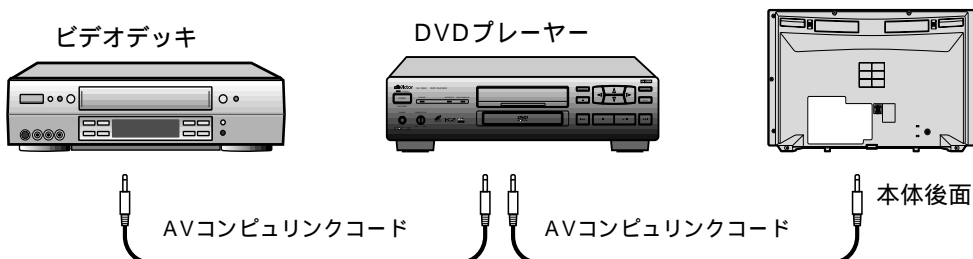
ビデオデッキのリモコンコードを設定します。ビデオデッキをビデオ 1 入力端子に接続したときは「A コード」に、ビデオ 2 入力端子に接続したときは「B コード」に設定します。

DVD プレーヤーの設定

DVD プレーヤーで AV コンピュリンクモードを設定します。ビデオ 3 入力端子に接続したときは「DVD 1」に、ビデオ 1 入力端子に接続したときは「DVD 2」、ビデオ 2 入力端子に接続したときには「DVD 3」に設定します。

ビデオデッキと DVD プレーヤーの両方を接続するには

DVD プレーヤーには、2つの AV コンピュリンク II 端子がありますので、DVD プレーヤーを経由するかたちで接続します。



故障かな?と思う前に

症状とその原因と対処方法(Q&A)

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

電源が入らない

電源プラグがはずれていませんか。

(P. 13)

本体の電源ランプは点灯していますか。点灯していない場合は、まず本体の電源ボタンを押し電源ランプを点灯させてください。電源ランプが赤く点灯していれば、リモコン側の電源ボタンで電源を入れられます。

リモコンで操作できない

本体の電源ランプが赤く点灯していますか。点灯していなければ、本体の電源ボタンを押してください。(P.14、18)

電池が消耗していませんか。電池を交換してください。(P.17)

正常に動作しない

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

VHF/UHFが映らない

アンテナは正しく接続されていますか。(P.70)

チャンネル合わせは済んでいますか。(P.72~P.78)

CATVが映らない

受信契約はお済みですか。

ケーブルは正しく接続されていますか。

チャンネル+/-ボタンで選べないときは、メニューの「+/-ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。

(P.77、78)

アナログBSが映らない

BSアンテナは正しく接続されていますか。(P.79)

BSアンテナの向きが変わっていませんか。(P.82)

コンバーターに電源が供給されていますか。(P.81)

こまごま
たときは

症状とその原因と対処方法(Q&A)(つづき)

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

アナログBSの有料放送が映らない

BSデコーダーは正しく接続されていますか。(P.88、89)
BSデコーダーの電源は入っていますか。
メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「自動切換する」または「常に使用する」になっていますか。(P.88)

「BSデジタル」入力が選べない

本機後面のBSデジタルチューナー入力端子に何も接続されていないときは、「BSデジタル」は選べません。

色が出ない、おかしい

色あいや色の濃さの調節がズれていませんか。映像調節をやり直してください。(P.39)
受信周波数がズれていませんか。メニューの「初期設定」で「受像微調整」をしてみてください。(P.75)

音が出ない

ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。
消音ボタンを押していませんか。(P.19)

音声重なって聞こえる

二重放送の音声は「主 + 副音声」になっていませんか。(P.41)

アナログBS放送の音声切り換えられない

メニューの「各種設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認してください。設定が「自動切換する」または「常に使用する」になっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えができません。(P.88)
BSジャックが「入り(BS固定)」のときは、音声は切り換えられません。(P.37、87)

チャンネルを選ぶときの動作がおかしい

CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(P.76)

接続したビデオ機器からの映像、音が出ない

ビデオ機器は正しく接続されていますか。(P.86 ~ P.92)
正しいビデオ入力を選んでいませんか。(P.19)
ビデオ機器の電源は入っていますか。

Q 症状

A 原因と対処(参照ページ)

突然電源が切れた	オフタイマーを設定していませんか。(P.19) 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(P.47) テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(P.47、P.49)
画面表示が消えない	ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいませんか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.19)
アナログBS放送のチャンネルが選べない	BSジャックランプが点灯していませんか。BSジャックが「入」(BS固定)のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。(P.37)
2画面表示にならない	左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映すことはできません。(P.33) 左右の画面で同時にBS放送を見ることはできません。
静止画にならない	番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。
ハードディスクの操作ができない	ハードディスクボタンを押して、ハードディスクの電源を「入」にしてから操作してください。
録画が終了できない	時間差再生中は、停止ボタンを一度押すと現在放送されている画面に戻ります。録画を止めたいときはもう一度停止ボタンを押してください。
録画ができない	HDDナビでの登録数が61番組以上は録画できません。HDDナビで不要な番組を削除したり、テープヘダビングするなどして録画数を減らしてください。 DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなど、D4映像入力端子に接続した映像を録画しようとしていませんか。ビデオ1から3の映像入力やS映像入力に接続し直してください。 著作権保護の信号が含まれた番組を録画しようとしていませんか。本機では著作権保護の信号を含んだ番組の録画を制限しています。
録画一時停止ができない	ハードディスク側では録画一時停止はできません。一時停止ボタンを押すと再生一時停止になります。
HDDナビ画面を消すことができない	テレビ予約切替スイッチが「予約」側になっていませんか。
画面(映像)が、左または右に傾いている	地球の磁気の影響によるものです。 「画面の傾きを調節する」(P.52)にしたがって調節してください。
予約録画の開始時間がずれている	テレビの時計がずれていませんか。(P.85)

症状とその原因と対処方法(Q&A)(つづき)

こんなときは故障ではありません

ハードディスク動作中や電源を切るときには、テレビの音声以外に音が聞こえることがありますが、これはハードディスクの動作音で故障ではありません。

ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じるがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているため、人体に影響はありません。

画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。色付きが消えるまでには少し時間がかかる場合があります。色付きが起る場合は、ピクチャーの設定を10程度下げることでも色付きを軽減できます。(P.39)

部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。

磁石やスピーカーやブラスターなどを近づけたとき、画面が揺れたり色むらが出る場合があります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。

ワイドテレビは、地磁気の影響を受けやすいため、画面の映像が右下がりあるいは左下がりに傾くことがあります。これは、故障ではありません。

本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る
アンテナは正しく接続されていますか。 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)
ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)
無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因
ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	画面サイズがノーマル(4:3)のときに、「画面位置の調節」項を決定したとき。
CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	CATVチャンネルの設定でCATV選局方式が12ボタンのとき。
ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。	ビデオ2入力モードのときに、「ビデオ2へのBSデコーダ入力」を決定したとき。
BS放送にしてから、この設定を選んでください。	BS以外の入力モードのときに、メニューで「TV/独立」、「BSジャック」、「BSアンテナの入力レベル表示」、「BSアンテナへの電源供給設定」を操作/決定したとき。
BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。	BSジャックが「入り(BS固定)」になっているときに、BSチャンネルや音声を切り換えたとき。 またはメニューで「ビデオ2へのBSデコーダ入力」や「BSアンテナへの電源供給設定」を操作しようとしたとき。
BSアンテナに不具合があります。 BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。	BSアンテナ電源がショートしているとき。
マルチ画面のとき、この操作はできません。	2画面、番組一覧モードのときに、画面サイズを操作したとき。 2画面の右側に対して音声切り換えが押されたとき。ナチュラルシネマを「入り」にしようとしたとき。
2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。	2画面モードのときに、左右画面に同じビデオ入力を選択しようとしたとき。
静止画のため、この操作はできません。	静止画のときに、操作画面を選択したとき。
BS放送を2つ以上出すことはできません。	2画面で両画面にBS放送を出そうとしたとき。
無信号のためまもなく電源が切れます。	無信号電源オートオフが働く3分前のとき。無信号でなくなるまでメッセージは消えない。
無操作のためまもなく電源が切れます。 続けてみる場合は音量ボタンを押して下さい。	何も操作しない状態が3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能により、オフする3分前のとき。何かのボタンが押されるまでメッセージは消えない。

こんなメッセージが表示されたら(つづき)

メッセージ	原因
BSチャンネルを固定しました。	「BSジャック」を「入り(BS固定)」にしたとき。
設定時刻になりますのでまもなく電源が切れます。続けて見るばあいは音量ボタンを押して下さい。	深夜電源オートオフの設定時刻の3分前になったとき。
時計が設定されていませんので、使えません。メニュー機能で時計を合わせて下さい。	時計が設定されていないときにおはようタイマーを使おうとしていたとき。録画予約をしようとしたとき
Bモード音声中です。	アナログBS放送のとき。メニューで「TV/独立」を操作したとき。
デコーダーで設定してください。	WOWOWの音声切換をしたとき。
現在のモードではこの操作はできません。	ビデオ入力モードのときに音声切換をしようとしたときなど。 525pを見ているときにナチュラルシネマボタンが押されたとき。 1125iを見ているときにナチュラルシネマボタンが押されたとき。
ナチュラルシネマモードにしました。	ナチュラルシネマボタンが押されたとき。
ナチュラルシネマモードが解除されました。	ナチュラルシネマが解除されたとき。
表示できないモードです。	D端子から525i、525p、1125i、750p以外の信号が入っているとき。
525p受信中のため、このモードは使用できません。	525pを見ているときにシネマナチュラルボタンが押されたとき。
どこでもズーム機能をデモしています。拡大したいところに枠を合わせます。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	「どこでもズーム」の自己紹介(機能説明)中のとき。
2画面機能をデモしています。左右カーソルを押すと画面の大きさが変わります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	2画面機能の自己紹介(機能説明)中のとき。
デジタルE.E.機能をデモしています。リモコン受光部に手を当てると効果がわかります。中止するにはメニューの自己紹介(機能説明)を切りにしてください。	「デジタルE.E.」の自己紹介(機能説明)中のとき。
自己紹介(機能説明)を中止しました。	自己紹介(機能説明)を終了したとき。
おはようタイマー設定時刻になりました。	「おはようタイマー」の設定時刻になったとき(電源が入ったとき)。

メッセージ

原因

録画可能時間が足りないため、変更できません 不要な番組を削除した後、変更してください	ハードディスクに時間差再生として使える容量が残っていないため表示されます。すでに記録されている番組をビデオカセットに録画したり削除して時間差再生として使える容量を増やしてください。
選択した番組を削除します 本当に削除してもよろしいですか？	ナビゲーションに登録されている番組を消去するときに表示されます。誤って選択した番組を削除しないよう確認するためのメッセージです。
録画可能時間が足りないため、録画予約できません 不要な番組を削除してください	ハードディスク側に記録するための容量が残っていないときに表示されます。すでに記録されている番組をビデオカセットに録画したり削除したりして容量を増やしてください。
時刻合わせがされていません 時刻を設定してください	録画は時計が設定されていないとできません。
他の予約と重なっています。 確認して修正してください	登録しようとしている録画番組と、既に登録されている予約に設定が重複している予約番組があると表示されます。
録画予約を中断しました	録画予約を中断すると表示されません。
録画可能時間があと少しです 不要な番組を削除してください	録画中に録画可能容量が足りなくなりそうな時に表示されます。
録画可能時間が無くなったため、 録画を中断しました	録画可能容量が無くなり録画を中断したときに表示されます。
録画可能時間が足りないため、録画できません 不要な番組を削除してください	録画しようとしたが録画可能容量が不足しているため、録画できないときに表示されます。
ナビ登録数が最大のため、録画できません 不要な番組を削除してください	ナビ登録数が最大となってしまった状態で、録画しようとしたときに表示されます。
コピー禁止のため、録画できません	‘コピー禁止’の番組を録画しようとしたときに表示されます。
番組が録画されていないため、再生できません	再生ボタンを押したが、一つもHDDナビに登録されていないときに表示されます。
これ以上は戻ることができません	録画の始めや、時間差再生中に記録されている最初に部分より前に戻ろうとすると表示されます。
最後まで編集が完了しました	ダビングまたは編集が最後まで正しく実行されると表示されます。
HDDナビに戻ります	ダビングまたは編集が途中で中断されると表示されます。
ハードディスクが異常です サービスセンターに連絡してください	本機の電源を切り、サービスセンターに連絡してください。

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思う前に」（P.95～98）にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ビクターカラーテレビ
型名	AV-32DD2 または AV-28DD2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	() -
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ お買い上げの販売店 () -

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）
所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
北海道	札幌SC	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川SC	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見SS	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路SC	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広SS	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館SS	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4番16号 函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森SC	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸SS	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前SS	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡SC	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢SS	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田SC	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館SS	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手SS	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台SC	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻SS	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形SC	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田SS	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
	郡山SC	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
福島	いわきSS	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松SS	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44 ハイツシンフォニー101号
	福島SS	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
関信越				
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新潟SC	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡SS	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下条2-1366-1
	上越SS	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長野SC	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本SS	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2丁目4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
栃木	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前橋SC	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
茨城	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	宇都宮SC	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
	【サービス関連すべて】のご相談			
	土浦SC	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸SS	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏SC	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	甲府SS	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉県美浜区幸町2-1-1
柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67	
浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27	
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7
	ビクター本郷ビル1F			
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
首都圏メンテ ナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3	
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39	
ツインハイツ石山B				
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5	
相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4	
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町 丸之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
	石川S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開港3-211
	近畿			
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
	【出張修理専門】のご相談窓口			
大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	
京都南部	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
近畿				
京都北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	奈良S.C.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小湊町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2
	伊勢ハイツ	【業務用機器専門】のご相談窓口		
業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
田辺S.S.	(0739)24-0124	646-0031	田辺市湊1581-12	
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16	
兵庫西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市地中地南町11-1
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小瀬阿花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23	
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-1-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40	
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-1-6-1
	久留米S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
宮崎	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター(松江・米子担当)			
		(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

こまいったときは

索引

アルファベット / 数字

360倍速マジックサーチ (可変速再生)	44
2画面で見る	33
2画面で見ることができる 組み合わせ	33
AV機器の接続	86
BSデコーダーの接続	88
BSデコーダーと BS内蔵ビデオの接続	89
BSデジタル チューナーの接続	90
DVDプレーヤーの接続	91
D-VHSの接続	92
オーディオシステムの接続	93
ビデオデッキの接続	87
ビデオムービー/ テレビゲームの接続	86
BS設定	81
BSアンテナの向き	82
BSチャンネル設定	83
アンテナ電源供給	81
BSジャック	37
BSデジタル放送を ハードディスクで録画するには	90
HDDナビ機能をつかう	54
HDDナビ画面切替	55
目次画面の修正	58
ジャンルの修正	62
タイトルの修正	60
番組の頭出し	56
番組の削除	57
S/N連動	52
ア行	
安全上のご注意	2
一時停止 & プレイ (時間差再生(受信時))	42 ~ 45
オートパンorama時の設定	32
オートCMスキップ	43
アンテナの接続	70
BSアンテナ	79
VHF/UHFアンテナ	70
映像調節	38
おトク設定	47
おまかせ毎週録画 (録画予約/毎週ボタン)	25
音声切替(テレビ)	41
音声調節	40

力行

外部機器からのダビング	69
外部機器へのダビング 8プログラムの編集	66
まとめてダビング	64
各部のなまえ	14
本体後面	15
本体前面	14
リモコン	16
可変速再生	44
可変速スロー	44
画面サイズの種類	30
字幕パノラマ	30
ノーマル	30
パノラマ	30
フル	30
シネマ	30
画面の位置を調節する	32
画面の傾き	52
画面サイズを変えるには	31
クイックビュー	22
故障かな?と思う前に	95
こんなメッセージが表示されたら	99
サ行	
再生する	22
索引	104
シアタープロの設定	50
DSDエッジ	51
DC量補正	51
DSDコアリング	51
Hシャープネス	51
Vシャープネス	51
色バランス	51
白バランス 青	51
白バランス 赤	51
速度変調	51
自己紹介機能を使うには	53
時間差再生2画面	21
時間差再生中の画面表示	45
時間差再生とは	42
時間差再生の時間設定	43
時間差再生をする	44
知っておいていただきたいこと	10
仕様	106
タ行	
地磁気補正	53
チャンネル合わせ 一括チャンネル合わせ	72

チャンネルを個別に合わせる	74
チャンネルの選局方法	76
CATVチャンネル設定	77
チョット見バック	23、42、44
著作権保護技術	11
デジタルE.E.効果表示	49
テレビの消し忘れ防止	49
テレビを見る前の準備	13
独立音声	41
時計合わせ	85
どこでもズーム機能	36
ナ行	
ナチュラルシネマ	37
ハ行	
番組一覧を表示する	34
光サインディスプレイ	12
ふだんの使いかた テレビを見る	18
入力切替	19
画面表示	19
オフタイマー	19
保証書とアフターサービス	102
マ行	
メモ機能を使う	35
メニューボタンの使いかた	28
目次	8、9
ヤ行	
用語解説	105
予約を確認・変更する	26
ラ行	
リモコン	16
電池の入れかた	17
録画する	20
録画スピード	21
音声切替(ハードディスク)	21
クイックビュー	22
HDDナビ	22
再生に使えるボタン	23
HDDナビ画面	23
録画予約する	24
予約録画操作	25

用語解説

受信チャンネル

受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

シネスコサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:2.35になっているものをこう呼びます。ビスタサイズより横長です。

デジタル^{イーイー}E.E.

Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+ Electronic Eye(電子の目)
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。

独立音声

テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

ナチュラルピュア(Natural pure)

高画質を実現する「受信チューナー・映像を処理するデジタル回路・ブラウン管に表示する回路など」の技術の総称です。

ハイビジョン

画面サイズが16:9で、走査線数1125本の高精細映像方式。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:1.85になっているものをこう呼びます。

プログレッシブ(525p)

従来の映像と同じ走査線数525本ですが、一度に525本の走査線を表示(従来はその半分)しているため、従来より高精細な映像方式。このテレビでは従来の映像をプログレッシブ方式に変換して映しています。

エー Aモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

ビー Bモード音声

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

ビーエス BSデコーダー

BS有料放送(JSB、St.GIGA)のスクランブルを解除する機器。

D4映像端子

コンポーネント映像を1本のコードで接続できる端子。数字は扱える信号を意味しています。

エス S映像信号

映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

525i/525p/1125i/750p/1125p
デジタル放送時代の各種映像信号の走査線数と走査方式を表した呼称です。本機は525i/525p/1125i/750pの4方式に対応しています。

ただし、750pの信号は、525p方式に変換して表示しています。

HDD

Hard Disk Drive(ハードディスクドライブ)の略称です。内部はアルミニウムやガラスの素材の円盤に磁性体をコーティングしたものを高速で回転させ、そこにデジタルデータを記録・再生する機器です。

ハードディスク

HDDの呼びかたのひとつ。本機では映像・音声をデジタル信号に変換する部分を合わせてハードディスクと呼んでいます。

ビデオテープを使ったビデオデッキに比べ、録画と同時に再生ができたり、見たい場所を高速で見つけだせるなどの使い勝手が向上しています。

主な仕様

種類	ハードディスク内蔵フラットワイド テレビ	D4映像入力 (BSデジタルチューナー、ビデオ3/DVD)端子 映像: D端子(D4)
受信方式	NTSC	
受信チャンネル	VHF 1~12、UHF 13~62 CATV C13~C38 BS1、3、5、7、9、11、13、15	モニター/BS出力端子 モニター出力端子 映像: 1V(p-p)、75、同期負 音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
使用電源	AC100V、50Hz/60Hz	
消費電力	AV-32DD2: 209W AV-28DD2: 182W 待機時 0.15W BSジャック待機時25.9W (BSコンバーター最大4Wを除く)	オーディオ出力(固定)端子 音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
年間消費電力量	AV-32DD2: 231kW・h/年 AV-28DD2: 213kW・h/年	BSデコーダー接続 ビットストリーム出力端子: 0.5V(p-p)、75 検波出力端子: 0.67V(p-p)、75
画面寸法 (幅X高さX対角)	AV-32DD2 65.9 cm x 37.1 cm x 75.6 cm AV-28DD2 57.2 cm x 32.2 cm x 65.7 cm	ヘッドホン端子 直径 3.5 mm、ステレオミニジャック
音声出力	10W + 10W	ハードディスク専用出力端子 S映像: Y 1V(p-p)、75、同期負 C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75
スピーカー	3 cm x 10 cm楕円型、2個 10 cm丸型、1個(低音用)	[その他] 最大外形寸法 (幅x高さx奥行)
アンテナ端子	VHF/UHF: 75、F型 BS: 75、F型 (BSコンバーター用電源 DC15V 4W 重畳)	AV-32DD2 83.2 cm x 54.3 cm x 54.2 cm AV-28DD2 73.4 cm x 48.8 cm x 48.3 cm
[ハードディスク部]		質量(重さ)
録画方式	映像 MPEG2(VBR) 音声 MPEG1 Layer2	AV-32DD2: 58.9kg AV-28DD2: 44.4kg
最大録画再生時間	SP 約7時間 LP 約10時間 EP 約14時間 SEP 約20時間	付属品 13ページ参照
タイマー予約	1年間16番組予約	別売品
時計	12時間(午前・午後)方式	テレビスタンド RK-C32LS1(AV-32DD2用) RK-C28FD2-B(AV-28DD2用) アンテナ混合器 VZ-84
停電補償時間	停電補償はありません	

[入力/出力端子]

ビデオ1、ビデオ2(BSデコーダー)、ビデオ3(DVD音声)、ビデオ4(DVムービー)入力
S1映像: Y 1V(p-p)、75、同期負
(S映像) C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75
映像: 1V(p-p)、75、同期負
音声: 0.5V(rms)、ハイインピーダンス

このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

テレビの型(32型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

AV-32DD2/AV-28DD2は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

補足情報

本機でBSデジタル放送を録画したり、録画予約することができます。

BS デジタル放送の録画のしかた

準備

BSデジタルチューナーの映像出力端子(またはS映像出力端子)と音声出力端子を、本機背面のビデオ2入力端子に接続してください。

詳しくは「BSデジタルチューナーを接続する」(☞90ページ)をご覧ください。

- 1 入力切替ボタンを押して、BSデジタルチューナーを接続したビデオ2を選び、チューナーからの映像を画面に出す
- 2 見たい番組をBSデジタルチューナー側で選局する
- 3 録画ボタンを押したまま再生ボタンを押す・録画が始まります。

BSデジタル放送を録画予約するには

準備

BSデジタルチューナーの映像出力端子(またはS映像出力端子)と音声出力端子を、本機背面のビデオ2入力端子に接続してください。

詳しくは「BSデジタルチューナーを接続する」(☞90ページ)をご覧ください。

- 1 テレビ/予約切替スイッチを予約側にする
- 2 予約ボタンを押す
予約画面が表示されます。
- 3 開始+/- ボタンを押して録画開始時刻を設定する
- 4 終了+/- ボタンを押して録画終了時刻を設定する
- 5 日付+/- ボタンを押して録画日を設定する
- 6 チャンネル+/- ボタンを押してチャンネルの表示をV-2にする。
BSデジタルチューナーの映像・音声をビデオ1に接続したときは「V-1」、ビデオ3に接続したときは「V-3」を選びます。
- 7 必要に応じて録画スピードを設定する。
- 8 カーソルボタン(◀▶▲▼)を押してカーソル \rightarrow を予約完了に合わせ、決定/OKボタンを押す
確認メッセージが表示されます。
- 9 決定/OKボタンを押して予約を終わる
- 10 テレビ/予約切替スイッチをテレビ側にする
- 11 BSデジタルチューナーで予約をする。
(録画したい時間にBSデジタルチューナーの電源が入り、チャンネルが切り換わるようにしてください。ビクター製のBSデジタルチューナーでは「視聴予約」をしてください。)

お知らせ

BSデジタルチューナーによっては、録画用(ビデオデッキ用)の出力に電子番組表などの表示がされないものがあります。その場合は、入力ボタンを押して「BSデジタル」を選んで操作をおこなってください。

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご相談や修理は

**ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

102～103ページをご覧ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京 電話 (03) 5684-9311
 ファクス (03) 5684-9317
 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪 電話 (06) 6765-4161
 ファクス (06) 6765-4891
 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
 上下、または左右の映像が欠けて映る。
 映像が時々、消えることがある。
 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、
 コンセントから電源プラグをはずして
 必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全



ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)453-2057